

令和6年度版

流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

目次

I	本報告書の考え方について	1
(1)	流山市総合計画について	1
(2)	総合計画の進行管理	2
(3)	まちづくり報告書とは	2
II	施策体系	3
III	まちの経営動向	5
(1)	基本政策全体の達成動向	5
(2)	まちの状態指標	6
IV	施策分野別評価表	10



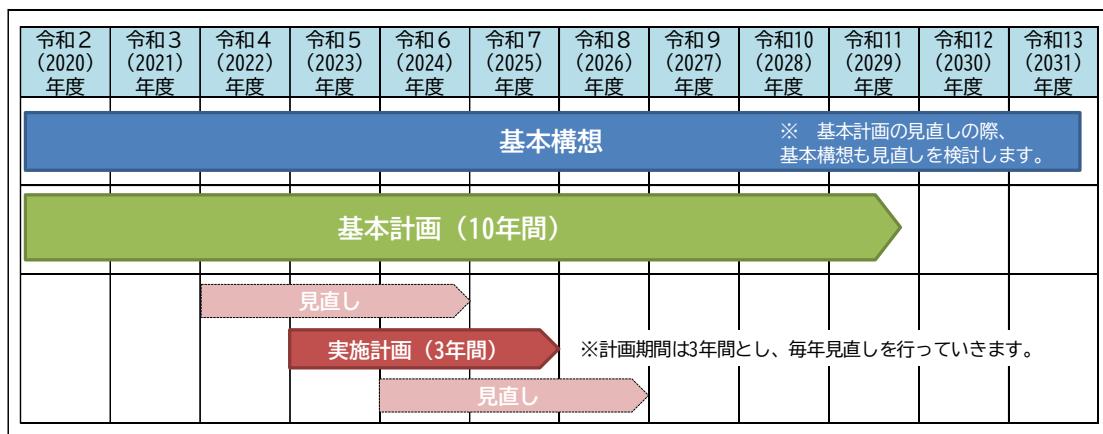
I 本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

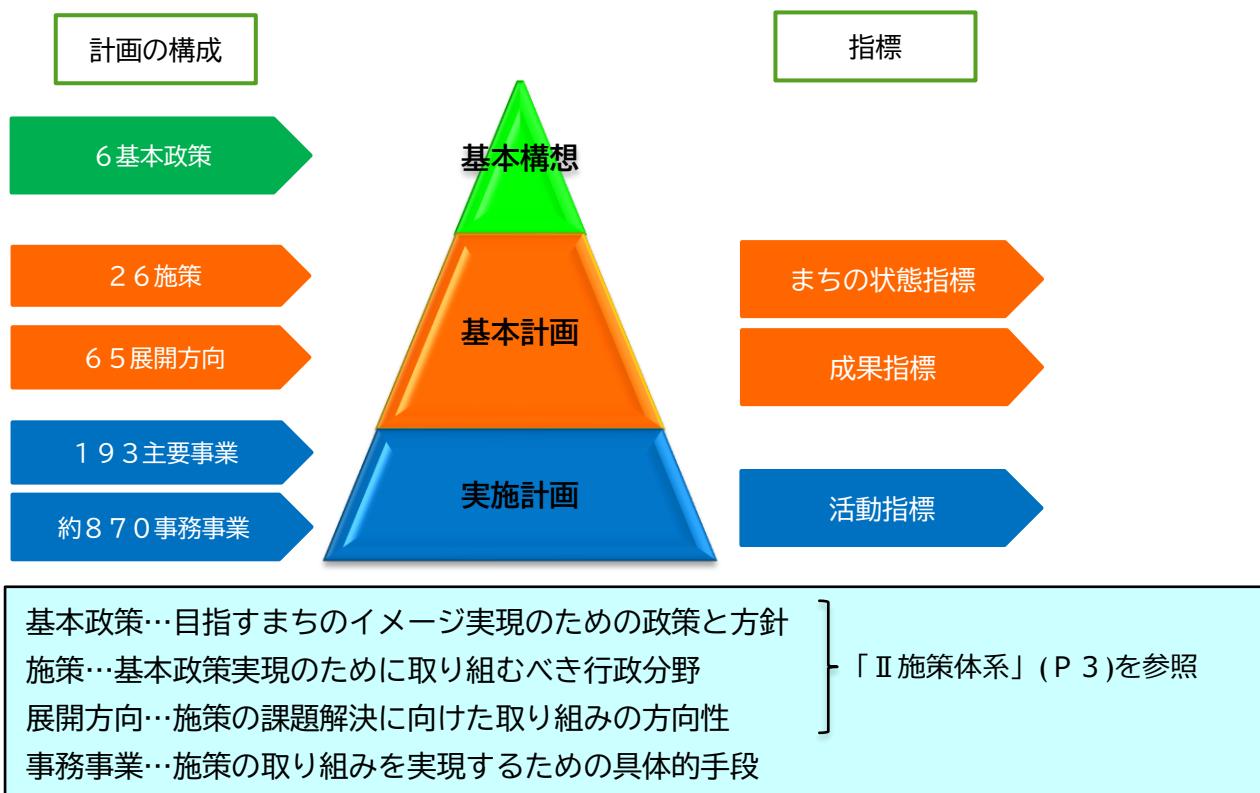
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

■総合計画の計画期間



基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

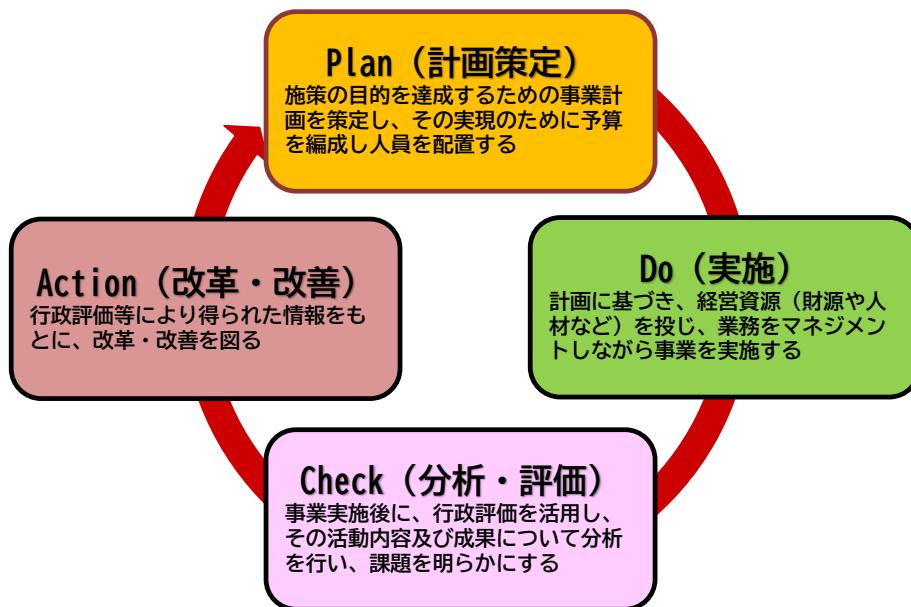
■計画の構成と指標の関係



(2) 総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改革などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Plan（計画策定）—Do（実施）—Check（分析・評価）—Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

(3) まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和5年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

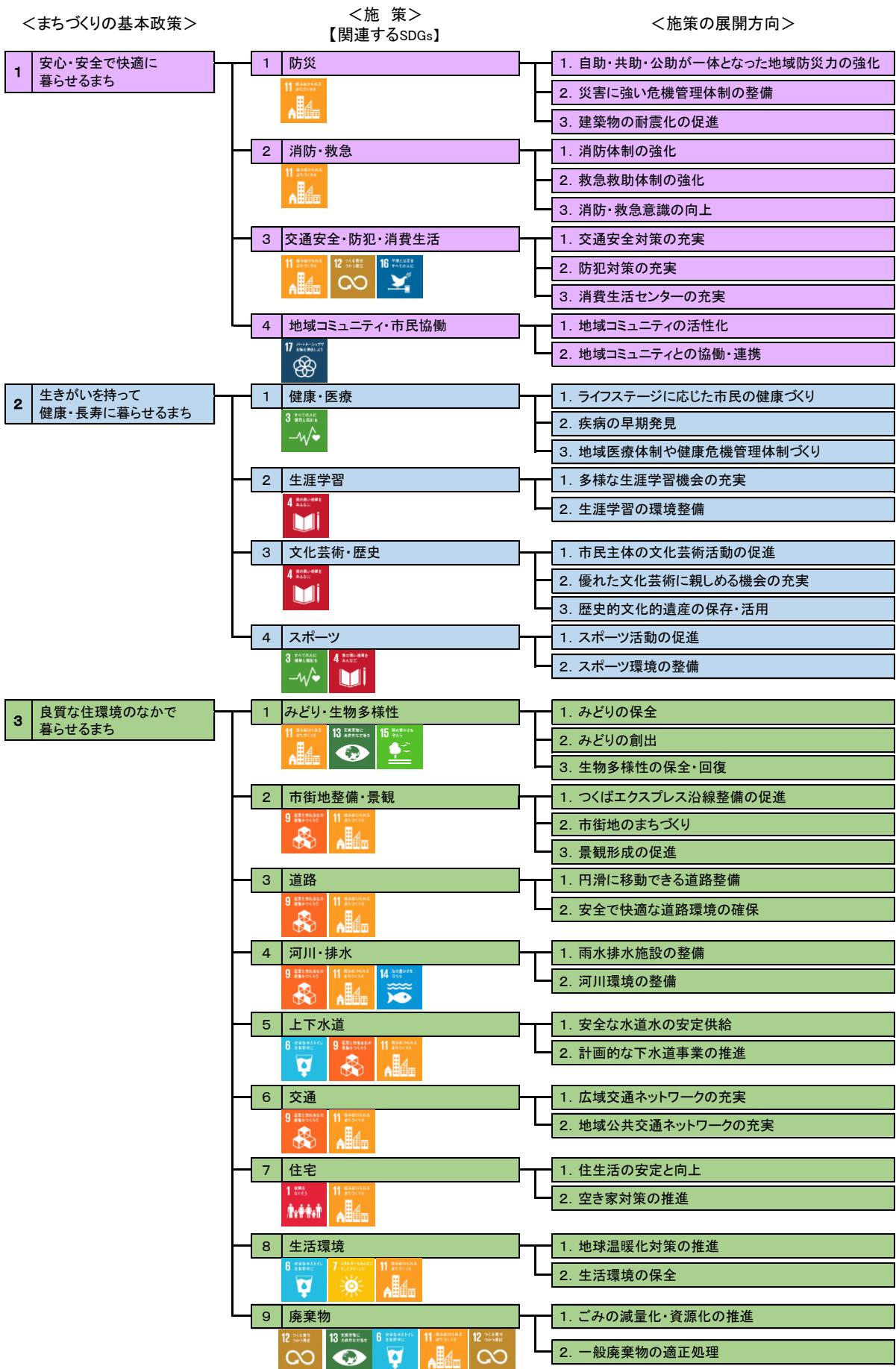
本市の行政評価は、施策や主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

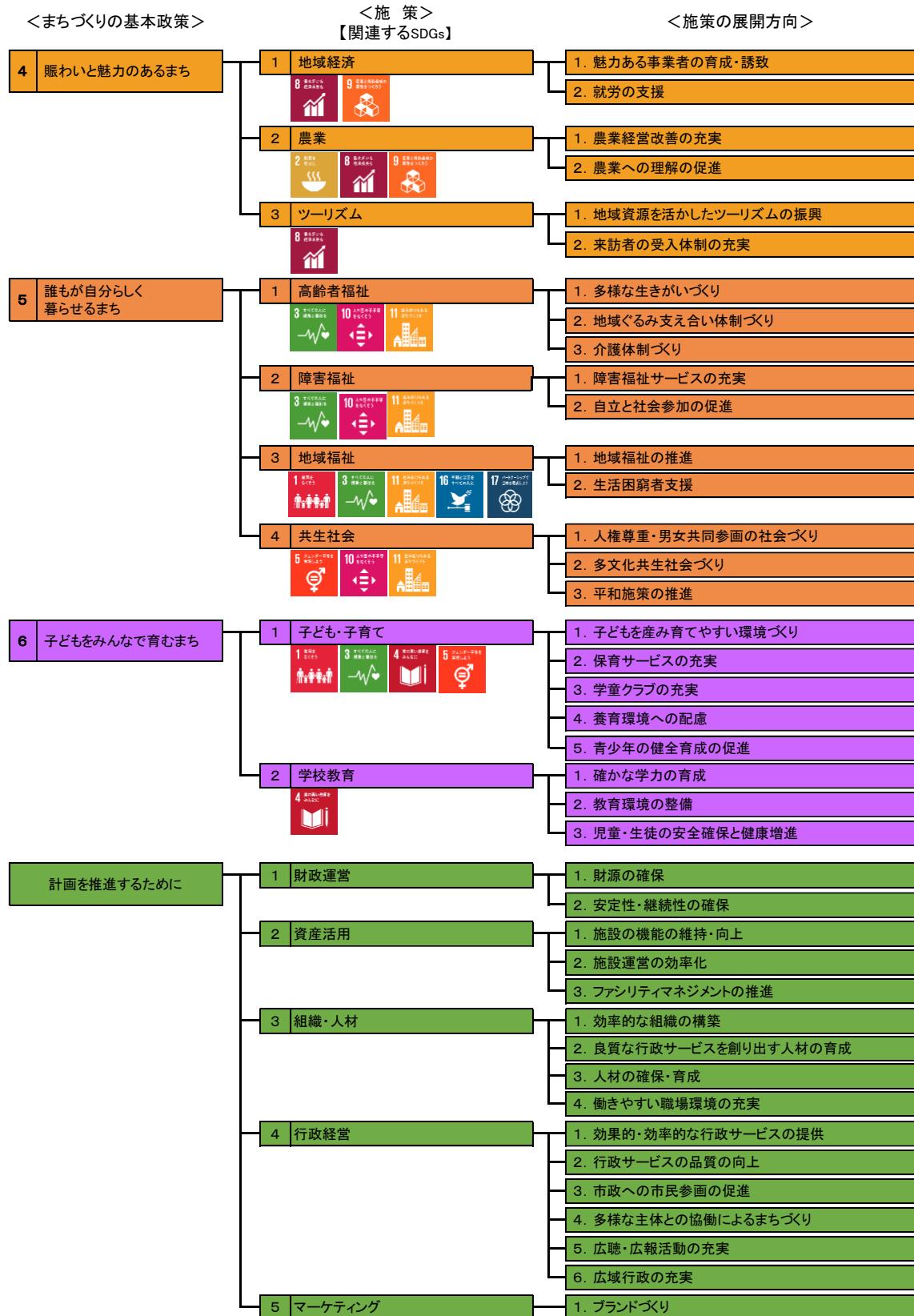
こうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和6年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和5年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

II 施策体系





III まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和5年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上(○)」「横ばい(△)」「低下(×)」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他(-)」と表記しています。

全政策では「向上(○)」が全体の61%となっており総合計画は、概ね目標に向けて進んでいるといえます。

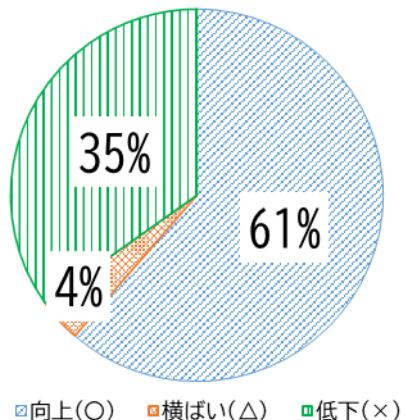
各政策の達成状況については下表のとおりとなっています。

「安心・安全で快適に暮らせるまち」では、防災施設や交通安全施設の整備、市民等による防犯活動の支援といった安心・安全に関する事業を推進しました。「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」では、健康づくり支援や医療体制の維持、文化施設の改修など生涯学習環境の整備といった健康や生きがいづくりに取り組みました。「良質な住環境のなかで暮らせるまち」では、交通利便性の向上を進め、良質な住環境の整備を図りました。これらの政策では、指標の向上している割合が多く、各事業の成果が表れているものと考えます。

一方で、目標に対し達成状況が低下している指標もありますが、「賑わいと魅力のあるまち」、「誰もが自分らしく暮らせるまち」では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う事業再開や社会情勢の変化により、前年度と比較して達成状況の回復が見られました。引き続き、地域資源を生かした観光地域づくり、これまでの地域福祉に加え生きづらさを抱えた人への支援体制、国籍や性別などにかかわらず安心して暮らせるための取組みなどを推進します。また、子育て・教育環境の一層の充実を図ります。

各施策の達成状況

全政策の達成状況の割合
※「その他(-)」を除く。



基本 政 策	向上 (○)	横ばい (△)	低下 (×)	その他 (-)	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	4 (5)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5 (5)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	16 (16)	2 (1)	2 (3)	0 (0)	20
賑わいと魅力のあるまち	3 (2)	0 (0)	3 (4)	0 (0)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	2 (2)	0 (0)	4 (4)	4 (4)	10
子どもをみんなで育むまち	2 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (3)	6
計	32 (31)	2 (1)	18 (19)	8 (9)	60
全体に占める割合 (%)	61 (61)	4 (2)	35 (37)		100

(2) まちの状態指標

目指す方向への達成状況 ○…向上 △…横ばい ×…低下 —…その他

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和5年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%	↑	52.5 (2018年度)	48.2	×
		自主防災組織の組織率	%	↑	61.7 (2018年10月1日)	62.4	○
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件	↓	1.4 (2018年)	1.5	×
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	10,843	-
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件	↓	27.3 (2018年)	16.7	○
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件	↓	61.2 (2018年)	44.0	○
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,607	-
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%	↑	66.2 (2018年10月1日)	60.0	×
		市民活動団体の数	団体	↑	203 (2019年4月1日)	263	○
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命（平均自立期間） ※2020（R2）年	年	↑	65歳男性：18.55 65歳女性：20.46 (2015年)	18.87 21.13	○
		生活習慣病による死者数の割合 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	%	↓	56.3 (2017年)	54.0	○
		一般診療所の数 ※千葉県衛生統計年報2022（R4）年	-	↑	95 (2017年)	125	○
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%	↑	46.1 (2018年度)	38.1	×
		学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	%	↑	31.8 (2018年度)	52.6	○
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%	↑	53.5 (2018年度)	42.9	×
		市内の指定文化財等の数	件	↑	50 (2019年4月1日)	52	○
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%	↑	35.4 (2018年度)	32.9	×
		スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,610,133 (2018年度)	1,415,897	×

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和5年度実績	達成状況
3-1 みどり・生 物多様性	市民に潤いと安らぎ を与えるみどりの保 全・創出に取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	m ²	↑	5.17 (2019年4月1日)	5.17	△
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれ あいに満足していると思う市民の割合	%	↑	78.8 (2018年度)	85.5	○
3-2 市街地整 備・景観	地域の特性を活かし た魅力ある街並みを 創出する	これからも流山市に住み続けたいと思う市 民の割合	%	↑	83.0 (2018年度)	91.2	○
		利用している駅及び駅周辺の整備や利便性 に満足している市民の割合	%	↑	42.5 (2018年度)	74.0	○
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民 の割合	%	↑	58.6 (2018年度)	65.1	○
3-3 道路	安全で円滑に移動で きる道路網と道路環 境を整備する	快適に移動できる道路網が整備されている と思う市民の割合	%	↑	62.4 (2017年度)	73.3	○
		都市計画道路の整備率	%	↑	70.6 (2018年度末)	73.9	○
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・ 内水氾濫による被害 を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km	↑	14.8 (2018年度再設定値)	15.3	○
		水害による住家被害の棟数（過去3年間）	棟	→	0 (2016～2018年度)	0	○
3-5 上下水道	安全な水道水を安定 的に供給するととも に、衛生的な下水道 サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給されて いると思う市民の割合	%	↑	90.7 (2018年度)	96.0	○
		公共下水道普及率	%	↑	89.3 (2018年度末)	93.7	○
3-6 交通	交通ネットワークの 充実と利便性の向上 を図る	公共交通に満足している市民の割合	%	↑	75.0 (2018年度)	81.0	○
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客数 ※2022（R4）年度	人	↑	175,574 (2017年度)	171,694	×
		流山ぐりーんバスの1日当たりの利用者数	人	↑	2,499 (2018年度)	2,643	○
3-7 住宅	多様な世代・世帯が 安心して住み続けら れる住まいを確保す る	住宅の耐震化率	%	↑	83.6 (2018年1月1日)	93.2	○
		住宅の空き家率 ※2018（H30）年度	%	↓	3.2 (2018年10月1日)	3.2	△
3-8 生活環境	地球環境にやさし い、快適な生活環 境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 ※2021（R3）年度再算定値	-	↓	民生家庭124 民生業務159 (2017年度再算定値)	91 105	○
		身近な生活環境について不満に感じている 市民の割合	%	↓	26.1 (2018年度)	31.1	×
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減ら し、資源を有効に利 用する循環型のまち をつくる	1人1日当たりのごみ発生量 ※2022（R4）年度	g	↓	848 (2018年度)	770	○
		資源化率 ※2022（R4）年度	%	↑	21.8 (2018年度)	27.2	○

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和5年度実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 ※2021（R3）年経済センサス	—	↑	0.765 (2016年)	0.661	×
		1事業所当たりの製造品出荷額等 ※2021（R3）年経済センサス	百万円	↑	532 (2016年)	670	○
		法人市民税 ※2022（R4）年	万円	↑	75,479 (2018年度)	71,605	×
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	経営体	↑	41 (2018年4月1日)	60	○
		農業産出額（推計） ※2021（R3）～2022（R4）年	千万円	↑	230 (2017年)	95	×
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人	↑	290,137 (2017年度)	419,678	○
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 (2019年4月1日)	47,304	-
		生きがいを感じる高齢者の割合	%	↑	82.8 (2018年度)	81.1	×
		要介護・要支援認定率	%	↓	16.7 (2019年4月1日)	19.4	×
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 ※R4年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 (2019年4月1日)	4,220 1,219 1,790	-
		障害者就労支援センターの利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	207 (2019年4月1日)	205	×
		相談支援事業の利用者数 ※R4年4月1日時点	人	↑	2,190 (2019年4月1日)	2,899	○
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%	↑	57.3 (2018年度)	54.8	×
		生活保護受給者数	人	-	1,708 (2019年4月1日)	1,950	-
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%	↑	85.2 (2020年から新規取得)	85.5	○
		外国人の人口	人	-	2,737 (2019年4月1日)	3,778	-

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和5年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	39,388	—
		合計特殊出生率 ※2022 (R4) 年	—	↑	1.67 (2018年)	1.50	×
		流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	%	↑	51.6 (2018年度)	66.4	○
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	68.0 (全64.9 県64.5) 60.3 (全55.5 県55.3)	○
		児童・生徒数 ※R5年5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月1日)	13,512 5,121	—
		いじめの認知件数	件	↓	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	4,427 407	×

IV 施策分野別評価表

[評価表の見方]

基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち																	IV 施策分野別評価表																																																																																																																																					
施策 ■ 防災		主管部局 市民生活部		施策の目的		自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える																																																																																																																																																
①		 1 住まいと人  2 食事  3 いのちと自然  4 球技・音楽・アート  5 文化・スポーツ  6 地域活性化  7 経済成長  8 環境・資源  9 まちづくり  10 まちづくり  11 まちづくり  12 まちづくり  13 まちづくり  14 まちづくり  15 まちづくり  16 まちづくり  17 まちづくり																																																																																																																																																				
②		まちの状態指標 <table border="1"> <tr> <td>地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合</td> <td>指標の説明または出典元 水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）</td> <td>R3実績 51.0</td> <td>R4実績 51.0</td> <td>R5実績 48.2</td> <td>単位 %</td> <td>目標達成度 ↑</td> </tr> <tr> <td>自主防災組織の組織率</td> <td>自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）</td> <td>65.1</td> <td>64.2</td> <td>62.4</td> <td>%</td> <td>↑</td> </tr> </table> 令和5年度の取組みと評価・改善点 <table border="1"> <tr> <td>・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図りました。</td> <td>・現状 能登半島地震や千葉東方沖地震など、各地でも地震が頻発していることから、日頃からの災害に対する備えを行うようさらなる啓発を行います。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力のさらなる強化・向上を図ります。</td> </tr> <tr> <td>・評価 令和3年度からマンション管理組合を主体とした自主防災組織の設立が可能となったこと、また、啓発活動を継続して実施したことで令和5年度についても新規設立団体数は増加しました。一方で人口増加による影響で団体組織率は減少しているため、引き続き啓発活動等を実施していきます。</td> <td>・課題 地域防災計画の見直しに伴い、市民の皆さんに地震と風水害の備えの違いや各地域の特性に合わせ、備える重要性を認識していただく必要があります。そのため、地道な啓発活動を継続していきます。</td> </tr> <tr> <td>・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るために啓発活動を実施しました。</td> <td>・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めるほか、「公助」の観点から指定避難所への防災設備の整備、公的備蓄の拡充を図り、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図ります。</td> </tr> </table> 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 <table border="1"> <tr> <td>自主防災組織活動促進事業</td> <td colspan="18">自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。</td></tr> <tr> <td>担当課 防災危機管理課</td> <td>R5当初予算 4,250</td> <td>R5決算見込 4,064</td> <td>R5職員給与費(目安) 4,727</td> <td>R6当初予算 4,250</td> <td>R6特定財源 2,125</td> <td>R6一般財源 2,125</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>主な活動指標 自主防災組織数（組織）</td> <td>R4実績 139</td> <td>R5実績 142</td> <td>R6目標（予定） 144</td> <td>主な成果指標 補助金を活用している自主防災組織数（組織）</td> <td>R4実績 72</td> <td>R5実績 73</td> <td>R6目標 79</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>令和5年度の取組みと評価・改善点 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げました。</td> <td>・現状 人口割合で見た場合に、自主防災組織の組織率が前年度より低下したことから、引き続きマンション管理組合を中心に新規設立の啓発活動を行ってまいります。</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・評価 新たに3団体の設立があったほか、補助金の活用に関しても件数、金額とも前年度を上回る実績となりました。</td> <td>・課題 マンション管理組合の新規設立が依然として少ないため、今後も設立に向けた働きかけが必要です。</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金の申請を行っていない団体や自主防災組織を設立していない団体に対し、再度の呼びかけを行いました。</td> <td>・取組 設立団体の約半数が補助金を活用していないため、こうした団体にも補助金の活用を行うよう働きかけます。</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																		地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	指標の説明または出典元 水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	R3実績 51.0	R4実績 51.0	R5実績 48.2	単位 %	目標達成度 ↑	自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	65.1	64.2	62.4	%	↑	・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図りました。	・現状 能登半島地震や千葉東方沖地震など、各地でも地震が頻発していることから、日頃からの災害に対する備えを行うようさらなる啓発を行います。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力のさらなる強化・向上を図ります。	・評価 令和3年度からマンション管理組合を主体とした自主防災組織の設立が可能となったこと、また、啓発活動を継続して実施したことで令和5年度についても新規設立団体数は増加しました。一方で人口増加による影響で団体組織率は減少しているため、引き続き啓発活動等を実施していきます。	・課題 地域防災計画の見直しに伴い、市民の皆さんに地震と風水害の備えの違いや各地域の特性に合わせ、備える重要性を認識していただく必要があります。そのため、地道な啓発活動を継続していきます。	・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るために啓発活動を実施しました。	・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めるほか、「公助」の観点から指定避難所への防災設備の整備、公的備蓄の拡充を図り、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図ります。	自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。																		担当課 防災危機管理課	R5当初予算 4,250	R5決算見込 4,064	R5職員給与費(目安) 4,727	R6当初予算 4,250	R6特定財源 2,125	R6一般財源 2,125													主な活動指標 自主防災組織数（組織）	R4実績 139	R5実績 142	R6目標（予定） 144	主な成果指標 補助金を活用している自主防災組織数（組織）	R4実績 72	R5実績 73	R6目標 79												令和5年度の取組みと評価・改善点 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げました。	・現状 人口割合で見た場合に、自主防災組織の組織率が前年度より低下したことから、引き続きマンション管理組合を中心に新規設立の啓発活動を行ってまいります。																	・評価 新たに3団体の設立があったほか、補助金の活用に関しても件数、金額とも前年度を上回る実績となりました。	・課題 マンション管理組合の新規設立が依然として少ないため、今後も設立に向けた働きかけが必要です。																	・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金の申請を行っていない団体や自主防災組織を設立していない団体に対し、再度の呼びかけを行いました。	・取組 設立団体の約半数が補助金を活用していないため、こうした団体にも補助金の活用を行うよう働きかけます。																
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	指標の説明または出典元 水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	R3実績 51.0	R4実績 51.0	R5実績 48.2	単位 %	目標達成度 ↑																																																																																																																																																
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	65.1	64.2	62.4	%	↑																																																																																																																																																
・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めるほか、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図りました。	・現状 能登半島地震や千葉東方沖地震など、各地でも地震が頻発していることから、日頃からの災害に対する備えを行うようさらなる啓発を行います。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力のさらなる強化・向上を図ります。																																																																																																																																																					
・評価 令和3年度からマンション管理組合を主体とした自主防災組織の設立が可能となったこと、また、啓発活動を継続して実施したことで令和5年度についても新規設立団体数は増加しました。一方で人口増加による影響で団体組織率は減少しているため、引き続き啓発活動等を実施していきます。	・課題 地域防災計画の見直しに伴い、市民の皆さんに地震と風水害の備えの違いや各地域の特性に合わせ、備える重要性を認識していただく必要があります。そのため、地道な啓発活動を継続していきます。																																																																																																																																																					
・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るために啓発活動を実施しました。	・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めるほか、「公助」の観点から指定避難所への防災設備の整備、公的備蓄の拡充を図り、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図ります。																																																																																																																																																					
自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。																																																																																																																																																					
担当課 防災危機管理課	R5当初予算 4,250	R5決算見込 4,064	R5職員給与費(目安) 4,727	R6当初予算 4,250	R6特定財源 2,125	R6一般財源 2,125																																																																																																																																																
主な活動指標 自主防災組織数（組織）	R4実績 139	R5実績 142	R6目標（予定） 144	主な成果指標 補助金を活用している自主防災組織数（組織）	R4実績 72	R5実績 73	R6目標 79																																																																																																																																															
令和5年度の取組みと評価・改善点 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げました。	・現状 人口割合で見た場合に、自主防災組織の組織率が前年度より低下したことから、引き続きマンション管理組合を中心に新規設立の啓発活動を行ってまいります。																																																																																																																																																					
・評価 新たに3団体の設立があったほか、補助金の活用に関しても件数、金額とも前年度を上回る実績となりました。	・課題 マンション管理組合の新規設立が依然として少ないため、今後も設立に向けた働きかけが必要です。																																																																																																																																																					
・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金の申請を行っていない団体や自主防災組織を設立していない団体に対し、再度の呼びかけを行いました。	・取組 設立団体の約半数が補助金を活用していないため、こうした団体にも補助金の活用を行うよう働きかけます。																																																																																																																																																					
③																																																																																																																																																						

① 総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs（※）を示しています。

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を実現するために、達成すべき17の目標（ゴール）が定められました。

② 総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

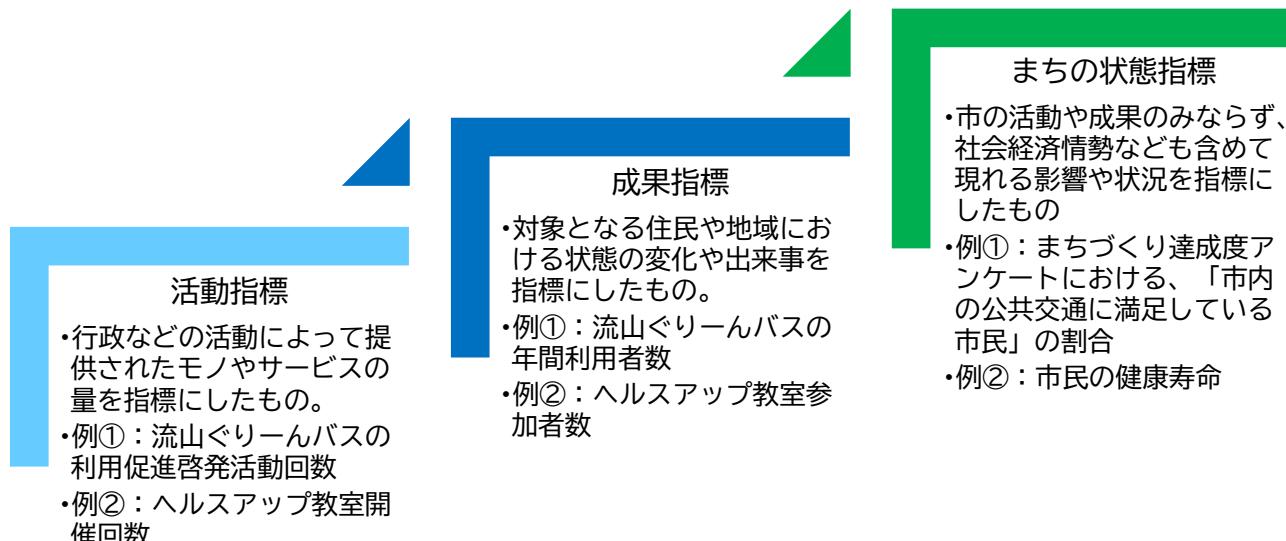
③ 前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の概要に加え、前年度の取組みや評価、改善点、今年度の現状や課題、取組みについて記載しています。

注：予算等の金額の単位は千円です。

★指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



施策 防災

基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 市民生活部

施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.0	51.0	48.2	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	65.1	64.2	62.4	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の活動、設立のための広報啓発活動を進めながら、公助の観点として指定避難所への防災設備の整備を行い、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の向上を図りました。</p> <p>・評価 令和3年度からマンション管理組合を主体とした自主防災組織の設立が可能となったこと、また、啓発活動を継続して実施したことで令和5年度についても新規設立団体数は増加しました。一方で人口増加による影響で団体組織率は減少しているため、引き続き啓発活動等を実施していきます。</p> <p>・改善点 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図るために啓発活動を実施しました。</p>	<p>・現状 能登半島地震や千葉東方沖地震など、各地でも地震が頻発していることから、日頃からの災害に対する備えを行うようさらなる啓発を行います。また、自主防災組織の活動、啓発を進め、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力のさらなる強化・向上を図ります。</p> <p>・課題 地域防災計画の見直しに伴い、市民の皆さんに地震と風水害の備えの違いや各地域の特性に合わせ、備える重要性を認識していただく必要があります。そのため、地道な啓発活動を継続していきます。</p> <p>・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るために、広報や啓発活動を進めながら、「公助」の観点からの指定避難所等への防災設備の整備、公的備蓄の拡充を図り、「自助」「共助」「公助」が一体となった地域防災力の強化を図ります。</p>

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化																																
自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th colspan="2">R5当初予算</th> <th>R5決算見込</th> <th>R5職員給与費(目安)</th> <th>R6当初予算</th> <th>R6特定財源</th> <th>R6一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災危機管理課</td> <td colspan="2">4,250</td> <td>4,064</td> <td>4,727</td> <td>4,250</td> <td>2,125</td> <td>2,125</td> </tr> <tr> <th>主な活動指標</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6目標(予定)</th> <th>主な成果指標</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6目標</th> </tr> <tr> <td>自主防災組織数（組織）</td> <td>139</td> <td>142</td> <td>144</td> <td>補助金を活用している自主防災組織数（組織）</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	防災危機管理課	4,250		4,064	4,727	4,250	2,125	2,125	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	自主防災組織数（組織）	139	142	144	補助金を活用している自主防災組織数（組織）	72	73	79
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源																									
防災危機管理課	4,250		4,064	4,727	4,250	2,125	2,125																									
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標																									
自主防災組織数（組織）	139	142	144	補助金を活用している自主防災組織数（組織）	72	73	79																									
令和5年度の取組みと評価・改善点																																
<p>・取組 各団体への呼び掛け回数を増やすとともに、自主防災組織を設立していないマンション管理組合に対しても継続的な呼び掛けを行い、新規設立に繋げました。</p> <p>・評価 新たに3団体の設立があったほか、補助金の活用に関しても件数、金額とも前年度を上回る実績となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 補助金の活用を促進するため、補助金の申請を行っていない団体や自主防災組織を設立していない団体に対し、再度の呼びかけを行いました。</p>																																
令和6年度の現状・課題・取組み																																
<p>・現状 人口割合で見た場合に、自主防災組織の組織率が前年度より低下したことから、引き続きマンション管理組合を中心に新規設立の啓発活動を行ってまいります。</p> <p>・課題 マンション管理組合の新規設立が依然として少ないため、今後も設立に向けた働きかけが必要です。</p> <p>・取組 設立団体の約半数が補助金を活用していないため、こうした団体にも補助金の活用を行うよう働きかけます。</p>																																

災害に強い危機管理体制の整備																																
災害時情報伝達手段整備事業																																
災害時に、市民等へ迅速かつ的確に災害情報等を伝えるため、防災行政無線や安心メール、SNSなど複数の情報伝達手段に一斉に送信できるシステムを導入し、災害時の正確かつ円滑な情報伝達を図ります。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th colspan="2">R5当初予算</th> <th>R5決算見込</th> <th>R5職員給与費(目安)</th> <th>R6当初予算</th> <th>R6特定財源</th> <th>R6一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災危機管理課</td> <td colspan="2">12,392</td> <td>253</td> <td>3,526</td> <td>1,973</td> <td>1,807</td> <td>166</td> </tr> <tr> <th>主な活動指標</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6目標(予定)</th> <th>主な成果指標</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6目標</th> </tr> <tr> <td>防災行政無線同報系子局設置数（基）</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>防災行政無線同報系子局更新数（基）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	防災危機管理課	12,392		253	3,526	1,973	1,807	166	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	防災行政無線同報系子局設置数（基）	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数（基）	-	-	-
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源																									
防災危機管理課	12,392		253	3,526	1,973	1,807	166																									
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標																									
防災行政無線同報系子局設置数（基）	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数（基）	-	-	-																									
令和5年度の取組みと評価・改善点																																
<p>・取組 千葉県防災行政無線機器の更新を行い、通信の高速化や荒天時でも遮断されないよう整備を図りました。</p> <p>・評価 危機設置に必要な部品調達が遅れたため、次年度に繰越しました。</p> <p>・課題に対する改善点 繰越により事業を実施していないため、改善点はありません。</p>																																
令和6年度の現状・課題・取組み																																
<p>・現状 部品調達に遅れが生じているため、令和6年度に繰越し、県防災行政無線システムの更新を行います。</p> <p>・課題 落雷や強風等の影響により、県防災行政無線システムの通信が一時的に遮断されることがあります。</p> <p>・取組 千葉県防災行政無線機器の更新を行い、通信の高速化や荒天時でも遮断されないよう整備を図ります。</p>																																

災害に強い危機管理体制の整備

公的備蓄整備事業	公的備蓄の整備を進めるため、計画的に防災備蓄倉庫、食糧や防災資機材を整備します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
防災危機管理課	26,403	29,787	8,253	25,500	1,289	24,211					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
食料備蓄率 (%)	98.1	100.7	-								
飲料水備蓄率 (%)	97.3	91.4	-								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 これまで購入している品目を中心に、多様性社会に沿うような備蓄品の購入も進めました。										
・評価	・課題 小分け商品や要配慮者に向けた商品の購入も進めつつ、食料等の備蓄率も目標値に限りなく近づきました。										
・課題に対する改善点	・取組 食料や飲料水の購入を行い備蓄率を高めるだけでなく、要配慮者に対する備蓄品の購入も行いました。										

災害に強い危機管理体制の整備

地域防災計画策定事業	令和2年度国勢調査の結果、市街地整備の進捗による状況の変化や浸水想定区域の見直し等に伴う地域防災計画の大幅な見直しを行います。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
防災危機管理課	5,828	6,867	10,578	649	0	649					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 令和6年3月までに地域防災計画の見直しが完成するよう、作業を進めました。										
・評価	・課題 地域防災計画を地震編と風水害に分割した上で水防計画との一体化を図ったほか、災害本部体制の見直しも行き、災害対応の機能強化が図られました。										
・課題に対する改善点	・取組 見直しを行う上で関係課と事前に協議を行うなど、完成に向け取り組みました。										

災害に強い危機管理体制の整備

防災施設整備事業	指定避難場所及び指定避難所に被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
防災危機管理課	69,571	58,308	10,578	13,552	6,600	6,952					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
かまどベンチ設置数累計（基）	29	31	-	倉庫設置件数（件）	42	43	-				
太陽光照明設置数（基）	15	18	-	マンホールトイレ設置箇所数（箇所）	12	13	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 都市防災整備計画に基づき、北部公民館、市野谷小学校、南流山中学校（旧東洋学園大学）に防災施設を整備しました。										
・評価	・課題 北部公民館、市野谷小学校、南流山中学校に、マンホールトイレや防災備蓄倉庫などの設置を行いました。なお、市野谷小学校のマンホールトイレについては、資材不足のため令和6年度に繰り越しとなっています。										
・課題に対する改善点	・取組 公民館については、施設が稼働している状態での工事となるため、安全面に配慮しつつ、施設利用者の妨げにならないよう施工しました。										

建築物の耐震化の促進

耐震改修促進事業		住宅の耐震化の促進を図るため、平成12年以前に建築された一戸建ての木造住宅に対し、耐震診断・耐震改修費、又は昭和56年以前に建築された分譲マンションに対し、耐震診断費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。						
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
建築住宅課		20,100		10,479		14,104	20,100	12,676
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
無料耐震診断及び出張耐震相談件数（件）		15	14	20	耐震診断及び耐震改修補助件数（件）		21	17
ブロック塀等所有者への啓発件数（件）		247	254	250	ブロック塀等除却補助件数（件）		14	11
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>耐震診断、改修事業については、木造住宅の補助対象を昭和56年以前から平成12年以前に建築されたものへ拡充し、戸別訪問を実施すると共に、広報誌による啓発を行いました。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の内容と共に、診断結果について丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図りました。</p>					<p>・現状</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、ここ数年同程度の補助件数で推移していましたが、能登半島沖地震等の影響により、相談が増えています。ブロック塀等除却事業については、啓発活動を充実させ、除却推進を図りましたが、目標達成には至っていません。</p>			
<p>・評価</p> <p>流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2023に基づき、戸別訪問と共に耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の内容と共に個別説明を行い、除却促進を行いました。</p>					<p>・課題</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発方法も含めて、より良い啓発方法を検討する必要があります。ブロック塀等除却事業については、補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。</p>			
<p>・課題に対する改善点</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、広報誌を中心とした啓発と共に戸別訪問を行いました。ブロック塀等除却事業については、補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明しました。</p>					<p>・取組</p> <p>耐震診断、改修補助事業については、戸別訪問を引き続き実施すると共に、広報誌による啓発を行っていきます。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の内容と共に、診断結果についてより丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。</p>			

施策 消防・救急

基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 消防本部

施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数（1月～12月）÷人口（1月1日時点）×10,000	1.2	1.3	1.5	件	↓
救急出動件数	1月～12月（消防本部）	8,470	10,405	10,843	件	-

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容</p> <p>中央消防署移転事業では、令和5年度より本格的に建築工事を開始しました。また、各種災害対応への充実強化を図るため、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき中央消防署高規格救急車を更新整備したほか、中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車の更新に伴う契約を締結しました。火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡回し、広報や啓発活動を実施しました。</p> <p>・評価</p> <p>中央消防署移転事業では、令和5年7月に造成工事が完了し建築工事を開始したことから、関係機関との連絡調整を密に行い工事を進めました。令和6年3月に中央消防署高規格救急車を運用開始しました。また、中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車の運用開始に向け準備を進みました。感染症対策の規制緩和により新たな火災予防活動の取り組みとして、大規模な火災予防フェアを実施し広く防火意識の浸透を図ることが出来ました。</p> <p>・改善点</p> <p>中央消防署移転事業では、令和7年4月の新庁舎供用開始に向け適切な工事監理を行い建築工事を進めました。中央消防署救助工作車は、災害に対応出来るよう最新資機材の導入を検討し、南消防署消防ポンプ自動車は、火災に柔軟に対応すべく800リットルの水を積載できる仕様としました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた火災予防フェアを年2回開催し、効果的な火災予防活動を実施しました。</p>	<p>・現状</p> <p>中央消防署移転事業では、令和6年度は本格的に躯体の建設に入ります。また、指令機器の移設や備品購入等、運用開始に向けた準備が必要です。各種災害に対応するため、中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車の更新整備を実施します。また、中央消防署消防ポンプ自動車、高規格救急車及び南消防署水槽付消防ポンプ自動車の更新整備に向けた準備を行います。感染症対策の規制緩和に伴い、事業展開の拡充や見直しが求められています。</p> <p>・課題</p> <p>中央消防署移転事業では、令和7年4月の供用開始に向け引き続き関係機関と連絡調整を密に行い、適切な工程管理の下で工事を進める必要があります。中央消防署消防ポンプ自動車は火災に柔軟に対応すべく800リットルの水を積載する仕様とし、南消防署水槽付消防ポンプ自動車は装備品を削減することなく車両の小型化を図ります。さらに踏み込んだ実効性のある火災予防活動の展開や普及啓発活動を展開する必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>中央消防署移転事業では、指令機器等の移転時に消防業務が停止することがないよう、関係機関や消防本部内の連絡、調整を密に行います。中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車の運用開始に向け準備を進めるとともに、中央消防署消防ポンプ自動車及び南消防署水槽付消防ポンプ自動車並びに日勤救急隊用高規格救急車の更新整備を実施します。火災の発生と被害の軽減を図るために広報活動を、より効果的な手段で実施していきます。</p>

消防体制の強化						
常備消防が運用する車両を「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、更新整備します。						
消防車両整備事業						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
消防防災課	3,954	12,707	14,104	40,513	981	39,532
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績
消防車両等配備台数(台)	27	27	29	消防車両等配備台数(台)	27	27
消防車両等更新台数(台)	2	1	5	消防車両等更新台数(台)	2	1
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>各種災害対応への充実強化を図るため、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき中央消防署高規格救急車をリース契約で更新整備したほか、中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車(水800リットル積載)のリース契約を締結しました。</p> <p>・評価</p> <p>中央消防署高規格救急車については、令和6年3月より運用を開始し、市民の安心安全に寄与しています。中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車(水800リットル積載)については、令和6年中の運用開始に向け引き続き準備してまいります。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>中央消防署救助工作車は、災害現場に到着するまでの間に隊員が相応の準備が出来るようキャブ内の拡張を図ると共に、現状に適した最新資機材を導入し、令和6年9月運用開始に向け令和5年度に入札を行いました。南消防署消防ポンプ自動車は、火災に柔軟に対応すべく800リットルの水を積載し、令和6年8月運用開始に向け令和5年度に入札を行いました。</p>	<p>・現状</p> <p>各種災害対応への充実強化を図るため、令和5年度事業でリース契約を締結した中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車(水800リットル積載)の更新整備を実施します。また、令和7年3月運用開始に向け、中央消防署消防ポンプ自動車及び高規格救急車並びに南消防署水槽付消防ポンプ自動車のリース契約による更新整備を行います。</p> <p>・課題</p> <p>中央消防署消防ポンプ自動車は、火災に柔軟に対応すべく800リットルの水を積載するとともに、南消防署水槽付消防ポンプ自動車は地域の実情に合わせ、積載水1500リットルや装備品を削減することなく車両を小型化し導入を図ります。</p> <p>・取組</p> <p>令和5年度事業である、中央消防署救助工作車及び南消防署消防ポンプ自動車(水800リットル積載)の運用開始に向け準備を進めるとともに、購入から15年が経過する中央消防署消防ポンプ自動車(水800リットル積載)及び南消防署水槽付消防ポンプ自動車と救急隊増隊に向け高規格救急車を1台導入します。</p>					

消防体制の強化						
昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。						
中央消防署移転事業						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
消防総務課	1,017,010	298,424	9,454	2,679,534	2,615,573	63,961
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績
				建築工事進捗状況(%)	-	17.06
				造成工事進捗状況(%)	51.07	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>令和5年度より本格的に建築工事を開始したことから、関係機関との連絡調整を密に行い、計画通りに工事を進めました。</p> <p>・評価</p> <p>令和5年7月に造成工事が完了し、引き続き建築工事が開始となりました。今年度は関係機関との連絡調整を密に行い、工事を進めることができました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>令和7年4月の新庁舎供用開始に向け、適切な工事監理を行い、建築工事を進めました。また、災害出動の要となる指令装置の移設作業をスムーズに行うため、関係機関との連絡調整を密に行いました。</p>	<p>・現状</p> <p>令和6年度は本格的に躯体の建設に入ります。また、指令機器の移設や備品購入等、運用開始に向けた準備が必要です。</p> <p>・課題</p> <p>令和7年4月の供用開始に向け、引き続き関係機関と連絡調整を密に行い、適切な工程管理で工事を進める必要があります。また、指令機器の移設等については、災害出動に影響が発生しないよう、綿密に計画を練る必要があります。</p> <p>・取組</p> <p>指令機器等の移転時に消防業務が停止することがないよう、関係機関や消防本部内の連絡、調整を密に行います。</p>					

消防体制の強化										
消防指令業務運用事業	消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、しば北西部消防指令センター（松戸市）の指令業務、Jアラート（予備機）及び指令システムの維持管理業務などを行います。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
消防防災課	108,559		110,095		14,104	118,798	0	118,798		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）(分)	10.85	10.48	10.00							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	遠制マニュアルの改定並びに遠制勤務職員への研修及び運用訓練を実施しました。			・現状	ちば北西部消防指令センター及び他構成市と協議を行い、迅速かつ効率的な指令業務の運用を行います。その他、消防通信機器の維持管理を行います。					
・評価	遠制マニュアルの改定及び遠制勤務職員への研修及び運用訓練を実施したことにより、災害時における迅速性及び確実性が向上しました。			・課題	新規採用職員及び通信経験の少ない職員に対して、通信指令業務の体制を確保するため、指令システム、消防通信機器に関する知識及び操作方法を継続的に教育する必要があります。その他、消防救急無線機に経年劣化等による消耗を見受けられるため、更新計画を明確化する必要があります。					
・課題に対する改善点	大規模災害発生時に通信指令業務の機能を維持するために、指令システムに関する知識・技能の教育を継続的に行いました。			・取組	災害に対して迅速かつ確実な対応が可能となるよう通信担当職員の育成を図ります。また、消防救急無線機の更新を見据えた情報収集を行います。					
消防体制の強化										
消防団機械器具置場建設事業	地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から30年を目安に順次建替えや大規模改修を行い、地域消防力の強化を図ります。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
消防総務課	27,000		27,836		21,156	26,303	20,106	6,197		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
消防団機械器具置場建設予定（件）	-	1	1	移転用地取得状況（%）		100	-	-		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	年度内に新たな第8分団機械器具置場の建設工事と既存の第8分団機械器具置場の解体工事が完了できるよう、関係機関と調整を図り事業を進めました。			・現状	第14分団機械器具置場建設のため建築設計を依頼し、千葉県が実施している消防防災施設強化事業補助金制度に申請をしています。					
・評価	地域防災力の低下を招かぬよう、既存の第8分団機械器具置場の機能を維持しつつ、新たな第8分団機械器具置場の建設工事を行いました。			・課題	第14分団機械器具置場については、令和4年度末に急遽用地を地権者に返還することとなり、機械器具置場の解体工事を行ったことから、第14分団管轄における地域防災力の低下が懸念されているため、早期に機械器具置場を建設する必要があります。					
・課題に対する改善点	新たな第8分団機械器具置場の周辺住民に対して、消防団機械器具置場の必要性について丁寧な説明を行い、理解を得た上で建設工事を進めました。			・取組	早期に第14分団機械器具置場の建設工事が完了できるよう、関係機関と調整を図り事業を進めます。					
消防体制の強化										
消防団車両整備事業	市民と消防団を対象とし、消防団に配備する車両を更新整備することにより地域の安心安全に備えます。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
消防防災課	215		110		7,052	1,785	0	1,785		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
消防団車両等配備台数（台）	24	24	24							
消防団車両新規入れ替え台数（台）	2	1	3							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	各種灾害対応への充実強化を図るために、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき計画的に流山市消防団車両をリース契約による更新をしました。			・現状	各種灾害対応への充実強化を図るために、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、計画的に流山市消防団車両をリース契約により更新整備します。					
・評価	流山市消防団第15分団車両については、令和6年3月より運用を開始し、市民の安心安全に寄与しています。			・課題	災害発生時に小型動力ポンプを積載したまま使用できるよう、小型動力ポンプ積載位置の簡装について検討を行います。					
・課題に対する改善点	車両更新については、引き続き普通自動車オートマ限定免許で運用できるよう、車両総重量3.5トン未満の小型動力ポンプ付積載車へ統一して配備します。また、災害発生時に小型動力ポンプを搬送するにあたり、容易に搬送できるよう小型動力ポンプ台座にキャスター等を設置しました。			・取組	購入から20年が経過する流山市消防団第3、11、18分団車両をリース契約により更新整備します。					

救急救助体制の強化

救急救命士養成事業		救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
消防総務課	5,119	4,692	14,104	5,197	0	5,197		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
救急救命士資格取得人数（人）	2	1	1	救急救命士人數（人）		29	32	36
千葉県消防学校救急科受講人数（人）	9	8	8					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
令和5年度について、令和4年度に救急救命士に合格した職員2名、有資格者1名の運用開始及び救急救命東京研修所へ1名、千葉県消防学校救急科に8名派遣しました。				令和6年度は救急救命東京研修所へ1名、就業前病院員研修へ5名、千葉県消防学校救急科に8名の派遣を予定しています。				
・評価				・課題				
令和5年度について、令和4年度に救急救命士国家試験に合格した職員2名及び有資格者1名、合計3名の運用開始となりました。令和5年度救急救命士国家試験に1名合格しました。千葉県消防学校救急科に8名派遣しました。				令和6年度現在運用救急救命士32名であり、令和7年度からの救急隊増隊に向け計画的な育成が必要となります。				
・課題に対する改善点				・取組				
令和5年度末現在運用救急救命士は32名であり、救急隊増隊に向け救急救命士の計画的な育成を行いました。				救急救命士東京研修所、就業前病院研修及び千葉県消防学校救急科に職員を計画的に派遣しています。				

消防・救急意識の向上

火災予防運動啓発事業		火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置促進や消防団による火災予防の広報、出火防止及び防火思想の普及啓発を行います。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
予防課	5,158	2,753	5,642	5,028	0	5,028		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
防火診断実施件数（件）	2	16	20	年間火災発生件数（件）		28	32	20
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡視し、広報や啓発活動を実施しました。				感染症対策の規制緩和に伴い、事業展開の拡充や見直しが求められています。				
・評価				・課題				
感染症対策の規制緩和により新たな火災予防活動の取り組みとして、大規模な火災予防フェアを実施し、広く防火意識の浸透を図ることができました。				さらに踏み込んだ実効性のある火災予防活動の展開や普及啓発活動を展開する必要があります。				
・課題に対する改善点				・取組				
新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた火災予防フェアを年2回開催し、効果的な火災予防活動を実施しました。				火災の発生と被害の軽減を図るために広報活動を、より効果的な手段で実施していきます。				

主管部局 土木部

施策の目的 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば（千葉県警察本部）	19.4	16.7	16.7	件	↓
人口1万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数（1月～12月）（千葉県警察本部）	37.9	38.6	44.0	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センター寄せられた相談件数（消費生活センター）	1,517	1,627	1,607	件	-

令和5年度の取組みと評価・改善点

令和6年度の現状・課題・取組み

<p>・取組内容</p> <p>交通事故の件数、場所、原因を関係機関で共有し、適切な交通安全対策を実施するとともに、自治会等、地域からの情報収集も積極的に行い、生活道路対策等、諸課題の解決に努めました。防犯灯及び防犯カメラの整備や安心メールや市ホームページ、広報などがやまとによる防犯啓発情報や消費啓発情報の発信、市民等ボランティアによる防犯活動への支援を実施し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。</p> <p>・評価</p> <p>成年年齢の引き下げに伴う若年者の消費者トラブルに対応するため、市内高等学校に啓発チラシを配布し、成人式においては啓発ポスターの掲示を行ったほか、全世代に向けて、悪質商法や詐欺被害等消費関連情報の迅速な発信に努めた結果、消費生活相談は微減となりました。一方で人口1万人あたりの犯罪発生件数は増加となったことから、迅速な情報発信により被害の未然防止に努めることが必要です。</p> <p>・改善点</p> <p>物流施設の供用開始等に伴う道路環境の変化により、生活道路での安全対策が求められています。ESCO事業により一括交換した防犯灯について、事業終了後の維持管理方法について検討するため、先進自治体の情報を収集しました。</p>	<p>・現状</p> <p>地域ごとの諸課題を把握するとともに、それぞれに適した交通安全対策を関係者と協力し、安心して生活できる環境づくりに努めます。引き続き人口の増加が見込まれることから、交通事故、犯罪、消費者トラブルも一定数増加する可能性があります。こうした環境変化に対応するため、交通安全対策、防犯対策、消費者保護等の取組を推進することが必要です。</p> <p>・課題</p> <p>小学校の新設や中学校の移転等に伴う交通状況の変化に対応した安全が求められています。平均年齢が高くなっている市民安全パトロール隊が巡回する青色回転灯車両の事故防止対策や、ESCO事業終了後の防犯灯維持管理方法について検討が必要です。消費者トラブルについて、引き続き、手口の多様化・巧妙化にいち早く対応することが求められています。</p> <p>・取組内容</p> <p>防犯灯及び防犯カメラの整備を推進するとともに、青色回転灯車両の事故防止対策やESCO事業終了後の維持管理方法について検討します。犯罪発生情報、消費関連情報等の迅速な発信に努めます。</p>
---	--

交通安全対策の充実

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
道路管理課		50,000		59,690	30,610	50,000	0	50,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
情報処理件数（件）	224	253	200	人身事故発生件数（件）		345	351	340
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>交通事故の件数、場所、原因を関係機関で共有し、適切な交通安全対策を実施するとともに、自治会等、地域からの情報収集も積極的に行い、生活道路対策等、諸課題の解決に努めました。</p> <p>・評価</p> <p>地元自治会や学校等から現状及び今後の諸課題を聞き取り、交通安全対策を実施しました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>物流施設の供用開始等に伴う道路環境の変化により、生活道路の安全対策が求められていたことから、随時対応を行いました。</p>								
<p>・現状</p> <p>地域ごとの諸課題を把握するとともに、それぞれに適した交通安全対策を関係者と協力し、安心して生活できる環境づくりに努めます。</p> <p>・課題</p> <p>小学校の新設や中学校の移転等に伴う交通状況の変化に対応した安全が求められています。</p> <p>・取組</p> <p>地元自治会や学校関係者等と交通安全に関する諸課題を協議し、各箇所に応じた安全対策を実施します。</p>								

防犯対策の充実

安心安全支援事業	安心・安全な市民生活を推進するため、防犯カメラの設置や安心メールの配信、流山市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊の防犯活動を支援します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
コミュニティ課		32,984		23,453	14,104	46,504	10,550	35,954
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
自主防犯パトロール隊の組織数（団体）	73	77	77	刑法認知件数（件）		807	930	930
流山市民安全パトロール隊員数（人）	33	33	33	犯罪に関して市内（自宅周辺）は安全だと感じる市民の割合（%）		62.4	62.7	62.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>防犯灯や防犯カメラの設置、安心メールの配信、市民等による防犯活動支援を実施することに加え、警察との連携強化により、従前よりも防犯効果の高い情報発信等を行うことにより、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。</p> <p>・評価</p> <p>市民が、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに努めましたが、刑法認知件数が前年に比べて増加しており、更なる防犯対策が求められる状況です。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>防犯対策として、効果的な情報発信を図ってきたとともに、警察との連携の強化や防犯灯の増設を図り、明るいまちづくりに取り組みました。</p>	<p>・現状</p> <p>警察をはじめとした、関係機関との連携や、防犯に関する啓発や情報発信を行うほか、防犯灯や防犯カメラの設置個所の増加を図り、犯罪を抑止できる環境の整備に努めています。</p> <p>・課題</p> <p>国の感染症対策の変更により、人々の外出が増えることで不審者等の流入の可能性が高まることが想定されます。</p> <p>・取組</p> <p>警察をはじめとした、関係機関との更なる連携を図り防犯に関する啓発や情報発信を行うほか、防犯灯や防犯カメラの設置個所の増加を図り、犯罪を抑止できる環境の整備に努めます。</p>							

消費生活センターの充実

被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐため、専門の相談員を配置し、相談対応、情報提供を行います。											
消費者情報提供事業											
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
コミュニケーション課	17,775	17,190	4,232	20,039	184	19,855					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
相談件数(件)	1,627	1,607	1,607	相談処理が完結している割合(年度末時点) (%)	98.34	97.39	98.00				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	専門相談員が環境変化に応じた助言を適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座やホームページ・SNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組みました。										
・評価	相談者に対する適切な助言やあっせん、消費関連情報の啓発を行うことで、消費者トラブルの解決や被害回復及び被害未然防止に寄与しました。										
・課題に対する改善点	消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応し適切な助言等ができるように、専門相談員がスキルアップ研修に積極的に参加しました。										
・現状	副業のトラブル増加やその他悪質商法の手口の多様化・巧妙化など、消費者を取り巻く環境が変化しています。										
・課題	消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応する必要があります。										
・取組	専門相談員が環境変化に応じた助言等が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座やホームページ・SNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組んでいきます。										

主管部局 市民生活部

施策の目的

地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100 ※10月1日時点（コミュニティ課）	62.5	61.4	60.0	%	↑
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数+ NPO 法人数－重複団体数（コミュニティ課）	234	236	263	団体	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 「自治会の事務負担軽減」に際し、地域や行政情報共有の負担軽減ツールとして電子回覧機能を有した地域SNSの導入を検討するため、総務省の地域SNS実証事業を実施しました。	・現状 引き続き「自治会の事務負担軽減」について、申請事務の簡略化やICT化を推進し、自治会活動を無理なく継続的に進めていくようにすることで、自治会の加入率向上を目指します。					
・評価 総務省で開始された地域SNSの実証事業に参加した結果、実際使用したアプリについて自治会からは、一定の評価を得たものの、利便性や使用感については課題も多いとのことでした。各自治会によって会員の構成など、環境が異なるため、幅広いツールや支援制度の研究、検討が必要です。	・課題 定年延長、共働き世代の増加、現会員の高齢化により、自治会活動をはじめること、続けることが難しい状況となっています。活動を無理なく継続的に進めていくように、自治会の事務負担軽減を進めていく必要があります。					
・改善点 自治会活動支援に関して、役員の扱い手不足や自治会未加入者の増加などの自治会が抱える諸課題について「自治会の事務負担軽減」がキーポイントであると認識し、総務省の地域SNS（地域や行政情報共有の負担軽減ツール）実証事業を実施したことにより、自治会の事務負担軽減の具体的な選択肢を得ることができました。	・取組内容 自治会の事務負担軽減のために、申請事務の簡略化やICT化を推進するとともに、自治会懇談会等や自治会アンケートにおいて、各自治会が抱える固有の悩みや問題を意見聴取し、課題解決のために必要な制度やツールの研究を進めます。					

地域コミュニティの活性化

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、コミュニティ活動活性化に資する講座を開催するなどし、自治会活動を支援します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
コミュニケーション課	28,750		27,598		15,305	27,361	4,867				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
自治会懇談会開催回数(回)	2	2	2	自治会加入率(%)		61.4	60.0				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 「自治会の事務負担軽減」に際し、総務省の地域SNS実証事業を実施したことを十分活かし、自治会内の情報共有ツールとして次年度以降の全自治会向けへの取り組みへ繋げられるよう努めました。	・現状 各自治会が置かれている環境により課題が異なるため、各自治会の抱える課題の共有や先進事例の紹介など、自治会間での意見交換の場は引き続き必要であると考えています。										
・評価 新任自治会長を対象とした説明会や懇談会を実施し、自治会間での課題の共有や解決に向けた意見交換を行いました。自治会運営に関する悩み解決に一定の効果はあったものと考えています。	・課題 市内の自治会のみの意見交換だけでは出ない意見や事例なども積極的に収集する必要があります。										
・課題に対する改善点 役員の扱い手不足や自治会未加入者の増加など自治会が抱える諸問題について、自治会の事務負担軽減を図ることに努めました。	・取組 市民活動団体等と連携し、近隣市を含む広域的な意見交換の場を提供していきます。										

地域コミュニティの活性化

自治会館建設費補助事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
コミュニケーション課	0		0		2,116	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
自治会館建設補助申請件数(件)	2	-	-	自治会加入率(%)		61.4	60.0				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 例年に引き続き7月から8月に受け付けている自治会からの次年度要望による活用意向把握とともに、5月に実施予定の新任自治会長説明会時のアンケート調査においても把握できるよう努めました。	・現状 次年度要望による活用意向把握及びアンケート調査の結果、令和6年度中に自治会館の建て替えを希望する自治会はありませんでした。										
・評価 令和5年度は、自治会館の建て替えを希望する自治会はありませんでした。	・課題 特定の年度に集中することなく適切な予算措置に基づく財政支援を図るために、自治会の意向把握が課題となっています。										
・課題に対する改善点 特定の年度に集中することなく適切な予算措置に基づく財政支援を図るために、自治会の意向把握に努めました。	・取組 自治会アンケートにより各自治会の意向確認を行い、特定の年度に建て替えが集中することのないよう、現状の把握及び調整を実施します。										

地域コミュニティの活性化											
コミュニティホーム改修事業	地域住民が連帯感を持ち快適で健全な生活環境のもとで健康的生活の向上を図るために設置されたコミュニティホームについて、老朽化に伴う補修など適正な維持管理を継続し、地域コミュニティの利用に供します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
コミュニティ課	957		545	3,526	6,000	2,100	3,900				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
第3コミュニティ・ホーム移転建て替え進捗状況 (%)	-	-	30								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	昭和46年に自治省のモデルコミュニティとして整備された施設であり、老朽化が懸念されるため、施設の維持管理について検討しました。										
・評価	改革の必要性があるため地域との調整を行い、第3コミュニティ・ホームの移転建て替えの方針を決定しました。										
・課題に対する改善点	国の補助を利用し、再建築を検討しました。										
・現状	都市再生整備計画に位置づけ、令和6年度から令和8年度にかけて移転再築を行っていきます。										
・課題	区画整理区域内での移転再築のため、土地区画整理事業の事業進捗との調整が必要です。										
・取組	流山区画整理事務所と連携を密にし、計画的な事業執行を行います。										
地域コミュニティとの協働・連携											
市民活動推進事業	市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
コミュニティ課	18,878		18,029	11,059	19,279	411	18,868				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)	12,167	13,255	13,500	市民活動推進センター登録団体数(団体)	223	234	240				
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(件)	5	5	7				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	引き続き市民活動推進センターと連携をとりながら、多様な主体同士のコーディネートや各団体の活動情報発信強化を図り、市民活動団体支援に努めました。										
・評価	市民活動団体登録数、市民活動推進センターの利用者は増加しており、市民が活動をするための支援ができたものと考えています。										
・課題	市民活動団体と自治会の関連性が弱いため、活動の機会損失に繋がっています。										
・取組	地域での活動の幅を広げるために、市民活動推進センターで市民活動団体と自治会がマッチングする機会を設けるなど、関連性を強化していきます。										

主管部局 健康福祉部

施策の目的 生涯を通じて心身とともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標		指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向	
健康寿命(平均自立期間)		日常生活動作が自立している期間の平均（千葉県健康福祉部資料）※1数値は2018年(H30)の統計。※2数値は2019年(R1)の統計。※3数値は2020年(R2)の統計。上段：65歳男性、下段：65歳女性	18.89 21.15(※1)	18.84 21.17(※2)	18.87 21.13(※3)	年	↑	
生活習慣病による死者数の割合		死者数全体のうち、悪性新生物（がん）、心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、糖尿病による死者数の占める割合（千葉県衛生統計年報）※4 数値はR2年 ※5 数値はR3年 ※6 数値はR4年	55.9(※4)	52.8(※5)	54.0(※6)	%	↓	
一般診療所の数		千葉県衛生統計年報 ※7数値はR2年、※8数値はR3年、※9数値はR4年	103(※7)	118(※8)	125(※9)	-	↑	
令和5年度の取組みと評価・改善点							令和6年度の現状・課題・取組み	
・取組内容		・現状						
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、感染状況の把握に努めながら、医師会や松戸保健所等と連携し、感染対策を行いました。また、国や県等の最新情報を広報やホームページ、安心メール等で周知しました。		市民の健康の保持・増進を図るために、乳幼児から高齢者まで、全市民を対象に、疾病の予防・早期発見のための各種健（検）診、妊娠婦・乳幼児の各種健康診査及び保健指導、各種予防接種を実施しています。						
・評価		・課題						
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルを終了した後も、医療機関の状況を確認するとともに、引き続き市民からの発熱等の相談対応を行い、市民の不安軽減に努めました。		令和6年度から新型コロナワクチン接種が予防接種法のB類疾病に位置付けられ、定期接種として実施することから円滑に接種できる体制の構築が必要です。また、医師の働き方改革も始まり、さらに医師の確保が難しくなることから、現在ある医療資源を守るための取り組みが必要です。						
・改善点		・取組内容						
新型コロナウイルス感染症の感染状況を安心メールや広報で周知するとともに、国や県の動向を注視しながら、情報の発信に努めました。		新型コロナワクチン接種が円滑に接種できる体制の構築に努めます。また、限られた医療資源を守るために、上手な医療のかかり方等の周知を行うとともに、市民が安心して医療を受診できる医療体制の確保及び災害時の医療救護体制の整備に努めます。その他、がん検診の利便性向上のため、子宮がん及び乳がんのセット検査を実施する日を設けます。						

ライフステージに応じた市民の健康づくり

健康づくり支援事業	誰もが、生涯を通じ生き生きと自分らしく充実した人生を送る社会を実現するため、第2次健康づくり支援計画（令和2~11年度）に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスマップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。											
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
健康増進課		3,532	2,055	21,156	6,411	0	6,411					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績					
ヘルスマップ教室開催回数(回)	110	100	100	ヘルスマップ教室参加者(人)		232	259					
				市民健康まつり参加者数(人)		-	615					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組		・現状										
市民の健康づくりを支援する取組みや健康づくりのきっかけとなる情報の提供に努めました。また、健康まつりを開催し、健康的な生活習慣を身につける機会の提供や健康情報の周知・啓発を行いました。		2年半ぶりに委嘱した流山市健康づくり推進員による活動を再開しました。市民向けの運動講座や栄養講座の実施を計画しています。ヘルスマップ事業(教室)では、体を動かす楽しさを実感しながら、運動習慣を身につけるきっかけづくりに重点を置いて活動しています。										
・評価		・課題										
4年ぶりの開催となる市民健康まつりでは、615名の市民に参加いただきました。2年半ぶりに流山市健康づくり推進員の委嘱を行い、活動再開に向けて準備を行いました。		新型コロナウイルス感染症の流行により、市民協働し、健康づくりのための意識を向上させる機会が減少していましたため、今後各活動を活発化させていく必要があります。										
・課題に対する改善点		・取組										
新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた事業を再開し、継続して市民の健康づくりを推進できるよう努めました。		健康まつりや流山市健康づくり推進員活動等事業の実施により、市民の健康づくりを支援する取組みや健康的な生活習慣のきっかけづくりに努めています。										

ライフステージに応じた市民の健康づくり

母子健康診査事業	母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊娠・3~6か月児、9~11か月児、3か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊娠・乳児一般健康診査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。3歳児健康診査の一部を除き、個別委託を実施します。また、令和3年度から新生児聴覚スクリーニング検査を実施しています。											
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
健康増進課		174,375	162,804	44,714	189,172	6,887	182,285					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績					
妊娠届出数及び転入妊婦数(人)	2,238	2,179	2,000	妊娠・乳児一般健康診査受診率(%)		90.19	93.11					
3か月児・1歳6か月児・3歳児健診発送数(通)	7,034	6,994	7,000	3か月児・1歳6か月児・3歳児健診受診率(%)		94.29	94.47					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組		・現状										
親子保健係及び妊娠育児サポート係で電子カルテの活用を進めました。新生児聴覚スクリーニング検査については、母子保健事業を活用したフォローアップ体制を整備しました。また、3歳児健康診査については、歯科健診を個別健診から集団健診へ変更したことでの影響で、歯科健診受診率の向上に努めました。		令和6年度についても、引き続きかかりつけ医による個別健診を推進し、適切な時期において各種健康診査を実施します。										
・評価		・課題										
電子カルテを活用したことで、妊娠婦から乳幼児までの情報が共有でき、より切れ目のない支援を実施することが可能となりました。また、乳幼児健康診査については、適切に実施することができ、特に3歳児歯科健康診査は、集団健診に変更したことで、受診率が向上しました。		各種健康診査後に相談できる体制を整備及び医療機関と連携し、情報を共有することでフォローアップ体制を強化する必要があります。未受診者については、令和5年度に全数把握のためのフォローチャートを見直したことから、適切に運用していくことが必要です。										
・課題に対する改善点		・取組										
各種母子保健事業において、電子カルテを活用した相談体制の検討を行い、切れ目のない支援を実施することができました。また、新生児聴覚スクリーニング検査後はフローチャートを用いた継続支援を実施することができました。引き続き各種母子保健事業後の継続支援体制の構築に努めています。		1歳6か月児健康診査については、保護者への連絡手段として、新たにメールアドレスの設定を行い、メールを用いた相談支援を行います。医療機関と連携し、各種健康診査後のフォローアップ相談の体制を強化します。また、未受診者への通知、訪問の時期等を見直し、電子カルテの情報を活用しながら、受診率向上及び全数把握に努めます。										

疾病の早期発見

予防接種事業	感染症の発生及び蔓延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課	750,521		786,001		24,682	812,711	3,469	809,242			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
麻しん風しん1期個別勧奨数(通)	2,311	2,200	2,200	麻しん風しん1期接種率(%)		96.96	95.46	95.00			
麻しん風しん2期個別勧奨数(通)	2,490	2,504	2,545	麻しん風しん2期接種率(%)		97.28	96.67	95.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 麻しん・風しん第1期については、引き続き1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上を図りました。ヒトバビローマウイルス感染症予防接種の9価ワクチン開始については、対象の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、個別通知等で周知を行いました。										
・評価	・課題 ヒトバビローマウイルス感染症予防接種のキャッチアップ接種の対象者へ個別通知を送付することにより、接種率向上に努めました。風しん抗体検査を含め、予防接種についても、安全で適切な実施や接種勧奨に努めました。麻しん・風しんワクチンの接種率も目標値を上回っています。										
・課題に対する改善点	・取組 麻しん・風しん第1期については、新型コロナウイルス感染症の流行による接種控えを防ぐため、1歳6か月健康診査で把握した未接種の方に電話による接種勧奨を行い、接種率の向上につなげました。										

疾病の早期発見

健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課	337,689		298,701		46,275	349,790	30,904	318,886			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)	82.00	81.33	85.00	がん検診精密検査未把握率(%)		13.00	6.35	5.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 がん検診受診率向上に向けて、40歳に到達される方がはじめて検診を受けるきっかけとなるように胃がん・肺がん検診の受診券を送付しました。精密検査受診率の向上に向け、個別の受診勧奨を丁寧に行いました。市民の方に健康に関する正しい知識を普及するために健康教育の充実に努め、新しい取り組みとして小学校にて「がん健康教育」を行いました。										
・評価	・課題 40歳に到達される方に受診券を個別送付した結果、その年代の受診者数は大幅に増加しましたが、がん検診全体の受診率は低下している状況でした。精密検査受診率は横ばいであり、検診の種類によっては達成できていないものがありました。精密検査未把握率は大幅に低下しました。										
・課題に対する改善点	・取組 胃がん・肺がん検診では40歳に到達される方に受診券を個別送付したことでの、その年代の受診者数は大幅に増加しました。精密検査については、対象者に個別受診勧奨を丁寧に実施しました。										

疾病の早期発見

特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、流山市国民健康保険データヘルス計画に基づき、令和2年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やAIによる特定健康診査受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課	158,022		125,442		21,156	154,720	154,720	0			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
AI分析による特定健康診査受診勧奨通知(件)	30,444	30,444	30,500	特定健康診査受診率(%)		49.50	R6年11月確定	51.00			
特定保健指導利用勧奨(訪問・電話)数(件)(年度末時点)	311	255	300	特定保健指導利用率(%)		23.90	R6年11月確定	26.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 特定健康診査の受診率向上のため商工会議所会員や市内で農業を営む市民に対し、受診勧奨通知を発送しました。商業施設で特定健康診査受診の啓発を含めた健康イベントを実施しました。また、特定保健指導利用率向上のため、通知や訪問による利用勧奨を引き続き早期に実施し、利用数増加を目指しました。										
・評価	・課題 受診勧奨通知の発送、健康イベントにおいて特定健康診査の受診勧奨と合わせて、健康相談や体組成測定等を実施し、市民に好評でした。特定健康診査の受診率は、暫定値ですが横ばいの状況でした。特定保健指導については、早期の利用勧奨を努めましたが、令和4年度に比べ利用者数は減少しました。										
・課題に対する改善点	・取組 若年層の受診率向上や、対象者全体の特定健康診査受診の習慣化に向け引き続き勧奨通知の発送や健康イベントでの啓発を行いました。特定保健指導については、電子申請による申し込みを開始するなど、利用者数を増加させるための取り組みを行いました。										

地域医療体制や健康危機管理体制づくり											
医療体制整備・確保事業	医療提供体制の確保を図るため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）、市内3病院における第2次救急を整備します。また、市内の病院等における看護師等を確保するため、病院内保育を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護学校等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課		105,087		99,804	21,156	100,289	2,759	97,530			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
平日夜間・休日診療所開設日数（日）	365	366	365	平日夜間・休日診療所・夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数（人）		2,752	5,002	4,000			
				看護師等修学資金貸付金申請件数（件）		63	53	75			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	医師会等と緊密な連携を図り、医療体制の維持に努めました。また、院内保育の助成、看護師等修学資金貸付により医療人材の確保を図りました。										
・現状	本市の人口増加に伴い、医療ニーズが増大しています。特に子育て世代が増えていることもあり、小児医療体制の確保が難しい状況にあります。										
・評価	平日夜間・休日診療所に発熱外来用のプレハブを設置するなど、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も感染対策と医療体制の維持に努めました。										
・課題	令和6年4月から医師の働き方改革が開始したことにより、医療体制への影響が見込まれることから、本市の今ある医療資源を守る必要があります。										
・課題に対する改善点	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、基本的感染対策と医療体制維持を図るために、安心メールや広報により県の定点報告による感染情報や、感染予防の周知啓発に努めました。										
・取組	医師会等と緊密な連携を図り、状況の把握と共有を行い、限られた医療資源を守るため、上手な医療のかかり方等について、市民へ周知啓発を行います。										
地域医療体制や健康危機管理体制づくり											
健康危機管理整備事業	災害や新型インフルエンザ等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備えるため、県や関係機関との連携・協力のもと、健康危機管理体制を構築します。災害発生時の備えとして、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を確保する等、医療救護体制の整備を行います。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課		2,894		2,962	21,156	1,925	0	1,925			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
災害医療対策会議実施回数（回）	-	1	2	ランニング備蓄店舗数（件）		36	33	34			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	災害医療対策会議を約4年ぶりに対面にて開催しました。救護所等の物品確認と補充を行い、必要な備蓄を確保しました。また、「医療救護活動マニュアル」の一部見直しを行いました。										
・現状	災害医療対策会議の開催や、救護所用の医療資器材及び医薬品の備蓄を実施する等、医療救護体制を構築しています。										
・評価	災害医療対策会議の対面開催により、各委員が災害時の協力体制構築についての認識を共有することができました。また、救護所等の物品の内容充実により、災害時の迅速な医療救護活動に向けた物品整備をすることができました。										
・課題	発災時を想定した医療救護体制については、より具体的な議論を重ねていく必要があります。また、平時から新興感染症の流行や自然災害への備えをしていく必要があります。										
・課題に対する改善点	「医療救護活動マニュアル」の一部見直しを行い、医療救護所の担当区域を中学校区へと変更したことにより、区域基準が明確になりました。										
・取組	災害医療対策会議を開催し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と協議を進めるとともに、「医療救護活動マニュアル」を整備していきます。										
地域医療体制や健康危機管理体制づくり											
保健センター施設整備事業	安心・安全な施設環境を確保するため、保健センターの改修工事を行います。 令和5年度 調理室調理台改修工事 令和6年度 受水槽改修工事、高架水槽改修工事 令和7年度 給排水設備改修工事										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
健康増進課		10,000		12,531	21,156	957	0	957			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
施設改修工事実施件数（件）	-	1	1								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和4年度に実施出来なかった、施設内の照明を蛍光灯からLEDに改修する工事を行いました。併せて経年劣化が進んでいた栄養指導室調理台等改修工事を行いました。										
・現状	個別施設計画に基づき、計画的修繕を実施しています。										
・評価	適正な施設整備に努めました。										
・課題	健（検）診、健康教育や相談事業等の各保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センターを、長期的に利用できるように整備していく必要があります。										
・課題に対する改善点	保健センターの創設から35年以上が経過しているため、老朽化した箇所を適時修繕する必要があることから、栄養指導室調理台等改修工事を行いました。										
・取組	令和6年度は、受水槽及び高架水槽更新工事を行います。										

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課）	新型コロナウイルス感染症の流行に対応するため、市民の不安解消を図る流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルの設置、市内医療機関への流山市新型コロナウイルス感染症対策医療提供促進交付金交付、高齢者施設等での抗原検査等必要な感染防止対策を行います。なお、当該事業は国の感染症法上の分類見直し等があることから、国や県の動向等を注視し、必要に応じ事業実施を見直すなどして取り組んでまいります。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
健康増進課	157,102	7,663	21,156	0	0	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
新型コロナウイルス相談専用ダイヤルへの問い合わせ件数(件)	24,258	296	-								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、終了した事業がありました。このため、国、県等の最新情報を広報やホームページ、安心メール等で周知するとともに、医師会や保健所等と連携し、市民の混乱や不安を招かぬよう努めました。										
・評価	5類感染症へ移行後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策等の周知及び感染状況について定点当たり報告数の情報を発信し、市民への啓発に努めました。										
・課題に対する改善点	5類感染症への移行に伴い、必要に応じて事業の整理や見直しを行いました。また、新型コロナウイルス相談専用ダイヤルを終了した後も、市民からの発熱等の相談対応を行いました。										

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課 ワクチン接種分）	流山市医師会の協力のもと、新型コロナワクチンの円滑な接種を実施します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
健康増進課	362,551	778,038	7,052	8,594	43	8,551					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
市内新型コロナワクチン接種施設数(件)	66	56	69	新型コロナワクチン接種実施回数(回)	249,359	90,992	26,017				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	新型コロナワクチンの安定的な制度の下での接種を見据え、医師会と連携し、個別接種を中心とする体制へと移行を行いました。また、令和6年度以降の職員体制・配置について、関係部署と情報共有し、協議を行いました。										
・評価	令和5年度春開始接種及び秋開始接種体制を構築し、接種をすすめるとともに、令和6年度以降の職員体制・配置について、関係部署と情報共有し、新規体制について協議を行い、令和6年度以降の体制を構築しました。										
・課題に対する改善点	令和6年度以降の職員体制・配置について、関係部署と情報共有し、予防接種事業を行う親子保健係に事業を移管し、職員体制・配置を見直しました。また、国の動向を注視し、情報収集に努めました。										
・現状	新型コロナワクチン接種が、予防接種法のB類疾病に位置づけられたことから、予防接種法に基づく定期予防接種として実施します。										
・課題	新型コロナワクチン接種がこれまでの特例臨時接種ではなく、定期予防接種として実施されることから、制度の変更点を市民へ周知することが必要です。										
・取組	市民に制度の変更点を周知するため、対象者や接種方法について広報やホームページ、安心メール等で十分な周知を行い、接種を希望する方が接種できる体制の構築に努めます。										

主管部局 生涯学習部

施策の目的 生涯を通じて心身とともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	37.4	35.7	38.1	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	50.9	52.3	52.6	%	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組内容</p> <p>公民館では、文化会館ホールの特定天井の改修工事、舞台床の張替工事等を実施したほか、公民館等に貸出用Wi-Fi機器を整備しました。生涯学習センターでは、体育館及び演習室の床修繕工事等を行いました。また、図書館では、南流山図書ピックアップセンターを開設したほか、図書館電算システムを更新しました。</p>		<p>・現状</p> <p>公民館をはじめ、中央図書館・市立博物館など築年数が経過した施設については、経年劣化による破損や老朽化が見られます。</p>				
<p>・評価</p> <p>公民館及び生涯学習センターの改修工事等については、遅滞なく予定どおり実施することができました。また、公民館等の貸出用Wi-Fi機器の整備、図書館電算システムの更新等により、利用者の利便性の向上を図ることができました。</p>		<p>・課題</p> <p>安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るために、計画的な改修・修繕が必要です。図書館については、多様な読書環境の提供に努め、視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方が利用しやすい資料の充実を図ることが課題です。</p>				
<p>・改善点</p> <p>安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るために、各施設において優先順位を考えながら計画的な改修・修繕を進めました。図書館電算システムについては、誰もが使いやすい図書館ホームページにリニューアルし、読書シールの印刷等も可能な読書記録機能を取り入れ、利用者の読書意欲と利便性の向上を図りました。</p>		<p>・取組内容</p> <p>利用者の利便性の向上を図るために、南流山センターのエレベーター更新工事、北部公民館の空調機器更新工事等を実施します。森の図書館では屋根の改修工事、生涯学習センターではエレベーター更新工事及び体育館のエアコン設置工事を実施します。また、図書館では視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方にも「聞く読書」を楽しんでいただけるオーディオブックを導入します。</p>				

多様な生涯学習機会の充実

図書館資料購入事業	図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
図書館	40,422	40,401	14,104	41,228	0	41,228
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績
図書購入冊数(冊)	14,009	14,575	14,791	蔵書冊数(冊)	524,047	531,118
視聴覚資料購入点数(点)	463	376	222	貸出点数(月平均)(点)	95,699	98,973
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	<p>市民からのリクエストを参考にしながら計画的に資料を購入しました。特に、サンコーテクノプラザ南流山地域図書館が所蔵する児童書の拡充に取り組みました。</p>					
・評価	<p>図書は、一般図書8,969冊、児童図書5,247冊、参考図書359冊を購入しました。視聴覚資料は、CD172点、DVD78点、紙芝居126点を購入しました。電子書籍は519コンテンツを購入し、利用者に提供することができました。</p>					
・課題に対する改善点	<p>サンコーテクノプラザ南流山地域図書館の資料として、3,215冊を購入しました。そのうち児童書は、前年度の約1.4倍となる1,595冊でした。</p>					
・現状	引き続き、図書館が所蔵すべき資料を計画的に購入します。					
・課題	視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方が図書館を利用しやすいよう、点字資料、大活字本、デジタル録音図書等のアクセシブルな資料の充実に努める必要があります。					
・取組	視覚障害等の理由により活字の本を読むことが困難な方のほか、様々な時間や場所で「聞く読書」を楽しんでいただけるようオーディオブックサービスを導入します。					

多様な生涯学習機会の充実

子どもの読書活動推進事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
図書館	2,806	2,784	7,052	2,568	0	2,568	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	
ブックセット設置施設数(施設)	14	70	62	図書館全館(7館) 乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)	16,570	19,573	
ブックセット設置冊数(冊)	922	2,464	1,936	令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組	新設の子育て関連施設や障害児通所支援事業所に基本のブックセットを設置したほか、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置しました。						
・現状	子どもの読書環境の整備を継続的に支援し、子どもの読書活動を推進しています。						
・評価	今後も子育て関連施設への「乳幼児向けブックセット」の設置を継続しつつ、子どもの読書活動をより推進していくための取り組みを広げていくことが課題です。						
・課題	新設の子育て関連施設のほか、地域子育て支援センターに乳幼児向けブックセットを設置します。また、ブックセット第2便を未設置の障害児通所支援事業所に新たに開始する第3便を保育所等に設置します。						
・取組	新設の子育て関連施設のほか、地域子育て支援センターに乳幼児向けブックセットを設置します。また、ブックセット第2便を未設置の障害児通所支援事業所に新たに開始する第3便を保育所等に設置します。						

生涯学習の環境整備

文化会館施設整備事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、文化会館の修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館	128,992		105,440		7,533	1,349	1,200	149
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	100	100	100	利用者アンケート調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		47	46	50
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、ホールの特定天井改修工事、舞台床張替工事、排水設備改修工事及び市民会館棟外壁改修工事を実施し、施設環境の整備に取り組みました。							・現状
・評価	全ての工事において遅滞なく実施し、安全に配慮しながら工事を完了しました。							経年劣化による破損や老朽化が見られます。
・課題に対する改善点	ホール天井の脱落防止措置をとり、利用者の安全な環境整備を図ることができました。また、舞台床の張替、市民会館等外壁改修工事を実施し、施設環境の維持向上を図ることができました。施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。							・課題
・課題	施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。							・取組
・取組	施設利用者の利便性向上のため、1階バリアフリートイレを改修します。							・取組

生涯学習の環境整備

中央図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
図書館	703		912		14,104	7,400	0	7,400
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	-	100	100	改修等実施件数(件)		-	1	2
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施し、非常用照明の更新を実施しました。							・現状
・評価	不具合のあった非常用照明の更新を行い、非常時の安全性を確保することができました。							昭和53年の開館以来使用している建築物や設備が老朽化しています。
・課題に対する改善点	老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。							・取組
・取組	緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。中央図書館の内装等改修工事設計業務委託を実施します。また、老朽化した書庫移動棚の更新を実施します。							・取組

生涯学習の環境整備

南流山センター施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館	2,000		1,707		2,596	35,721	32,100	3,621
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		51	62	65
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行いました。							・現状
・評価	経年劣化による破損や老朽化が見られます。							・課題
・課題に対する改善点	施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。							・取組
・取組	施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、エレベーターの更新工事を行います。またトイレの洋式化及び1階バリアフリートイレ内にオストメイト対応装置を設置する等の改修工事に取り組みます。							・取組

生涯学習の環境整備

北部公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、北部公民館の修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館		0		0	0	15,642	12,700	2,942
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	-	-	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		67	74	75
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・現状 経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・課題 施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。				
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・取組 施設利用者の利便性向上のため、空調機器更新工事を行います。				

生涯学習の環境整備

初石公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、初石公民館の修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
公民館		0		0	0	2,660	2,300	360
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	-	-	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		64	61	65
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・現状 経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・課題 施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。				
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・取組 トイレ改修工事を行います。また、令和7年度に受変電設備設計業務委託、令和8年度に受変電設備更新工事を予定しています。				

生涯学習の環境整備

生涯学習センター整備充実事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
文化芸術・生涯学習課		9,150		10,146	4,232	105,540	99,100	6,440
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
工事進捗率 (%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		60	57	60
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	体育館及びA館1階の演習室の床を一部張替える修繕工事などを実行しました。また、令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行いました。			・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・評価	利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく修繕工事を実施できました。			・課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的に修繕等を行う必要があります。				
・課題に対する改善点	床の修繕工事により、体育館及び演習室の施設環境の向上を図ることができました。			・取組 エレベーターの更新工事及び体育館のエアコン設置工事を実施します。また、令和7年度の受変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行います。				

生涯学習の環境整備

地域図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、地域図書館の修繕・改修を行います。									
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
図書館		990		990	14,104	13,035	11,700	1,335		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
工事進捗率 (%)	-	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		69	69	70		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	森の図書館の地下雨水貯留槽の修繕を実施しました。							地域図書館において、経年劣化による破損や老朽化が見られます。		
・評価	森の図書館の地下雨水貯留槽の修繕を実施し、設備の機能を維持することができました。							老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。		
・課題に対する改善点	森の図書館の老朽化した地下雨水貯留槽の修繕を実施したことにより、防水効果の向上、漏水等及び雨水を中水としてトイレ用水に利用する機能を改善することができました。							・取組	森の図書館の東棟勾配屋根の修繕を実施します。	

生涯学習の環境整備

東部公民館施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、東部公民館の修繕・改修を行います。									
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
公民館		0		0	0	3,867	2,300	1,567		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
工事進捗率 (%)	-	-	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合 (%)		58	65	65		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							経年劣化による破損や老朽化が見られます。		
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							・課題	施設の安全に配慮し、長寿命化のためにも計画的な改修や修繕が必要です。	
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							・取組	施設利用者の利便性向上のためトイレ改修を行います。また、施設の安全かつ適正な維持管理を図るために、受変電設備設計業務委託を行います。	

生涯学習の環境整備

博物館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。									
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
博物館		567		828	7,052	2,500	0	2,500		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
工事進捗率 (%)	-	100	100	改修等実施数(件)		-	1	1		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施し、非常用照明の更新を実施しました。							昭和53年の開館以来使用している建築物や設備が老朽化しています。		
・評価	不具合のあった非常用照明の更新を行い、非常時の安全性を確保することができました。							・課題	老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。	
・課題に対する改善点	老朽化した建築物や設備の改修を行い、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げました。							・取組	緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。博物館の内装等改修工事設計業務委託を実施します。	

生涯学習の環境整備

公民館等Wi-Fi整備事業	各公民館、南流山センター、おおたかの森センターにWi-Fi機器を整備します。										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
公民館		1,757	1,757	1,411	0	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
ホール会議室への設置率(%)	-	100	-	延べ貸出回数(回)	-	411	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 施設利用者の利便性向上を図るため、各公民館、南流山センター、おおたかの森センターに貸出用Wi-Fi機器を整備しました。										
・評価	・課題 遅滞なく実施しました。										
・課題に対する改善点	・取組 インターネット環境を整備し、利用者の利便性向上を図るため貸出用Wi-Fi機器を配置しました。ニーズを調査し把握した上で、今後の使用について検証が必要になります。										

主管部局 生涯学習部

施策の目的

文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	31.1	44.4	42.9	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	52	52	52	件	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 文化祭については、スタートおおたかの森ホールで開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表を実施しました。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の見学会を実施しました。また、市内に分散する埋蔵文化財整理室・収蔵庫のうち八木南小学校内整理室を鰐ヶ崎埋蔵文化財整理室に移転しました。	・現状 毎年、文化祭実行委員会の企画・運営による「流山市文化祭」を開催しています。開館から5年経過したスタートおおたかの森ホールは、修繕や更新が必要な設備等があります。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事及び埋蔵文化財整理室・収蔵庫の鰐ヶ崎埋蔵文化財整理室への集約化を進めています。
・評価 文化祭については、文化会館の改修工事により、例年とは異なる会場での開催となった団体もありましたが、参加型ワークショップ等に前年度を上回る多くの方に来場いただきました。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の見学会を4回実施し、延べ144名の参加があり、文化財修復への理解と関心を高めることができました。	・課題 文化祭については、参加団体（実行委員会）の高齢化が進んでいます。スタートおおたかの森ホールの修繕に当たっては、利用者への影響を最小限に抑えて実施する必要があります。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の内部修復、活用方法を検討して行く必要があります。
・改善点 博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の方針が決定し、建物内部の設計変更を実施しました。	・取組内容 文化祭については、新規参加団体の募集に努めます。スタートおおたかの森ホールでは、各種設備のバッテリー交換修繕等を行います。博物館では、国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を進めるとともに見学会を実施します。また、市内に分散する埋蔵文化財整理室・収蔵庫の鰐ヶ崎埋蔵文化財整理室への集約化を進めます。

市民主体の文化芸術活動の促進											
文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を助成します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
文化芸術・生涯学習課	1,300		1,300		2,116	1,300	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
イベント実施数(回)	23	24	24	延べ観覧者数(人)		5,665	6,144				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 スタートおおたかの森ホールで開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、公民館や生涯学習センターを会場に、10月21日から11月19日まで各団体による展示や発表を実施しました。	・現状 毎年、文化祭実行委員会の企画・運営による「流山市文化祭」を開催しています。										
・評価 オープニングセレモニー・イベントでは、参加型ワークショップや展示・発表に、前年度を上回る多くの方に来場いただきました。また、各団体による展示や発表についても、多くの来場者で賑わいました。	・課題 年々、来場者数は増加していますが、参加団体（実行委員会）の高齢化が進んでいます。										
・課題に対する改善点 文化会館の改修工事により、例年とは異なる会場での開催となった団体もありましたが、問題なく、順調に実施できました。	・取組 オープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表を実施します。また、広報ながれやま、市ホームページ等による新規参加団体の募集に努めます。										

優れた文化芸術に親しめる機会の充実											
おおたかの森ホール整備充実事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、おおたかの森ホールの修繕・改修を行います。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
文化芸術・生涯学習課	0		0		0	3,600	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
工事進捗率(%)	-	-	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		76	84				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。	・現状 開館から5年経過し、修繕や更新が必要な設備等があります。										
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。	・課題 修繕や工事については、利用者への影響に配慮して実施する必要があります。										
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。	・取組 ホール客席誘導灯、防火シャッター無停電装置ほか各種設備のバッテリー交換修繕を行います。また、ホール正面前の「創造の森」については、植栽の芝の張替え等の修復工事を実施します。										

歴史的文化的遺産の保存・活用

指定等文化財保存活用整備事業	市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
博物館	47,542	19,195	4,937	65,255	64,200	1,055					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
工事の進捗率 (%)	-	20	70	現地見学会の参加人数(人)	42	144	180				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 保存修復工事内容を周知するための見学会を行いました。	・現状 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の外観部の保存修復工事を進めています。										
・評価 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の見学会を4回実施し、延べ144名の参加があり、文化財修復への理解と関心を高めることができました。	・課題 令和7年度の公開に向けた内部の修理及び公開施設の整備を進めていく必要があります。										
・課題に対する改善点 保存修復工事の方針が決定し、建物内部の設計変更を実施しました。	・取組 保存修復工事を進めながら、見学会を開催し、文化財の保存や修復についての周知を図ります。										

歴史的文化的遺産の保存・活用

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業	市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鰐ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
博物館	30,147	30,625	7,052	25,000	0	25,000					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
鰐ヶ崎整理室への整理室・収蔵庫移転・集約件数(件)	10	20	70	鰐ヶ崎整理室の稼働率 (%)	10	20	70				
鰐ヶ崎整理室の修繕・工事進捗率 (%)	-	35	80								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 八木南小学校内整理室2室分の移転及び鰐ヶ崎整理室3階のパーテーション撤去・電源移設工事、残置物撤去作業などを実施しました。	・現状 流山北小学校内整理室や市内各所に分散する収蔵庫の移転・集約及び鰐ヶ崎整理室1・2階の修繕・工事と残置物撤去作業を進めます。										
・評価 通常業務に影響を及ぼすことなく、実施できました。	・課題 流山北小学校内整理室及び市内各所に分散する収蔵庫の移転と並行して、鰐ヶ崎整理室の施設修繕・工事が必要となります。										
・課題に対する改善点 埋蔵文化財整理室・収蔵庫移転及び鰐ヶ崎整理室の施設修繕・工事を計画的に進めることができました。	・取組 鰐ヶ崎整理室に整理室・収蔵庫を移転・集約し、同施設の修繕・工事、残置物撤去を行います。										

施策 スポーツ

基本政策 生きがいをもつて健康・長寿に暮らせるまち IV 施策分野別評価表

主管部局 生涯学習部

施策の目的

スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	32.3	32.0	32.9	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,397,357	1,388,783	1,415,897	人	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 令和5年度は、市内のテニス人口増加に伴い、総合運動公園庭球場の増設工事を行いました。スポーツ施設の運営については、新型コロナウイルス感染症の5類移行などの社会活動の再開に対応できるよう、指定管理者と連携を取りながら運営しました。また、市内スポーツイベントについても、市民のスポーツ実施率やスポーツ交流人口の向上につながるよう努めました。		・現状 令和5年度末に総合運動公園庭球場の増設工事が終了し、テニス人口の増加が見込まれます。流山スポーツフィールドのA面を主にサッカーフィールドとして快適に利用できるよう人工芝化を計画的に行います。令和6年度は設計を行い、令和8年度から供用開始できる予定です。				
・評価 流山ロードレース大会については、参加者を集めためファンランを開催し、様々な周知方法を図ったことや新型コロナウイルス感染症の5類移行も相まって、前回よりも多くの参加者を集めることができました。また、市内スポーツ事業についても天候に恵まれ、スポーツ団体と連携し実施することができました。		・課題 多くのスポーツ施設を抱え、常に適切な維持管理を行うことが課題となるため、指定管理者や委託事業者と連携を密にし、市民が快適に利用できるように管理する必要があります。また、流山ロードレース大会については、コース設計や運営方法の見直しをする必要があります。				
・改善点 流山ロードレース大会については、3大会ぶりにファンランを開催するに当たり、コース設計などの運営方法の見直しを図りました。また、多くの参加者を集めるための周知方法等を検討し、広報紙やDMなどの紙媒体のほか、ホームページやSNS、ケーブルテレビへの出演で発信しました。市内スポーツ事業については、より多くの方に参加してもらうため、スポーツ推進委員やコミュニティスポーツリーダーとの連携を密に取り、企画作成に注力しました。		・取組内容 スポーツ施設の維持管理については、利用する市民の声を聞きながら現地の巡回や点検作業を事業者とともに実行することで、維持管理を強化していきます。流山ロードレース大会についても実行委員会や委託事業者と意見を交わしながら、より魅力ある大会にしていきます。				

スポーツ活動の促進

スポーツ講習会・大会開催事業	スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充します。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
スポーツ振興課	24,758		22,989		14,104	25,649	0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
流山ロードレース大会実行委員会開催回数(回)	6		6	6		流山ロードレース大会参加者数(人)	1,658		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 気軽に参加できるファンランを導入し、参加費用についても見直しを図りました。また、う回路員については、ボランティアを廃止して業務委託とし、トラブルの防止を図りました。				・現状 流山ロードレース大会を昨年度と同じコースで実施します。魅力ある大会を目指し、市内におけるスポーツ機運の向上に努めています。					
・評価 4年ぶりにお子さんも気軽に参加できるファンランを実施し、昨年度より参加者数が679名増加しました。また、う回路員のボランティアを廃止することでトラブルを防止しました。				・課題 新型コロナウイルス感染症により離れてしまったランナーを呼び戻し、より多くの参加者を募ることが必要です。					
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症による参加者の落ち込みを回復させるため、コロナ対策の解除や近隣都県の実業団や大学へのDMやSNSによる発信、ケーブルテレビへの出演等周知活動を行ったほか、ファンランや表彰式を再開しました。				・取組 今年度は、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申し込みでの割引や参加者に抽選で景品を用意するなど、魅力ある大会を目指し参加者増加を図ります。					

スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業	総合運動公園庭球場(1~4面)人工芝全面張替え工事、コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
スポーツ振興課	224,308		282,656		10,578	118,200	105,812
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
				屋内外体育施設利用者実数(人)		748,628	813,525
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 市民サービス向上とともに、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ環境を利用者に提供しました。				・現状 近年、熱中症の危険性が懸念されている中、市民が安心してスポーツ活動を行える環境を整備する必要があります。			
・評価 総合運動公園庭球場5~12面拡張整備工事を実施し、より多くの市民が庭球場を利用できる環境を整備しました。				・課題 コミュニティプラザ体育室は、年間を通して多くの市民が利用しており、夏季期間における熱中症対策として、空調設備の設置が求められています。			
・課題に対する改善点 屋外にあるテニスコートには雨除けとしての設備がなく、突発的な降雨に対応できなかったことから、利便性向上のため屋根等の設備を設置しました。				・取組 コミュニティプラザ体育室エアコン設置工事を実施します。			

スポーツ環境の整備

体育施設設備品等整備事業	施設設備品の適正な維持管理をするとともに、体育施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るために、必要な備品等を整備するものです。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
スポーツ振興課		4,419		5,112	3,526	984	0	984			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標 屋外型AED収納ボックス設置率 (%)		R4実績	R5実績	R6目標			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	学校開放による施設利用に対応するため、屋外型AED収納ボックスを設置しました。										
・評価	年度内に屋外型AED収納ボックス29台の設置を全て完了することができました。										
・課題に対する改善点	室内に設置していた小中学校のAEDを全て屋外に配置し、校舎のガラスを割ることなく利用することが可能となりました。また、学校開放による施設利用団体へは、各学校で行われる施設利用説明会の中で屋外のAEDの場所を必ず確認するよう指示しました。										
・現状	コミュニティプラザの老朽化したバレー ポール支柱の更新及びグラウンド整備用の器具の購入を行います。										
・課題	バレー ポール支柱は設置から34年が経過しており、速やかに更新する必要があります。また、グラウンド整備用の器具がないことにより、グラウンド整備の改善が困難なことから速やかに購入する必要があります。										
・取組	令和6年6月末までに備品購入を図り、利用者の利便性向上を図ります。										

施策 みどり・生物多様性

基本政策 良質な住環境のなかで暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.23	5.21	5.17	m ²	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	88.3	86.5	85.5	%	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 公園や緑地、街路樹については、適切に維持管理を行い、市民が身近にふれあえる良質なみどりを保全しました。また、流山グリーンチェーン戦略により、商業施設など民間事業者により多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりを創出しました。	・現状 公園・緑地のほか、開発等により失われつつある樹林地等のみどりについて、適正な維持管理と各種制度・手法を活用して保全します。また、市民が気軽に利用・実感できるみどりを増やすとともに、街中のみどりを補います。					
・評価 公園や緑地、街路樹のきめ細やかな維持管理や、流山市グリーンチェーン認定の取得促進により、より多くのみどりの保全、創出に努めました。	・課題 近年の異常気象や効率性を考慮した維持管理を行う必要があります。また、利用者の安全性や利便性・多様性に配慮するとともに、開発や区画整理事業の進捗に合わせた公園・緑地の整備を行う必要があります。					
・改善点 公園や緑地、街路樹の維持管理については、作業工程等を見直し、より効果的なみどりの保全に努めました。また、流山市グリーンチェーン認定の取得促進に向け、事業者への丁寧な指導を行い、より多くのみどりの創出に努めました。	・取組内容 みどりの保全については、まちなかへの植栽や市民の森等の保全に向けた取り組みを進めます。また、みどりの創出については、区画整理事業の進捗に合わせた公園整備を進めるとともに、既存公園の遊具の安全性・利便性の向上に努めます。					

みどりの保全

まちなか森づくり事業	まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組みます。 ※本事業は、グリーンチェーン認定レベル2に該当する緑化率12%を目標としています。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
みどりの課	10,505	8,591	3,526	16,300	700	15,600				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率 (緑化面積／敷地面積×100%) (%)	19.09	19.53	12.00	令和6年度の現状・課題・取組み						
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 まちなか森づくり事業として、小山小学校前の街路樹植栽を行いました。また南流山駅前広場、江戸川台西1丁目及び2丁目地先の市道などへ高木及び低木植栽を行いました。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行いました。	・現状 歩行者の安全性や緑視率向上に配慮し、街路樹の植栽可能なスペースに低木や高木を植栽します。また枯損木を確認して補植を行います。また、グリーンチェーン認定取得促進に向けた事業者への指導を行います。									
・評価 新たな街路樹の植栽と既存街路樹への補植を行い、緑視率の向上に努めました。また、グリーンチェーン認定による緑化率が目標値を上回り、まちなかの緑化が促進されました。	・課題 近年の異常気象や、維持管理面を考慮し、植栽の種類を選定する必要があります。									
・課題に対する改善点 街路樹の枯損木の植替えを計画的に行い、みどり豊かな街並みの形成に取り組みました。	・取組 令和5年度に引き続き、小山小学校前の街路樹植栽を行います。また、南流山地区街路樹の植栽工事を行います。また、グリーンチェーン認定取得促進のため、事業者への丁寧な指導を行います。									

みどりの保全

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森等について保全に向けた取り組みを進めるとともに、自然に触れながら散策等ができるよう、園路等の施設整備を行います。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
みどりの課	221,701	18,256	7,052	228,190	223,100	5,090				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合 (%)	81.00	80.90				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 愛宕ふれあいの森の整備工事を行いました。また、市内の緑被率を測定し、みどりの現状把握を行いました。また、市民の森や借地公園の地権者と良好な関係を築きました。	・現状 市民の森の保全に取り組みます。また、市民の森や借地公園の地権者との話し合いを継続します。									
・評価 市民の森の整備により、市民がより安全に散策できるようになりました。	・課題 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。									
・課題に対する改善点 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を築くよう話し合いを行いました。	・取組 向小金ふれあい公園の改修工事及び三輪野山散策の森の整備工事を行います。また、市民の森の保全に向けた取り組みを進めています。									

みどりの保全

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
みどりの課	1,218		941		10,578		921	180	741
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
講習会の開催回数(回)	9		9	9		講習会への参加人数(人)	231	201	265
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	緑化に関する講習会を合計で9回開催しました。また、都市公園条例改正に伴い、意見を聴取するため、みどりの委員会を開催しました。4年ぶりとなるオープンガーデンの開催を支援しました。							・現状	
・評価	緑化に関する講習会を開催し、様々ななかたちでみどりを担う人材の育成に努めました。また、オープンガーデンの支援により、多くの来訪者が市内に訪れました。							・課題	
・課題に対する改善点	みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、新しい里山保全ボランティアの定着に向け、講習会の充実を図りました。							・取組	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	市民と協働でみどりの維持管理を行います。また、緑化に関する講習会を開催し、市民の緑化意識の啓発を図ります。							・現状	
・課題	みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成と、里山保全ボランティアの定着が必要です。							・課題	
・取組	緑化に関する講習会を今年度も合計9回開催します。また、オープンガーデンの開催を支援します。							・現状	

みどりの創出

新たな賑わい空間創出事業	つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
みどりの課	98,455		361,100		14,104		30,428	23,300	7,128
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
				公園緑地で憩い安らげるを感じている市民の割合(%)		81.00	80.90	89.60	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	総合運動公園の再整備工事として、ローラースポーツ広場、バスケットボール広場が完成しました。また、南流山中央公園の再整備工事が完了しました。							・現状	
・評価	総合運動公園のローラースポーツ広場やバスケットボール広場、南流山中央公園において、多くの市民が利用し賑わいました。							・課題	
・課題に対する改善点	土地区画整理事業施行者と密に協議を行い、土地区画整理事業の進捗に合わせた公園緑地整備時期の調整を行いました。							・取組	
・取組	総合運動公園の西側駐車場整備工事、植栽工事を行います。また、総合運動公園における整備運営事業者（Park-PFI及び指定管理の事業の実施者）の募集を行い、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を行います。							・現状	

みどりの創出

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
みどりの課	161,544		159,233		17,630		151,136	66,800	84,336
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
安全点検実施率(安全点検を実施した公園件数÷安全点検対象公園件数)(%)	100	100	100	公園緑地で憩い安らげるを感じている市民の割合(%)		81.00	80.90	89.60	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行い、不具合のあったものについては修繕を行いました。また、南流山1号公園のトイレ更新工事、加岸児童公園のトイレ改修工事を行いました。							・現状	
・評価	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の更新・補修を行い、公園利用者の安全性が確保できました。							・課題	
・課題に対する改善点	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検結果、及び公園施設長寿命化計画に基づいて、計画的に更新・補修を行いました。							・取組	
・取組	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。また、公園維持管理システムを構築し、事務の効率化を図ります。							・現状	

生物多様性の保全・回復

生物多様性地域戦略推進事業											
生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。											
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
環境政策課	2,760	2,575	14,104	2,451	132	2,319					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
生物多様性啓発イベントの実施回数（回）	2	2	2	生物多様性啓発イベントの参加者数（人）	109	67	120				
				グリーンウェイブ・「トラックの森づくり」事業による植樹本数（本）	175	118	180				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムの開催を通じて、幅広い世代に対して生物多様性の重要性について啓発を実施しました。										
・評価	・課題 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムを通じて、生物多様性の価値や重要性について環境学習を行い、特に小学生等の若い世代にも生物多様性を身近に感じてもらう機会を創出することができました。										
・課題に対する改善点	・取組 効果的な生物多様性の保全、豊かな自然環境の創出に向けた取り組みを検討する必要があったことから、モニタリング調査員の代表者と意見交換を行いました。										

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.3	91.2	91.2	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.5	74.5	74.0	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	63.5	62.4	65.1	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 千葉県が実施する運動公園周辺地区については、千葉県と協力し、地権者の合意形成を図りました。また、江戸川台駅東口周辺地区再整備にあたっては、地元住民との合意形成を図りました。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、景観シンポジウムを開催する等、景観計画の周知・啓発に努めました。	・現状 千葉県が実施する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備の促進を図っています。江戸川台駅東口周辺地区では、駅前広場における用地取得に向けた地権者合意形成を進めています。土地区画整理事業区域内外を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上見込まれるため、景観計画に適合するよう指導を行っています。
・評価 千葉県が実施する運動公園周辺地区については、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席するなどし、地権者に寄り添った対応を行いました。江戸川台駅東口周辺地区については、ジェットロード跡地の施設整備にあたり、市民検討会において活用方針や必要な機能などの意見をいただき、基本構想に反映させました。	・課題 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得にあたり、関係権利者の理解を得る必要があります。良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知・啓発を図る必要があります。
・改善点 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区整備については、地元住民との合意形成を図りました。	・取組内容 千葉県が実施する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区については、引き続き用地の取得にあたり丁寧な説明を行っていきます。本市の景観形成への理解や興味を抱いていただけるよう、引き続き景観計画の周知・啓発に努めます。

つくばエクスプレス沿線整備の促進

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
まちづくり推進課	919,296	625,132	7,052	875,536	841,600	33,936	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
面積ベース進捗率(%)	45.30	47.50	53.00	駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度 (%)	30.1	40.0	42.0
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組 主要となる幹線道路整備の促進を図りました。	・現状 千葉県が実施する運動公園周辺地区的土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。						
・評価 都市計画道路3・4・9号加市野谷線が全線開通しました。	・課題 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。						
・課題に対する改善点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。	・取組 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図ります。						

市街地のまちづくり

建築確認台帳システム構築事業	昭和38年から平成28年までの紙の建築確認台帳及び建築計画概要書、約7万7千件分を電子化し、建築行政共用データベース及び統合型GISのシステムに組み込むことで、効率的な運用を行います。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
建築住宅課	0	0	14,104	112,870	112,870	0	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
				建築計画概要書等の電子化件数(件)	-	-	29,000
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組 令和6年度の事業開始に向けて、交付金の活用方法の確認、他市への視察等を行いました。	・現状 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書が紙で保管されています。						
・評価 令和6年度の事業開始に向けて、事前準備を進めました。なお、運用開始時に支障が無いよう懸念事項を洗い出す必要があります。	・課題 建築計画概要書等が紙ベースで保管されているため、窓口での証明書や写しの発行に相当の時間を要し、また、長年の保管により文書の劣化が進んでいます。						
・課題に対する改善点 他市への視察、交付金の活用方法を千葉県等と協議を実施しました。	・取組 昭和38年から平成28年までの建築確認台帳及び建築計画概要書に関する情報を電子化し、平成29年以降の電子化されたものと共に、地図情報システムで一元管理します。						

市街地のまちづくり

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業		駅利用に合った広場の改修やジェトロ跡地を活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
まちづくり推進課	573,572	27,679	28,208	215,865	187,004	28,861		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
地元組織等のイベント実施回数（回）	6	7	8	駅周辺の住み心地の良さの満足度（%）	95.65	96.66	96.66	
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度（%）	33.73	36.57	37.00	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	地元自治会や関係団体等で構成された「ジェトロ跡地活用に係る基本構想市民検討会」を実施しました。			・現状	駅前広場拡幅のために用地の取得が必要です。			
・評価	ジェトロ跡地の施設整備にあたり、市民検討会において活用方針や必要な機能などについて意見をいただきました。			・課題	用地の取得にあたり、関係権利者との理解を得る必要があります。			
・課題に対する改善点	市民検討会の座長や委員を中心に出た様々な意見の集約を図りました。			・取組	契約締結に向け、関係権利者へ丁寧な説明を行っていきます。			

景観形成の促進

流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施します。								
流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業								
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
まちづくり推進課	266,585	111,214	7,052	4,000	0	4,000		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
事業進捗率（事業費ベース：%）	6	55	56	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	84.3	82.7	85.5	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	交通規制に関する説明会を行い、合意形成を図り、市道29024号線の道路改修工事に着手しました。			・現状	周辺住民等への理解に努めながら、市道29024号線の完了に向けて整備を進めています。			
・評価	交通安全対策と歩行者の快適性・回遊性を高めることを両立するため、交通規制における合意形成を図りました。			・課題	市道29024号線一方通行化に伴う、歩行者や車両の交通影響等を把握する必要があります。			
・課題に対する改善点	説明会に加え、夜間工事や交通規制に伴う住民理解に努めました。			・取組	市道29024号線の工事完成と、市道40137整備に向けて、交通量調査や実態調査と関係機関協議を進めます。			

景観形成の促進

本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。								
景観形成推進事業								
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
都市計画課	1,033	499	7,052	535	0	535		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
景観条例第11条に基づく事前協議件数（件）	443	227	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合（%）	84.3	82.7	85.5	
景観賞の応募件数（件）	-	19	-	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合（%）	62.4	65.1	64.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	景観シンポジウムを開催し、市民に本市の景観形成について、理解や興味を抱いていただけるよう努めました。景観賞を選定し表彰を行いました。建築計画や開発計画における景観協議を行いました。			・現状	土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度以上の事前協議が想定されます。			
・評価	景観シンポジウムに約150人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。			・課題	良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。			
・課題に対する改善点	景観シンポジウムや景観賞により、流山市景観計画の周知や啓発を行うことができました。			・取組	建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。景観賞は隔年での選定のため、令和6年の募集はありません。			

景観形成の促進

広告物等推進事業		良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
都市計画課	2,702	2,249	7,052	2,577	2,547	30		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	173	171	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)	84.3	82.7	85.5	
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	572	629	500	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)	62.4	65.1	64.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	条例の規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物等や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導しました。							・現状
・評価	条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物が掲出されてきました。							本市の条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、規制内容を周知することができます。
・課題に対する改善点	広告物ルールブックを活用し、多くの広告事業者に規制内容の周知をすることができました。特に、本市になじみの少ない広告事業者には、丁寧に規制内容を説明し、周知を行うことができました。							・課題
・取組	規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。							・現状

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	73.6	73.0	73.3	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	73.2	73.2	73.9	%	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めました。	人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。また、舗装の劣化の進行に注視する必要があります。	・現状				
・評価 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成に努めました。	引き続き、歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。また、事業計画の周知を積極的に行い、工事エリアの安全対策を図る必要があります。	・課題				
・改善点 安全で円滑に移動できる道路網が望まれることから、名都借跨線橋道路拡幅改良事業等の主要事業を計画的に実施することで、安全で円滑な道路網の整備に努めました。今後も、引き続き計画的な事業進捗に向けて努めています。	安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めます。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めます。	・取組内容				

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線 南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が実施する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことでの市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
道路建設課	192,373	159,744	2,600	15,210	14,035	1,175				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
			整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	2.03	23.43	25.42				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 道路詳細設計及び主に道路予定地南側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を実施しました。	・現状 道路予定地北側の用地買収、物件移転補償、分筆登記を進めます。									
・評価 実施する各業務において、沿線関係者の土地利用状況に配慮しながら進めました。	・課題 土地の利用状況を配慮する必要があります。									
・課題に対する改善点 詳細設計にて現場状況調査に基づいた工法検討を進めました。	・取組 地権者に現在の使用状況と今後の土地利用計画等を伺いながら進めます。									

円滑に移動できる道路整備

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間ににおいて、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
道路建設課	265,831	272,635	12,694	362,963	309,966	52,997				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
			整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	49	55	72				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 向小金2丁目側、南柏駅方の車道橋の一部（橋桁部）が完成しました。「名都借跨線橋だより」を発行し、工事の進捗状況を周知しました。	・現状 向小金1丁目側、北小金駅方の仮設橋を撤去し、新設車道橋の工事に着手します。									
・評価 計画どおり工程を進捗しています。「名都借跨線橋だより」を発行し、工事の進捗状況を周知しました。	・課題 工事範囲が変わることによる通行止め等の交通規制が伴うため、周知及び安全対策が必要となっています。									
・課題に対する改善点 工事エリア内に、工事用信号機及び交通誘導員を配置し、安全対策を講じました。	・取組 案内看板の設置や「名都借跨線橋だより」の広報、工事説明会により周知し、現場状況を注視し、必要な対策を講じます。									

円滑に移動できる道路整備										
区画道路改良事業	市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄附を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
道路建設課	236,333	96,213	10,578	732,480	605,235	127,245				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状									
西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金1丁目、西初石2丁目、向小金2丁目、鰐ヶ崎各事業個所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めました。	西深井、東深井、三輪野山、中野久木、向小金1丁目、西初石2丁目、向小金2丁目、鰐ヶ崎各事業個所において、沿線関係者に事業説明、設計、測量等を進めています。									
・評価	・課題									
各地区ともに、沿線関係者への事業説明、設計測量等の進捗を図りました。	一部、沿線関係者との協議が整っていないことから、丁寧な対応が求められます。									
・課題に対する改善点	・取組									
事業への理解や協力をいただくため、沿線関係者に対して丁寧な説明を行う等の対応を行いました。	事業目的の達成を目指すとともに、沿線関係者に配慮しながら事業を進めます。									
円滑に移動できる道路整備										
東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
道路建設課	26,850	3,960	6,347	0	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	67	68				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状									
歩行者の通行状況を的確に把握し、関係機関と必要な安全対策について検討・協議を行いました。	予備設計、関係機関との協議結果をもとに設計、測量等を進めています。									
・評価	・課題									
沿線関係者に事業概要を説明し、事業の実施に対して概ねの理解を得ました。	引き続き、沿線関係者に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。									
・課題に対する改善点	・取組									
横断歩道の新設等、安全対策について警察と協議を実施しました。	事業目的の達成を目指すとともに、沿線関係者に配慮しながら事業を進めます。									
円滑に移動できる道路整備										
自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。									
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
道路建設課	23,726	23,210	2,116	23,020	0	23,020				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績				
				整備率(%) = 市施工済延長(m) ÷ 市施工延長(m) × 100	9	17				
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状									
自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行いました。	自転車ネットワーク計画の内、令和5年度に約5.5kmを整備しました。									
・評価	・課題									
近隣市の整備状況を考慮し、整備を進めました。	現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。									
・課題に対する改善点	・取組									
現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握に努めました。	自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。									

円滑に移動できる道路整備											
都市計画道路3・4・8号 美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3・4・8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
道路建設課		37,907		32,741	2,203	189,763	178,900	10,863			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
				整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		1	23	88			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	当該区間に於いて、用地買収、物件移転補償費を算定するため、物件調査、用地測量及び詳細設計を実施しました。			・現状 用地買収、物件移転補償を行います。							
・評価	隣接する都市計画道路3・4・19号大畔美田線との事業進捗に配慮しながら進めました。			・課題 沿線権利者の土地の使用に配慮する必要があります。							
・課題に対する改善点	既に実施済みの都市計画道路3・4・19号大畔美田線に関する資料との整合を確認しながら実施しました。			・取組 土地の使用実態を権利者と調整しながら進めます。							
安全で快適な道路環境の確保											
道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
道路管理課		500,000		537,800	32,171	514,000	371,310	142,690			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
道路舗装修復延長(m)	4,701.1	6,141.0	7,700.0	情報提供および要望件数(件)		-	1,815	2,000			
情報処理件数(件)	380	404	400	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合(%)		73.0	75.0	77.5			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施しました。			・現状 物流施設の増加により、流山市外からの流入交通量が増えたことから、舗装の劣化進行度が促進されています。							
・評価	舗装修繕計画に基づき、計画的に舗装の修繕を行いました。			・課題 重量車両の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行度の変化や現況の交通に耐えうる舗装の補修方法の検討が必要となります。							
・課題に対する改善点	道路破損等に関する情報を集積するため、道路維持管理システムを導入しました。			・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。							
安全で快適な道路環境の確保											
橋りょう補修事業	流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
道路管理課		141,499		62,883	23,558	17,470	16,384	1,086			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
橋りょう補修工事件数(件)	5	1	10								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	日常点検を行うことで、顕在化していない不良箇所の早期発見に努めました。			・現状 定期的に法定点検を実施し、点検結果から橋りょう長寿命化計画を策定したのちに措置対象橋りょうの補修工事を実施しています。							
・評価	橋りょう長寿命化計画に基づいて、横断歩道橋の撤去工事を実施しました。			・課題 措置対象橋りょうの補修工事の実施率を向上させることが課題です。							
・課題に対する改善点	橋りょうの健全性を確保するため、橋りょう長寿命化計画を策定しました。			・取組 措置対象橋りょうの補修工事を実施します。							

主管部局 土木部

施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課） ※令和5年度実績については令和3年度の事故線越で0.08Kmであるが、管理を県に保留しているため、0と記載。	15.1	15.3	15.3	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和5年度の取組みと評価・改善点

令和6年度の現状・課題・取組み

・取組内容 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東及び前ヶ崎地区の雨水排水施設を整備しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。
・評価 前ヶ崎地区の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。
・改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組内容 道路冠水対策として、おおたかの森西地区、こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備します。

雨水排水施設の整備

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課	11,000		10,699		14,104	135,600	135,600	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
各年度の整備面積 (ha)	0.12	-	0.51					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 市から県に委託していた雨水事業を直接市が行えるよう基本協定を新たに締結し、地区内の雨水整備工事は市が発注しました。	・現状 予定している雨水事業において、土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり予定通り進みません。							
・評価 前年度からの継越事業により、今年度の工事がありませんでしたが、来年度に向か、設計業務を行いました。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。							
・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるので、県との連絡調整を密に行いました。	・取組 土地区画整理事業施行者である千葉県と連絡調整を行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。							

雨水排水施設の整備

浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。
令和6年度 排水管整備（おおたかの森西）等
令和7年度 排水管整備（長崎）等
令和8年度 排水管整備等

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 令和6年度 排水管整備（おおたかの森西）等 令和7年度 排水管整備（長崎）等 令和8年度 排水管整備等									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
河川課	117,220		105,109		11,284	142,010	117,600	24,410		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
道路冠水対策に関する工事件数(件)	3	4	3	内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)		-	-	-		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み									
・取組 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備しました。	・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。									
・評価 前ヶ崎地区の雨水排水施設の整備が完了しました。	・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。									
・課題に対する改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。	・取組 道路冠水対策として、おおたかの森西地区、こうのす台地区、江戸川台東地区の雨水排水施設を整備します。									

雨水排水施設の整備

流山排水機場改修事業	流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 令和4年度 商用電源予備ルートの確保 令和5年度 商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修 令和6年度 除塵機の塗装工事										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
	河川課	60,400	39,204	7,052	15,372	0	15,372				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
施設改修工事の件数(件)	1	1	1	工事の進捗率(%)		100	100				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	電気事業者と協議を進め電気施設の改修工事を行いました。										
・現状	施設の老朽化が進んでいます。										
・評価	商用電源予備ルートを確保し排水機場の維持管理に努めました。										
・課題	更新時期や整備補修・更新費用等の平準化・最小化を図るために、ストックマネジメント計画を策定し、計画的・効率的な維持管理が必要です。										
・課題に対する改善点	停電時の排水機場の運転について課題がありました。令和5年度に予備電源ルートを確保することで停電時も排水機場の運転が可能となりました。										
・取組	除塵機の塗装工事を行います。										

河川環境の整備

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 令和5年度 修繕工事等 令和6年度 修繕工事等 令和7年度 修繕工事等										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
	河川課	45,189	27,432	4,937	27,578	1,800	25,778				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	2	2	3	憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		81.6	81.9				
維持管理システム導入による情報処理達成件数(件)	-	-	85	維持管理システム導入による平均対応日数(日)		-	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	効率的な補修を行い、水路や河川施設の適切な機能維持に努めました。										
・現状	職員によるパトロールや施設点検により、河川施設の老朽箇所の早期発見に努めます。なお、活動指標及び成果指標に関する維持管理システムについては令和6年度に導入します。										
・評価	各樋管の防護柵の補修を実施し、施設の破損等に起因した転落事故を未然に防ぐことができました。										
・課題	河川施設の老朽化による補修の優先度を見極め、効率的に補修を行う必要があります。										
・課題に対する改善点	補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応することができました。										
・取組	引き続き効率的な補修を行い、河川施設の適切な管理に努めます。										

河川環境の整備

利根運河エコパーク関連事業	利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和5年度 飛び石橋とトイレ整備などの設計 令和6年度 飛び石橋とトイレ整備などの工事										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
	河川課	2,800	6,710	3,526	58,410	45,600	12,810				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
事業に関する設計及び工事件数(件)	-	1	2	工事の進捗率(%)		-	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	飛び石橋及びトイレ整備の設計を行いました。										
・現状	利根運河の利便性向上のため、飛び石橋及びトイレの設置工事を行います。										
・評価	市民の皆様の憩いの場となる、飛び石橋及びトイレの設計が完了しました。										
・課題	利根運河の利便施設の安全性及び景観の配慮に努めます。										
・課題に対する改善点	利根運河利用者及び近隣住民に配慮し、皆様の憩いの場となる水辺空間を創出します。										

施策 上下水道

基本政策 良質な住環境のなかで暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 上下水道局

施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	96.0	95.3	96.0	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	92.3	93.3	93.7	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 流山市下水道事業経営戦略の見直しに着手しました。約15haの公共下水道を計画的に整備しました。おおたかの森浄水場に配水池を1池増設する工事に着手しました。	・現状 流山市下水道事業経営戦略の見直しに取り組んでいます。公共下水道の普及率が約94%であり、令和6年度で概成する予定となっています。おおたかの森浄水場に配水池を1池増設します。
・評価 流山市下水道事業経営戦略の見直しについて、支出額に大きく影響する流域下水道維持管理負担金の単価改定が令和6年度に見込まれたことから、事業を繰越しし、より精緻な見直しを行うこととしました。令和5年度の下水道整備が完了し、供用開始した面積は約29haとなりました。おおたかの森浄水場新設配水池築造工事に着手しました。	・課題 流山市下水道事業経営戦略の見直しは、令和5年度から取り組みを開始しましたが、令和6年度に予定されている流域下水道維持管理負担金の単価改定を見込んで見直しする必要があります。下水道未整備区域は、狭隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要します。おおたかの森浄水場には配水池が1池ありますが、安定供給や災害等のメンテナンスを考えると配水池の増設が必要となっています。
・改善点 流山市下水道事業経営戦略の見直しに、物価上昇分の反映について検討しました。下水道未整備区域は、狭隘道路や埋設物の錯綜、鉄道や国道の占用条件等、現場条件が困難であり、下水道整備に期間を要しましたが、関係機関と調整を図りました。おおたかの森浄水場の配水池は1池のため、配水池の増設工事に着手しました。	・取組内容 流山市下水道事業経営戦略を見直します。公共下水道を計画的に約20ha整備します。令和6年度の完成に向けておおたかの森浄水場新設配水池築造工事を推進します。

安全な水道水の安定供給

T X 沿線整備地区配水管拡張事業	TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
水道工務課	236,110		114,620		7,052	119,975	107,180		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
配水管布設延長 (m)	3,312.4	1,319.6	3,906.2	整備率 (%)		45.4	47.1		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 令和5年度は1,319.6mの工事を行いました。	・現状 令和5年度末の整備率が47.1%です。								
・評価 令和5年度末の整備率が47.1%になりました。	・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせながら、整備率の向上に努める必要があります。								
・課題に対する改善点 土地区画整理事業者と毎月調整会議を行い、連絡調整を密に行う等により、事業の進捗に努めました。	・取組 令和5年度の縦越工事と合わせて、令和6年度は3,906.2mの工事を行う予定です。								

安全な水道水の安定供給

老朽配水管等耐震化事業	配水管の耐用年数を50年と設定し、総延長約700kmある配水管を毎年2%ずつ更新し、耐震化率100%にすることを目標にしています。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
水道工務課	270,190		291,082		7,052	273,812	0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
整備延長 (m)	746.7	820.0	2,261.1	耐震管適合率 (%)		62.8	63.1		
				漏水発生件数 (件)		291	354		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 令和4年度の縦越工事と合わせて、L=820.0mの老朽管改良工事を行いました。	・現状 令和5年度末の耐震性のある配水管の延長は、約446.9kmです。								
・評価 令和5年度末の耐震化率が63.1%になりました。	・課題 土地区画整理事業に伴う配水管拡張事業と並行して実施しているため、事業の進捗に遅れが生じています。								
・課題に対する改善点 管路更新計画に基づき、緊急性の高い路線から更新を行うことで、より効果的な耐震性の向上に努めました。	・取組 令和6年度は、L=2,261.1mの老朽管改良工事を行う予定です。								

安全な水道水の安定供給											
主要配水管等耐震化事業	安全な水の安定供給のために、約50kmある主要配水管等を計画的に更新し、令和11年度までに耐震化率100%にすることを目標にしています。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
水道工務課	240,348		342,826		7,052	227,808	0	227,808			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
整備延長(m)	365	1,236	916	耐震化適合率 (%)		54.3	55.0	57.0			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和4年度の繰越工事と合わせて、L=1,236.4mの主要管改良工事を行いました。			・現状							
令和5年度末の耐震化率が55.0%になりました。				令和5年度末の耐震性のある主要配水管等の延長は、約27.4kmです。							
・評価	土地区画整理事業の延伸に伴い、事業の進捗に遅れが生じています。			・課題							
管路更新計画に基づき、緊急性の高い路線から更新を行うことで、より効果的な耐震性の向上に努めました。				・取組							
令和6年度は、L=916.4mの主要管改良工事を行う予定です。											
安全な水道水の安定供給											
上下水道料金徴収等業務委託事業	水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
経営業務課	168,168		168,168		8,463	168,168	0	168,168			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
給水契約件数(件)	88,139	89,453	91,600	不納欠損処理件数：水道料金(件)		182	207	170			
下水道契約件数(件)	80,763	82,394	85,500	不納欠損処理件数：下水道使用料(件)		148	174	150			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を行うと共に、包括委託している事業者と連携を密にし、上下水道料金の適正な徴収に努めました。			・現状							
人口の増加や公共下水道の共用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。											
・評価	市外転居滞納者の督促、催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認について困難を極めています。			・課題							
滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を行いました。また、市外転居滞納者に対し、督促及び催促を行いました。				・取組							
滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。											
安全な水道水の安定供給											
浄水場更新事業	令和6年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
水道工務課	340,000		197,800		14,104	806,500	505,200	301,300			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
おおたかの森浄水場配水池有効容量(m3)	10,500	10,500	21,000	配水池築造工事進捗率(%)		-	22.1	100.0			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	配水池の工事に着手しました。			・現状							
昨年度から継続し工事を推進します。											
・評価	基礎杭の打込みが完了しました。			・課題							
基礎杭の打込みが完了しました。				昨年度から引き続き、施工中の来庁者の安全に配慮する必要があります。							
・課題に対する改善点	施工中の来庁者の安全に配慮し、庁舎と施工エリアをバリケードで区分しました。			・取組							
施工中の来庁者の安全に配慮し、庁舎と施工エリアをバリケードで区分しました。				令和6年度の完成に向けて工事を推進します。							

計画的な下水道事業の推進

地区内汚水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
下水道建設課	339,800	123,900	14,104	265,700	265,700	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
各年度の整備面積 (ha)	3.56	4.97	19.09	下水道整備率 (%)	80.51	81.31	84.35				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	市から県に委託していた汚水事業を直接市が行えるよう基本協定を新たに締結し、地区内の汚水整備工事は市が発注しました。										
・評価	前年度からの縁越事業により、今年度の工事は予定の半分以下でした。										
・課題に対する改善点	地区区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるので、県との調整を行いました。										
・現状	土地区画整理事業施行区域内での関係地権者等の調整があり、予定通り進みません。										
・課題	土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（汚水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。										
・取組	土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備展開を図っています。										

計画的な下水道事業の推進

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
下水道建設課	902,805	464,552	14,104	778,162	260,000	518,162					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
各年度の整備面積 (ha)	11.30	19.64	14.66	公共下水道普及率 (%)	93.20	93.70	95.20				
各年度の整備延長 (m)	3,930	3,115	3,113	公共下水道水洗化率 (%)	93.90	93.72	95.90				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和5年度工事を執行計画に沿って発注しました。										
・現状	業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和6年度工事を執行計画に沿って発注し、年内完成を目指します。										
・評価	令和5年度の公共下水道整備は、延長3,115mで面積19.6haを行いました。										
・課題	令和5年度の縁越工事を早急に完成させる必要があります。										
・取組	令和6年度の公共下水道整備は、延長3,113mで面積14.66haを行います。										
・課題	令和6年度の公共下水道整備は、延長3,113mで面積14.66haを行います。										
・取組	令和6年度の公共下水道整備は、延長3,113mで面積14.66haを行います。										

計画的な下水道事業の推進

手賀沼流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
下水道建設課	495,722	343,100	10,578	435,317	128,000	307,317					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
各年度の整備面積 (ha)	12.30	9.51	5.55	公共下水道普及率 (%)	93.20	93.70	95.20				
各年度の整備延長 (m)	3,240	2,428	1,647	公共下水道水洗化率 (%)	93.90	93.72	95.90				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進しました。令和5年度工事を執行計画に沿って発注しました。										
・現状	業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和6年度工事を執行計画に沿って発注し、年内完成を目指します。										
・評価	令和5年度の公共下水道整備は、延長2,428mで面積9.5haを行いました。										
・課題	令和5年度の縁越工事を早急に完成させる必要があります。										
・取組	令和6年度の公共下水道整備は、延長1,647mで面積5.55haを行います。										
・課題	令和6年度の公共下水道整備は、延長1,647mで面積5.55haを行います。										
・取組	令和6年度の公共下水道整備は、延長1,647mで面積5.55haを行います。										

計画的な下水道事業の推進

浄化槽設置事業	浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課	87,850		68,300		5,928	72,700	42,700	30,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
合併処理浄化槽の転換基数（基）	21	50	50	利根運河地区の普及率（%）		34	42	58
合併処理浄化槽の設置残数（基）	721	666	616	令和5年度の現状・課題・取組み				
令和5年度の取組みと評価・改善点	<p>・取組 「利根運河等水質改善モデル事業」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行いました。</p> <p>・評価 目標である転換基数50基を達成しました。</p> <p>・課題に対する改善点 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。</p>							
令和6年度の現状・課題・取組み	<p>・現状 汚水適正処理構想による浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽や汲み取り便所が約900基存在し、これらを合併処理浄化槽に転換する公共用水域の水質改善が急務となっています。</p> <p>・課題 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。</p> <p>・取組 「利根運河等水質改善モデル事業（流山市浄化槽整備促進計画）」が2年目を迎え、継続して最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。</p>							

計画的な下水道事業の推進

ストックマネジメント事業	下水道管路施設の計画的な維持管理、改築・更新を進めます。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
下水道建設課	147,695		23,390		8,253	186,500	185,000	1,500
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
点検延長（km）	-	5.25	6.00	令和5年度の現状・課題・取組み				
改築延長（km）	0.2	-	0.6	・取組 若葉台団地の改築工事を予定していました。	・現状 公共下水道の管路総延長は、約590Kmとなっています。50年以上経過した下水道管路は、旧コミュニティ・プラント整備地区となっています。	・課題 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあります。	・取組 若葉台団地の改築工事を予定しています。	・現状 若葉台団地の改築工事を予定していました。
令和5年度の取組みと評価・改善点	<p>・評価 国庫補助金の内示減を受け、カメラ調査の実施となり、改築工事は行いませんでした。</p> <p>・課題に対する改善点 老朽化した管路の割合が年々増加傾向にあり、計画的な点検・調査を行いました。</p>							

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.5	83.9	81.0	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2020（R2）年度、2021（R3）年度、2022（R4）年度	136,708 ※	152,367 ※	171,694 ※	人	↑
流山ぐりーンバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,045	2,287	2,643	人	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望書を提出しました。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備に着手するため、東武鉄道と施行協定を締結しました。流山ぐりーンバスについては、運行を継続するために運賃改定を実施したほか、収支率改善に向けた変更運行計画を作成しました。	・現状 つくばエクスプレスについては、首都圏新都市鉄道に対し、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続に係る要望を継続しています。初石駅については、東武鉄道と工程協定を締結し、引き続き自由通路及び橋上駅舎の整備工事を進めています。流山ぐりーンバスについては、平日の朝便及び土休日の朝夜便を減便するダイヤを4月から導入し、運行を継続しています。 ・課題 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け、東京都や中央区と連携を図り、首都圏新都市鉄道への要望活動を効果的なものとすることが重要です。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備を推進するため、東武鉄道と工程管理を共有する等、綿密な連携が必要です。流山ぐりーンバスについては、運賃改定及び減便による収支率の変動に着目し、必要に応じ、運行継続に向けた迅速な需要確保策等の検討が必要です。
・評価 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸を実現させるため、首都圏新都市鉄道への要望活動を継続したほか、東京都や中央区への情報収集と情報提供の働きかけにより、今後の要望活動が効果的なものとなるよう、沿線区市で意識の共有を図りました。初石駅については、東武鉄道と自由通路及び橋上駅舎の施行協定を締結し、工事着手に至りました。流山ぐりーンバスについては、安定した収入の確保により運行を継続させるため、運賃改定を実施しました。	・取組内容 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け沿線区市で協力し、東京都や中央区との情報交換等を積極的に実施するとともに、首都圏新都市鉄道に対する要望書の提出を継続します。初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備を円滑に進めるため、東武鉄道と連携し計画的な工事進捗に努めます。流山ぐりーンバスについては、収支率を注視し、運行継続に向けた需要確保策を適宜検討します。
・改善点 つくばエクスプレスについては、東京駅延伸の実現に向け、東京都や中央区に対し、都心部・臨海地域地下鉄新線構想の情報収集と情報提供の働きかけを行いました。初石駅については、東武鉄道と早期に施行協定を締結するため、協定締結までのスケジュール表を作成・共有し、迅速かつ円滑に協議を進めました。流山ぐりーンバスについては、安定的に収入を確保し運行が継続出来るよう、複数の運賃シミュレーションにより、運賃体系を検討しました。	

広域交通ネットワークの充実

T X 東京駅延伸促進事業	つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		
まちづくり推進課	0		0		2,116		0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
TX沿線都市での会議等の開催回数（回）	7	6	6	便利だと感じている駅利用者の割合（%）		74.5	74.0		
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員（人）（数値は、R3年度、R4年度）		306,000	349,000		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を通じ、車両編成8両化、東京駅延伸の実現に係る事業費や需要予測の調査実施、通学定期券の運賃引き下げを要望しました。	・現状 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を毎年開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。また、都心部・臨海地域地下鉄構想計画検討会の事務局である東京都や同構想に関する調査検討を実施している中央区と引き続き意見交換し、情報収集に努めています。								
・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。	・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。								
・課題に対する改善点 都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会の事務局である東京都及び同構想に関する調査検討を実施している中央区と意見交換し、沿線区市で情報共有を図りました。	・取組 首都圏新都市鉄道に対し、都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会の事務局である東京都及び同構想に関する調査検討を実施している中央区と連携を図り、速やかに事業費や事業予測等の調査を実施するよう、沿線市区とともに引き続き要望活動を行っていきます。								

広域交通ネットワークの充実

初石駅施設整備事業	東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎並びに駅前広場の整備を行います。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		
まちづくり推進課	1,141,809		119,687		5,642		728,321		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
事業進捗率（事業費ベース：%）	3.7	7.2	73.0	便利だと感じている駅利用者の割合（%）		74.5	74.0		
				初石駅の1日平均乗降人員（人）（数値はR3年度、R4年度）		16,437	17,628		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定を締結しました。	・現状 自由通路及び橋上駅舎の工事を進めています。								
・評価 東武鉄道と施行協定を締結し、工事に着手しました。	・課題 自由通路及び橋上駅舎の供用に遅れが生じないよう、計画的に工事を進める必要があります。								
・課題に対する改善点 早期の施行協定締結に向け、東武鉄道と費用負担割合等の協議を計画的に複数回実施しました。	・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事を円滑に進めるため、東武鉄道と連携し綿密に工程管理を行います。								

広域交通ネットワークの充実

鉄道設備整備補助事業	流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を出し支援します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
まちづくり推進課	11,987		11,987		706		7,594	0	7,594
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
鉄道設備更新率 (%) ※累計	-	14.0	22.9	便利だと感じている駅利用者の割合 (%)		74.5	74.0	75.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的に補助金を支出しました。			・現状					
・評価	踏切設備や通信ケーブル等の保安設備等の修繕が一部完了し、輸送安全性が向上しました。			流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいます。					
・課題に対する改善点	鉄道設備の更新工事等が実施されました。			・課題					
・取組	流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的な補助金の支出に努めます。			鉄道設備の更新工事等について支援が必要です。					

地域公共交通ネットワークの充実

ぐりーんバス運行事業	鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
まちづくり推進課	89,993		95,962		2,821		90,915	0	90,915
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
利用促進啓発活動回数（お散歩マップ・自治会回覧）(回)	-	-	1	流山ぐりーんバスの年間利用者数（人）		832,370	965,002	965,000	
				収支率全ルート平均 (%)		56.3	58.0	62.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	流山ぐりーんバスの運行を継続させるため、運賃を改定しました。遅延が発生している西初石ルートを変更しました。収支率が運行継続基準を下回っていた美田・駒木台ルートの変更を検討しました。			・現状					
・評価	増大する運行経費に対応するため、運賃改定により安定した収入を確保し、運行継続に努めました。西初石ルートは、ルート変更により遅延が解消されました。美田・駒木台ルートは、収支率を改善するため、変更運行計画を作成しました。			令和6年4月1日から運転手に対して適用が開始される「働き方改革関連法」を踏まえた労働基準法の改正により、全6ルートにおいて4月のダイヤ改正により減便になります。定時性を確保するため4月から美田・駒木台ルートを変更します。					
・課題に対する改善点	運賃改定にあたっては、地域公共交通活性化協議会において議論を重ねたうえで、パブリックコメント及びアンケートを実施しました。美田・駒木台ルートの収支率改善に向け、地域公共交通活性化協議会及び地元自治会等と協議し、十分な検討を行いました。			・課題					
・取組	運行継続基準である収支率55%以上となるよう利用者数の動向を注視する必要があります。			運行継続基準である収支率55%に満たないルートについては、ルート変更等の需要確保策を検討します。					

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通活性化事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
まちづくり推進課	13,048		25,546		9,873		35,024	0	35,024
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	8	10	8	公共交通に満足している市民の割合 (%)		83.9	81.0	82.0	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	高齢者が免許証を自主返納した後の公共交通利用に係る助成制度を検討しました。公共交通検討地域等において、移動支援に関する福祉施策等と連携を図るとともに、新たな交通手段の導入について市民と協働で検討を進めました。			・現状					
・評価	マタニティタクシー利用助成制度を開始し、妊娠婦の移動に関する不安の軽減に努めました。高齢者免許返納一時金制度を導入し、運転免許証の自主返納と公共交通の利用促進を図りました。公共交通検討地域等において、地域住民とともにアンケート調査を実施し、地域の特性の把握と分析を進めました。			マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を実施しています。公共交通検討地域等において、代替交通の検討を進めています。東初石及び西初石の民間路線バス（京成バス流01、02）が12月に廃止となる予定です。					
・課題に対する改善点	母子健康手帳の交付に合わせてマタニティタクシー利用助成制度の案内を配布することにより、制度の周知に努めました。高齢者免許返納一時金制度を利用しやすいよう、各出張所で申請の受付を可能にしました。公共交通検討地域等におけるアンケート調査では、アンケート作成や配布・回収を地域と役割分担し効率的に実施しました。			・課題					
・取組	マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。廃止が予定されている民間路線バス（京成バス流01、02）については、運行経費を補助することで12月まで運行を継続するとともに、その他の公共交通検討地域等の新たな公共交通導入について具体的な交通手段の検討を進めます。			マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。廃止が予定されている民間路線バス（京成バス流01、02）については、運行経費を補助することで12月まで運行を継続するとともに、その他の公共交通検討地域等の新たな公共交通導入について具体的な交通手段の検討を進めます。					

施策 住宅

基本政策 良質な住環境のなかで暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画(建築住宅課) ※1 R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(※1)	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合(総務省「住宅・土地統計調査」)※1: 2018(H30)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	3.2(※1)	%	↓
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組内容 地域住民が安心して住み続けられるよう、生活環境に深刻な影響が懸念される管理不十分な空き家の改善を図るために、所有者等を特定し助言・指導に努めました。また、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行い、建物の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図りました。</p> <p>・評価 新たな流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の改善工事等を計画的に行い、建築物の耐久性・安全性の向上と長寿命化を図りました。</p> <p>・改善点 令和6年度以降の流山市公営住宅等長寿命化計画の策定を行い、計画的に改善工事等を行えるようになりました。</p>		<p>・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 適切な時期に修繕及び改善等を実施するためにも、建物等の点検を随時実施し、点検結果等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。空き家対策については市民や空家所有者等に対し、継続的に空き家問題の意識啓発が必要になります。</p> <p>・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。また、市内の管理不全空家等の解消にも努め、地域住民が安心して住み続けられる環境の確保に努めます。</p>				

住生活の安定と向上

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。								
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
建築住宅課	17,864	15,010	2,821	15,004	15,004	0			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標					
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449						
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地1・2号棟の受水槽の取替工事を行いました。</p> <p>・評価 計画的に改善工事等を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。</p> <p>・課題に対する改善点 令和6年度以降の流山市公営住宅等長寿命化計画の策定を行いました。</p>			<p>・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 市営住宅の状況等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。</p> <p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地3号棟の屋上防水工事を行います。</p>						

空き家対策の推進

空き家対策事業	適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組み進めます。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
建築住宅課	0	0	2,116	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		
空き家問題に関する通報件数(件)	82	93	80	空き家に対する改善指導件数(件)	41	74
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 市内にある管理不全空家等の解消に努め、市民への空家問題の意識啓発を行いました。</p> <p>・評価 情報提供があった93件の空家等に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空家等74件に改善指導や助言を行い、42件が改善されました。</p> <p>・課題に対する改善点 空家問題の意識啓発に効果的なデザインのリーフレットを作成しました。</p>			<p>・現状 空家等対策計画に沿って取り組みを進めています。</p> <p>・課題 管理不全空家等の発生を抑制・予防します。</p> <p>・取組 市内の管理不全空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行います。</p>			

空き家対策の推進

高齢者住み替え支援相談事業		高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。						
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
建築住宅課		47		0		2,116	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
住み替え相談会開催回数（回）		6	3	-	住み替え相談会参加組数（組）		11	3
					住み替え相談の成立件数（件）		-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 相談者等の希望に応じ、オンラインまたは対面型の相談会を実施しました。					・現状 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。			
・評価 相談会を3回設けましたが、第1回の参加者が3組、第2回と第3回は参加者がいませんでした。					・課題 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。			
・課題に対する改善点 相談者が参加しやすいよう、開催場所をおおたかの森ホール会議室やキッコーマンアリーナ会議室など、開催曜日を平日から土曜日にするなどの工夫を行いました。					・取組 令和6年度から住宅対策管理事業へ移行します。			

施策 生活環境

基本政策 良質な住環境のなかで暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 環境部

施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	<R4まで>平成19(2007)年度の排出量を100とした場合の指数 <R5以降>計画の改定に伴い基準年度を変更、平成25(2013)年度の排出量を100とした場合の指数 ※上段は民生家庭(2007:165 2013:215)、下段は民生業務。	121 166 (R1年度分)	118 159 (R2年度分)	91 105 (R3年度分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（ながれやまちづくり達成度アンケート※H30年度のみ市民意識調査）	27.8	32.0	31.1	%	↓
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 二酸化炭素排出量の削減に向け、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを実施しました。また、市内の空き地の雑草除去推進や不法投棄のパトロール及び回収など市民の生活環境保全を図りました。		・現状 ゼロカーボンシティを目指し、市内最大級の事業者として脱炭素へ強力な取り組みを進めつつ、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度により多様な手段で取り組みを後押ししています。市民の生活環境保全については、市内の空き地の雑草除去推進や不法投棄対策など引き続き実施が必要です。				
・評価 補助制度によって二酸化炭素排出量の削減効果は見込まれるもの、対象設備等により実績にはらつきがあるため、時勢に合わせた補助事業を行う必要があるほか、事業の効果や有用性について検討する必要があります。また、生活環境保全については、空き地の雑草除去に係る市への除去委託制度の認知度増加など様々な施策により、一定の改善は図られたものの、空き地の雑草に対する苦情や不法投棄などは依然として発生している状況です。		・課題 補助制度等の積極的な周知により、二酸化炭素排出量の削減のための取り組みにおける費用負担の軽減を図る必要があるほか、導入後の結果として電力使用量の削減や機器運用の低下によるメリット等を織り交ぜた効果的な周知を行う必要があります。また、市民の生活環境保全に係る苦情対策について、管理が煩雑な状況となっています。				
・改善点 二酸化炭素排出量の削減に対して市全域で課題感を持つ必要があったため、市民や事業者に脱炭素セミナーを実施したほか、物価高騰対策と併せて民生家庭部門の排出量削減を狙った省エネ家電への買換えに対する補助制度を実施しました。また、市内の敷地にて大量に廃棄物が堆積されていた事業について、再三の行政指導及び命令に従わなかったため、行政代執行により廃棄物を撤去し、市民の生活環境の保全に努めました。		・取組内容 ゼロカーボンシティを目指し、まずは市役所が市内最大級の事業者として脱炭素への強力な取り組みを実施して周知するほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押しします。また、市民の生活環境保全に係る苦情対策について、管理方法の見直しを実施し、苦情対応に係る業務効率化及び市民サービスの向上を図ります。				

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策事業	地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。令和5年度から、集合住宅や事業所への太陽光発電設備への補助事業を開始しました。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
環境政策課	38,262	23,720	21,156	31,743	8,850	22,893
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	193	210	220	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)	313	306
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 補助制度の作成、周知を行うとともに、有用性やメリット等の周知を行い、補助制度の啓発に努めました。			・現状 2050年度二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すため、市全域で脱炭素の取り組みを推進します。			
・評価 太陽光発電設備の導入をはじめとして想定数に近い補助金の申請があり、一定の効果を得ることができました。			・課題 補助制度及び各種取り組みの有用性や効果等について、さらなる周知が必要です。			
・課題に対する改善点 補助制度の周知にさまざまな媒体を活用したほか、まちづくり顧問による市民・事業者向けのセミナーを実施し、専門家からの周知を行いました。			・取組 時勢にあたった補助制度の作成を続ける他、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市全域での省エネ性能の向上に努めます。			

生活環境の保全

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し、環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
環境政策課	10,276	9,606	1,189	10,943	290	10,653
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		
路上喫煙等防止指導件数(件)	190	166	200	路上喫煙等防止過料件数(件)	123	113
令和5年度の取組みと評価・改善点			令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 ポイ捨てが酷い箇所等について、これ以上悪化しないようパトロール強化、当該箇所を立ち入り不可とすること等、関係各課と協力し対策を実施しました。			・現状 路上喫煙及びポイ捨ては引き続き確認されている状況のため、路上喫煙防止重点区域でのパトロールを実施します。			
・評価 様々な対策を行ったことで一定の抑止効果は見受けられたものの、依然として路上喫煙やポイ捨てが多い状況です。			・課題 乗り換え駅である南流山駅周辺では、特に市外の方の路上喫煙の割合が多く、またポイ捨ても依然として多い傾向にあります。			
・課題に対する改善点 路上喫煙やポイ捨てが酷い箇所である南流山駅周辺について、注意文書の掲示やバリケードの設置、パトロールを重点的に実施する期間を設けるなどの対応を行いました。			・取組 南流山駅周辺など路上喫煙及びポイ捨てが酷い箇所について、これ以上悪化しないよう関係各課や民間事業者等と協力し、立ち入り不可の方策や禁止行為の周知啓発対策を検討します。			

主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標		指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量		ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	813	795	770	g	↓
資源化率		資源化率の推移（クリーンセンター） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	27.6	28.7	27.2	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 指定ごみ袋と生ごみ肥料化処理器購入補助金制度の導入による効果等について、データや表現等を工夫しわかりやすく広報し、リサイクル率の向上及びごみの減量・資源化を推進しました。ごみ焼却施設については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を行ない、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定した廃棄物処理を確保しました。</p> <p>・評価 指定ごみ袋や生ごみ肥料化処理器購入補助金制度、ごみ分別アプリなどにより、ごみ分別及び減量・資源化を促進し、家庭系ごみの排出量の削減に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努めました。</p> <p>・改善点 指定ごみ袋完全導入後の令和4年度の家庭から排出されたごみの量が、導入前の令和3年度から減少したことについて、広報ながらやまにおいて記事を掲載しました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保に努めました。</p>	<p>・現状 令和6年度から事業系廃棄物の受入基準の見直しに基づき、事業系一般廃棄物の減量・資源化の啓発に努めます。ごみ焼却施設の整備については、基幹的設備改良工事及び定期点検整備の調整を密に行ない、適切な運転管理に努めるとともに、一部のごみ処理を外部委託して、安定した廃棄物処理を確保します。</p> <p>・課題 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発が必要です。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。</p> <p>・取組内容 事業系廃棄物処理ガイドブックなどの資料を用いて、新たな受入基準を元に、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量・資源化及び適正処理について啓発に努めます。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保する必要があります。</p>
ごみの減量化・資源化の推進	ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察などを実施します。

ごみ減量・資源化事業	ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察などを実施します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
クリーンセンター	570		464		9,454	654	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
ガレージセール実施回数(回)	-	1	3	1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	795	770	784
ごみ出前講座回数(回)	5	7	8	資源化率(%) ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	28.7	27.2	22.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 施設見学や広報ながらやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別アプリの利用促進を図り、周知を行いました。</p> <p>・評価 施設見学や広報ながらやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座を通じて、より広く周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 自治会未加入者や新たに転入してきた市民にもわかりやすく伝えるため、施設見学や広報ながらやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座を通じて、より広く周知に努めました。</p>	<p>・現状 施設見学や広報ながらやまの特集号、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、ごみ分別アプリの利用促進やごみ出前講座を図り、周知を行います。</p> <p>・課題 ごみ分別促進アプリやごみ出前講座の制度をより広く周知することが必要です。</p> <p>・取組 広報ながらやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、減量等推進員会議等を通じ、ごみ分別促進アプリやごみ出前講座の制度の周知に努めます。</p>						

ごみの減量化・資源化の推進	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスタークールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料化処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
クリーンセンター	248,763		177,032		9,454	221,239	1,287
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
リサイクル団体登録数(団体)	254	254	256	集団回収量(t)	8,540.13	8,202.00	9,300.00
リサイクル講座(教室)開催数(回)	68	52	70	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)	561	438	700
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組 資源物回収や生ごみ肥料化処理器についてわかりやすい広報を行うことで、ごみの減量・資源化の促進を図りました。</p> <p>・評価 資源化率は、平成31年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えており、広報等を通じ、ごみの減量・資源化の促進に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」作成にあたり、生ごみ肥料化処理器の記事を掲載するなど、わかりやすい広報に努めました。</p>	<p>・現状 資源回収率は平成31年度に策定した一般廃棄物処理基本計画の目標値を超えている中で、さらなるごみの減量・資源化の促進に努める必要があると捉えています。</p> <p>・課題 資源回収について、よりわかりやすい資料や説明が必要だと捉えています。</p> <p>・取組 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」などを利用し、資源化や資源回収についてより詳細にわかりやすく啓発していきます。</p>						

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。						
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
クリーンセンター		340,501	337,183	9,454	322,036	322,036	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標 1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日)※実績値は前年度の数値を使用	R4実績	R5実績	R6目標
令和5年度の取組みと評価・改善点							令和6年度の現状・課題・取組み
・取組	「流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」を刷新し、令和6年3月から市民への配布を行いました。						・現状 令和6年度から事業系廃棄物の受入基準の見直しを行い、事業系一般廃棄物の減量・資源化の啓発に努めます。
・評価	「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」を作成し、令和6年3月から、自治会等を通じて市民に配布しました。						・課題 事業系廃棄物の受入基準の見直しについて、事業者に丁寧な説明が必要だと捉えています。
・課題に対する改善点	転入した新たな市民などにごみの分別などをわかりやすく啓発するため、令和6年度版の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」のページ数を従来の倍にするなど、内容の充実やわかりやすい記事の掲載などの工夫に努めました。						・取組 事業系廃棄物の見直しに関わるお問合せダイヤルを設置するなど、事業者への丁寧な対応に努めます。

一般廃棄物の適正処理

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。						
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
クリーンセンター		530,000	569,690	10,578	440,000	0	440,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
修繕費用(千円)	89,379	66,932	10,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)	-	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点							令和6年度の現状・課題・取組み
・取組	ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。						・現状 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。
・評価	定期点検整備及び修繕業務を適正に実施したこと、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。						・課題 令和5年度から着工している延命化整備と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、延命化整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。
・課題に対する改善点	ごみ焼却施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、今後の延命化等の整備計画都の調整を図り、適切な整備を実施しました。						・取組 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。

一般廃棄物の適正処理

廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るために、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。						
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
クリーンセンター		2,159,971	1,943,974	21,156	3,611,454	3,604,428	7,026
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況(%)	-	27.0	72.1	C02排出量の削減率(%)	-	2.39	6.39
令和5年度の取組みと評価・改善点							令和6年度の現状・課題・取組み
・取組	定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事を実施しました。						・現状 長寿命化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施することで、施設の延命化を図ります。
・評価	工事の進捗及び基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上の削減とともに工事どおりに工事を実施しました。						・課題 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備と運転管理に係る調整を密に図る必要があります。
・課題に対する改善点	安全かつ安定した運転管理を実施しながら円滑な工事進捗を図れるよう、延命化整備と定期点検整備の工程や運転管理との調整を図りながら工事を実施しました。						・取組 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めます。

一般廃棄物の適正処理

一般廃棄物処理基本計画策定事業		廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
クリーンセンター	0	0		0	11,000	0	11,000
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	・現状 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて現計画を平成31年3月に策定しており、環境省の「ごみ処理基本計画策定指針」では概ね5年ごとに改定することとされています。						
・評価	・課題 近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、見直しを行うにあたっては地勢を鑑みながら策定する必要があります。						
・課題に対する改善点	・取組 現計画で設定した中間目標の達成に向けて実施した個別施策の達成状況を評価し、長期的・総合的視点に立った計画の策定に努めます。						
令和5年度は事業の実施はありませんでした。	令和5年度は事業の実施はありませんでした。						

主管部局 経済振興部

施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省）※1 2021(R3)年経済センサス	0.661(※1)	0.661(※1)	0.661(※1)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	(総務省・経済産業省)※1 2021(R3)年経済センサス	670(※1)	670(※1)	670(※1)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード（財政調整課） ※値はそれぞれ前年度の数値を使用	51,458	62,780	71,605	万円	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 物価高騰等により依然として影響を受けている市内事業者への支援をはじめとし、正規雇用を希望する方への就職・就労支援や、市民の利便性の向上、まちの活性化に資する事業所・店舗等の誘導に努めました。	・現状 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこと、飲食業などB2Cの業態を中心に売上上昇基調がみられるものの、物価高騰等により、市内事業者の経費負担増は依然として続いています。その状況下でも、新たに市内で創業し魅力的な個性を発信している事業者や意欲的に売上向上に取り組む事業者が現れており、その支援により地域経済の好循環を生むべく、各施策を進めています。
・評価 市民の利便性向上に資する小児科立地やまちの賑わいに資する空き店舗の活用促進を図りました。市内での創業を希望する方への支援として、女性向け創業スクールの開催や、生産性、売上げの向上に取り組む事業者への支援を実施しました。さらに、東京電力による電気料金値上げ等に係る電気料金の急激な高騰への負担緩和措置として、電気料金高騰対策支援事業を実施しました。	・課題 生産年齢人口の減少に伴い、人手不足（人材確保）を課題としている市内事業所が多いです。
・改善点 女性向け創業スクールの実施にあたり、令和4年度は多くの参加者を募る意図から各回開催ごとの参加者募集でしたが、令和5年度では全6回を通常参加なし、参加者の理解や知識がより深まるよう工夫しました。グループ提案売上アッププロジェクト応援補助金では、提案をグループで行う際の取りまとめ役となる事業者の時間的、経済的負担軽減を図るために、本業従事以外に費やした人件費等の一部を補助対象経費として含める改善を行いました。	・取組内容 引き続き、市民の利便性の向上とまちの活性化に資する事業所・店舗等の進出、雇用確保の機会が見込まれる事業所等の誘致活動、正規雇用を希望する方への就職・就労支援を進めてまいります。また、事業所における働き手確保に資する取り組みへの支援に努めます。

魅力ある事業者の育成・誘致

空き店舗有効活用事業	空き店舗の解消による賑わいの回復と創出をはかるため、生じてしまった空き店舗を利活用する事業者に対し、改装工事費及び賃借料にかかる補助を行うものです。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		
商工振興課	12,156		11,886		14,104		12,602		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
相談件数(件)	30	40	30	補助金(家賃補助分)交付件数(件)		13	17		
				補助金(改装費補助分)交付件数(件)		3	3		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 利用を考える事業者に向けて、制度の概要や申請方法等が一目で分かるリーフレットを作成し、周知による制度利用促進を図りました。また、補助を利用する事業者が商工会議所による経営指導（アドバイス）を受けることを要件とし、持続可能な事業経営に向けた支援を図りました。	・現状 制度の認知向上と利用促進を図るため、市ホームページへの情報掲載により制度を広く紹介していくだけでなく、市内不動産会社や内装改装会社などへも訪問し、リーフレットで案内しています。利活用が順調に進んでおり、賃貸意向のある空き店舗が少なくなっています。								
・評価 相談件数は前年と比べて増加し、令和5年度では新たに4件の活用があり、空き店舗の解消ができました。なお、空き店舗の活用にあたり改装する場合の工事については、市内事業者への発注に限り補助することで市内経済の循環を図りました。	・課題 特に経営経験のない方からの申請の場合、事業継続性の判断が難しく、高度な経営知識等が求められることから、商工会議所経営指導員との連携を密に図り審査を進めていく必要があります。また、相談から交付決定までは1年程度かかる案件もあり、申請者の事業計画の完成度に左右されます。								
・課題に対する改善点 申請受付後の審査では、事業の採算性や継続性の確認が必要となります。そのため、状況に応じて、開業前の計画だけでなく開業後の実績値をもとに判断、確認を行いました。	・取組 補助申請時や補助期間中、並びに補助終了後も長きにわたり事業継続出来るよう、流山商工会議所への入会と同所経営指導員による年1回以上の経営指導を制度化しています。								

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業資金融資事業	市内中小企業者の事業発展と維持を目的に、事業に必要な運転資金、設備資金を円滑に調達できるよう、融資にかかる負担軽減を図るものであります。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		
商工振興課	140,288		138,865		14,104		139,939		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
商工会議所役員会参加回数(常任委員会、商業部会、工業部会)(回)	36	36	36	融資件数(件)		15	21		
流山工業団地役員会参加回数(回)	12	12	12	利子補給件数(件)		110	104		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補給を実施しました。	・現状 コロナ禍に入った時期にセーフティネット4号枠の融資を設けたことで多くの事業者が利用しました。現在は返済期間中の事業者が多く、新規融資申込者はコロナ禍前よりも少ない状況が続いています。								
・評価 資金融資を21事業者に実行し、利子補給を104事業者に対して実施しました。	・課題 国による制度変更等があった場合は早期周知に努めていく必要があります。								
・課題に対する改善点 国の制度変更に対しての早期周知を図った結果、円滑に事業を実施することができました。	・取組 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実行及び利子の一部補給を実施します。								

魅力ある事業者の育成・誘致											
創業支援事業	30~40代を中心として子育て世代の転入が続いているなか、出産や育児などの理由で一旦仕事から離れている女性の能力を活かすため、女性の創業を支援し、地域経済の活性化とまちの魅力を高めることを目的とするものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	1,659		1,659		14,104	1,650	0	1,650			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
女性向け創業スクール受講生（人）	26	25	22	創業者数（女性向け創業スクール卒業生） (人)		13	22	15			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	女性向け創業スクール開催及び同スクール生や創業を検討している女性や創業間もない女性が一年を通して相談ができる「創業コンシェルジュ」と「デザインコンシェルジュ」を設置し、創業しやすい環境づくりに努めました。										
・評価	スクール受講生が創業を実体験する「卒業マーケット」を開催したほか、会計経理に関することや創業での登記手続きなど、実践的な講座内容とし、創業に向けたスキル習得を図りました。										
・課題に対する改善点	令和4年度の創業スクールでは、試行的な取り組みとして1講座ごとに参加者を募る方式とし、結果として多くの方に受講いただきましたが、創業に係る熟度を深めることが難しい場面がありました。令和5年度は、全回を通じた参加型式に戻し、習得レベルの向上を図りました。										
・現状	女性向け創業スクールは、毎年受講希望者が多く、受講後の満足度も高い状況が続いています。受講生が創業に至ったケースでは、経営規模が極めて小さいものもあり開業したものの、集客に苦慮しているといった相談が創業コンシェルジュに多く寄せられています。										
・課題	創業に必要となる知識とスキルは日々変化していることから、社会の変化に即した講座内容にしていく必要があります。										
・取組	引き続き、女性向け創業スクールの開催、創業コンシェルジュ、デザインコンシェルジュを設置し創業支援を実施します。なお、創業スクールでは、創業間もない事業者は顧客への訴求力や販路拡大、商品開発等のノウハウに乏しいことが多いため、創業スクール卒業生と受講生の交流など、情報交換ができるような場づくりを図ります。										
魅力ある事業者の育成・誘致											
企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進するものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	12,418		11,270		14,104	12,782	0	12,782			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
面談にいたった事業所等の数（件）	38	47	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数（件）		2	1	1			
面談・相談等の数（件）	100	99	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数（件）		1	2	2			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地となる土地情報を案内しました。また、病院開設には病床確保が前提となるため、病床申請に係る公募時期等について千葉県の所管部署へ適宜確認しました。										
・現状	本市は年少人口の増加から、小児科クリニックが混雑し予約が取りにくい状況が続いています。										
・評価	病院については、開業候補地が決定に至り、令和5年7月に実施された千葉県の病床追加公募に応募し、現在病床配分の決定待ちとなっています。										
・課題	クリニックの開業候補地の確保及び開業志向の高い小児科の勤務医との接觸が課題です。										
・取組	病院の立地に係る地元自治体としての同意書とは別に県に訪問し、要望書を提出する等、病床の確保に努めました。										
・課題	不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地を選定していきます。また、医療系の開業コンサルタントを訪問し、小児科の勤務医との接觸を図りクリニックの立地を促進します。										
魅力ある事業者の育成・誘致											
企業動向調査事業	市内事業者の景況感や抱える課題を把握し、効果的な事業の検討及び評価を行うためのエビデンス取得を目的に動向調査を行うものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	4,766		150		14,104	4,582	0	4,582			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
調査件数（件）	-	1,500	1,500	平均回収数（件）		-	492	375			
				回収率（%）		-	32.8	25.0			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	市内事業者における景況感や抱える課題の把握をし、さらに既存事業の改廃、新規事業の創設に繋げるため、質問構成を工夫し、調査を実施しました。										
・現状	上期・下期2回の調査と結果に対する事業検証を実施しています。										
・評価	上期・下期の2回実施し、それぞれ上期474件（回収率31.6%）、下期510件（回収率34%）の回答となり、概ねデータの収集に必要な数を得られました。										
・課題	地域経済を取り巻く社会課題や同調査結果を踏まえた有用な設問設定、質問構成となるよう検討を進めていく必要があります。										
・取組	回答数向上への研究を続けるほか、回答する事業者側の負担が大きくならないよう見易い質問構成を設定していきます。										

魅力ある事業者の育成・誘致											
物価高騰支援事業 (商工振興課 小規模事業者持続化促進分)	急激な為替相場の変動及びエネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済情勢が激しく変化する中、自社の経営を見直し持続可能な経営に向けた経営計画を作成し、生産性の向上に努めようとする小規模事業者の取り組みを促進するため、経費の一部を補助するものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	4,375		6,601		14,104	4,400	0	4,400			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
案内件数(件)	20	24	35	交付件数(件)		20	24	35			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	中小企業庁の「小規模事業者持続化補助金（一般型）」に採択され、国の補助金確定通知を受けた市内小規模事業者に対し、国の補助額の1/4相当の上乗せ補助をしました。										
・評価	対象となる国の補助金交付確定者24事業者に対して市上乗せ補助を交付し、販路拡大等に積極的に取り組む小規模事業者への支援を図りました。										
・課題に対する改善点	小規模事業者に係る国補助金申請窓口である商工会議所と情報連携を図り、市上乗せ補助対象者の把握を行い、制度利用の案内をしました。										
・現状	事業活動の充実化に取り組む事業者の意欲を高める補助金であり、今後も国補助は継続しており、市の上乗せ補助についても制度周知を重ね利用促進を図っています。										
・課題	制度を知っている方だけでなく、制度を未だ知らない方へも本支援の情報が届くよう引き続き周知に工夫をしていく必要があります。										
・取組	小規模事業者による販路拡大等への補助により、持続可能な経営の実現及びやる気と行動力のある事業者への支援を図ります。また、対象事業者からの申請受付期間を2回設け、交付決定に係る事務簡素の平準化を図ります。										
魅力ある事業者の育成・誘致											
多様な人材が活躍できる職場づくり推進事業	生産年齢人口減少に伴う労働力不足が進むなか、市内中小事業者において多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、多様な人材の新規採用・定着を目的とした設備などの整備費用等の一部を補助するものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	0		0		0	1,051	0	1,051			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
相談件数(件)	-	-	5	補助金交付件数(件)		-	-	1			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和5年度は事業の実施はありませんでした。										
・現状	市内事業者が事業継続に必要な「労働力確保」に向けた取組みに対する支援及び「流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例」に市の責務として規定された「多様性を尊重する社会の推進」の実現に努めています。										
・評価	令和5年度は事業の実施はありませんでした。										
・課題	新規事業であることから各方面への案内や説明により、制度周知と理解の促進に努めていく必要があります。										
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施はありませんでした。										
・取組	従業員の採用や職場定着、シニア世代、障害のある方、外国人等が活躍できる職場づくりのために必要な諸室や設備の確保、器具等の購入費などに取り組む事業者に対し、かかる経費の一部を補助します。【補助率1/2、上限100万円】										
魅力ある事業者の育成・誘致											
流山市事業者グループ提案型 売上アッププロジェクト応援事業	エネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済が激しく変化する中、持続的な経営に向け販路拡大等を目指す市内事業者グループの自主的な事業活動を推進するため、地域経済の活性化を目的とした事業に係る経費の一部を補助するものです。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
商工振興課	5,022		1,316		14,104	2,362	0	2,362			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
応募件数(件)	2	3	3	補助交付件数(件)		2	3	3			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	市内事業者の自主的な事業活動を応援するため、新たな商品・サービスの開発や販路拡大等の取り組みを支援しました。										
・現状	利用を検討する事業者から事前の相談等があった際には、補助概要の説明や提案内容が直接的な売上アップに繋がるか確認し提案者側のスムーズなグループ化と制度理解の促進を図っています。なお、令和5年度の主要事業「新型コロナウイルス感染症対策事業(商工振興課グループ提案型売上アップ・プロジェクト)」は、令和6年度から本事業に集約しました。										
・評価	3件採択となり、グループ各事業者に係る売上げアップと地域や業種を超えた経済連携、経済波及の創出を図ることができました。										
・課題	制度の利用促進のためには、この補助金がどのような取り組みに活用できるのかを分かりやすく周知する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過するところから、補助率の改定など制度の見直しが必要となっています。										
・取組	引き続き、当該事業を実施しますが、市内経済の逼迫状況が落ち着きを取り戻してきたことを契機として、補助率を2分の1とするとともに、当該事業の役割を物価やエネルギー価格上昇等の影響に対するものとします。										

就労の支援

		求職者が自信をもって円滑に就職活動に取り組み、希望する就職につながるようにすることを目的に実施するものです。						
就労支援セミナー企画運営事業								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
商工振興課		12,698		12,302		14,104	12,769	3,240
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
就職個別相談相談者数（人）		105	143	120	相談者の就職者数（人）		75	52
					年間セミナー参加者数（人）		158	271
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>求職者からの個別相談及び就職支援セミナーを実施し、正規雇用に向けた支援を行いました。また、ハローワーク松戸等と共に市内企業を集めた就職面談会を実施しました。</p>					<p>・現状</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、求職者の就職活動が活発化しており、就職面談会には、139名と多くの参加者があるものの、そのうち就職に至ったのは5名と少ない状況にあります。また、職住近接を希望する求職者が増えつつあります。</p>			
<p>・評価</p> <p>ジョブサポート流山で専門のキャリアカウンセラーを配置した就職個別相談を実施したほか、相談者が就職した後もカウンセラーから電話やメール等によるフォローアップを実施し、職場での不安解消や働き方へのアドバイス等により、職場定着が進むよう支援を図りました。</p>					<p>・課題</p> <p>就職支援セミナーの開催では、就職活動に必要な内容かつ、昨今の雇用情勢を踏まえた内容とする必要があり、求職者に有用となる情報や制度などの収集を図る必要があります。</p>			
<p>・課題に対する改善点</p> <p>就職支援セミナーでは、対面とオンラインの併用や子どもの一時預かりを導入するなど、求職者がより参加しやすい環境づくりに努めました。</p>					<p>・取組</p> <p>カウンセラーによる就職、正社員への転換に至るまでの継続的な個別指導から就職後の職場定着へのフォローアップなど、きめ細やかな支援に努めます。また、地元企業と地元での就職を希望する求職者の面談の場として、ハローワーク松戸等と共に就職面談会を実施します。</p>			

主管部局 経済振興部

施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	46	54	60	経営体	↑
農業産出額（推計）	千葉農林水産統計年報の市町村別農業産出額推計結果※R3実績（R1～R2）年関東農林水産統計年報（市町村別農業産出額推計）※R4実績（R2～R3）年関東農林水産統計年報（市町村別農業算出額推計）※R5実績（R3～R4）	185（※）	92（※）	95（※）	千万円	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組内容 学校給食に流山産米及び野菜を含んだ千産千消を推進しました。また、認定農業者の農業経営改善計画の達成のため、資機材等の事業費補助を実施しました。</p> <p>・評価 学校給食に流山産米及び野菜を含んだ千産千消を推進し、認定農業者の農業経営改善計画の達成のため、資機材等の事業費補助に取り組みました。</p> <p>・改善点 流山産米及び野菜の学校給食への供給確保と安定した農業経営のための支援を行いました。</p>		<p>・現状 都市化による農用地の減少が生産性に影響していますが、都市農業としての利点を活かした産直販売を促進し、学校給食への流山産米の通年供給の継続、認定農業者に対して効率的な資機材の購入を支援することで、安定的な生産を維持しています。</p> <p>・課題 都市化による農用地、農業者の減少による担い手、後継者育成の対策が課題であることから、安定した農業経営のための支援が必要です。</p> <p>・取組内容 認定農業者の継続的な営農が可能となる、安定した農業経営のための事業費支援に取り組みます。</p>				

農業経営改善の充実

認定農業者支援事業	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
農業振興課	5,100	4,126	1,807	6,160	0	6,160
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		
実績補助金額（千円）	3,372.5	4,125.3	6,160.0	認定農業者数（経営体）	54	60
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 認定農業者への資機材等の補助を通じて継続的な支援に取り組みました。</p> <p>・評価 新規認定農業者の推進や支援事業の周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、継続的支援の必要性が課題であることから、認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部支援を引き続き行うこととなりました。</p>		<p>・現状 認定農業者の安定した生産性の維持及び向上するための支援に努めています。</p> <p>・課題 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、継続的支援をしていく必要があります。</p> <p>・取組 認定農業者の安定した農業経営のための継続的支援に取り組みます。</p>				

農業経営改善の充実

農業振興資金融資及び利子補給事業	農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
農業振興課	7,776	7,579	1,411	7,755	7,001	754
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		
利子補給金額（千円）	540	579	755	利用実績件数（件）	22	22
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 資金融資制度の活用により農業者の安定的な農業経営が継続的に行えるよう取組みました。</p> <p>・評価 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営に寄与できました。</p> <p>・課題に対する改善点 農業者の安定的な農業経営のため継続的支援の必要性が課題であることから、資金融資制度の活用により安定的な農業経営が継続的に行えるよう引き続き支援していくこととなりました。</p>		<p>・現状 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営に努めています。</p> <p>・課題 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営の継続を引き続き支援していく必要があります。</p> <p>・取組 資金融資による貸し付け利子の一部を補給することで、農業者の安定的な農業経営の継続を引き続き支援していきます。</p>				

農業経営改善の充実

エコ農業推進事業	減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
農業振興課	1,980		2,451		2,203		2,352	0	2,352
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
実績補助金額(千円)	1,351.0		2,450.3	3,360.0		エコ農業生産農家数(件)	43	48	50
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を継続できるよう購入費の一部補助を実施しました。			・現状	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を支援していきます。				
・評価	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入を継続できるよう支援に取り組みました。			・課題	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう引き続き支援していく必要があります。				
・課題に対する改善点	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の継続購入が課題であることから、継続購入ができるよう支援に取り組みました。			・取組	消費者のエコロジー趣向に対して、減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう取り組んでいきます。				

農業への理解の促進

学校給食地産地消推進事業	地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稻生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
農業振興課	18,612		18,612		2,821		16,520	0	16,520
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
米飯給食実施回数(回/年)	2,970		2,970	3,190		学校給食への米の出荷量(t)	232	243	251
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	米飯給食の安定供給のため、水稻生産者や関係団体への助成を行い、継続的な支援に取り組みました。			・現状	千産千消を推進した米飯給食の安定供給に努めています。				
・評価	流山産米の通年供給を行うことができました。			・課題	米飯給食の安定供給のため、水稻生産者及び関係団体へ引き続き支援していく必要があります。				
・課題に対する改善点	流山産米の米飯給食への安定供給が課題であることから、流山産米の安定供給ができるよう水稻生産者及び関係団体に対し支援を継続しました。			・取組	米飯給食の安定供給のため、継続的な支援に取り組みます。				

農業への理解の促進

市民農園事業	遊休農地等を土地所有者から借り上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、異なる遊休農地の有効活用を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源	
農業振興課	2,166		2,271		1,807		227	219	8
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標	
市民農園借り上げ面積(m ²)	10,003.00		9,481.98	9,481.98		農園数(農園)	6	5	5
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組	引き続き遊休農地の有効活用として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区の借上げに取り組みました。			・現状	遊休農地有効活用の一環として、農地所有者から農地を市民農園用地として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区を借り上げています。				
・評価	遊休農地の有効活用に寄与できました。			・課題	農地所有者の土地活用による借り上げていた市民農園用地の契約が解除となった場合の代替え地の候補探しが課題です。				
・課題に対する改善点	市民農園用地の契約が解除となった場合の代替え地探しが課題であることから、遊休農地有効活用を図るために引き続き5地区を借り上げることとなりました。			・取組	引き続き遊休農地の有効活用として、名都借、大畔、駒木台、西深井、こうのす台の5地区の借上げに取り組みます。				

主管部局 経済振興部

施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	133,975	180,936	419,678	人	↑
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のマイクロツーリズムを推進しました。また、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインを支援するとともに連携し、コンテンツの充実に努めました。	・現状 体験型観光施設「白みりんミュージアム」について今年度末の開館を予定しています。流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実を図っています。					
・評価 4年ぶりに流山花火大会を開催したほか、流山本町及び利根運河両地域において様々なイベント等を実施し、交流人口の増加、地域活性化を図りました。	・課題 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かし、さらなる交流人口の増加及び地域経済の活性化を推進する必要があります。					
・改善点 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、国内旅行やインバウンドも以前のような勢を取り戻しつつあるなかで、交流人口の増加並びにリピーターの確保に向けてプロモーションの見直しや新たなイベントの実施に取り組みました。	・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進します。また、体験型観光施設「白みりんミュージアム」の今年度末の開館に向けた準備を進めるとともに、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みます。					

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山版DMO推進事業	観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	20,600		20,600		19,761	37,106	11,652		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
				流山本町地域への来訪者数（人）		65,394	198,543		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 国の地方創生推進交付金を活用し、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に観光ビジョンを策定しました。	・現状 観光庁の地域DMOの「候補DMO」から「登録DMO」に昇格した流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）と共にツーリズム推進に取り組んでいます。								
・評価 令和6年1月から新社長が株式会社流山ツーリズムデザインに就任し、市とこれまでの事業等を精査しました。	・課題 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、様々な関係者と共有を図る必要があります。								
・課題に対する改善点 今後のツーリズムを推進するに当たり、ビジョンを共有することができました。	・取組 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するため、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、連携して取り組みます。								

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	14,825		4,841		7,293	8,423	0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
ツーリズム推進事業補助金相談回数（回）	12	6	10	ツーリズム推進事業補助金（改装）件数（件）		4	1		
				ツーリズム推進事業補助金（家賃）件数（件）		4	5		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付しました。	・現状 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かすとともに、各種媒体等を活用することで、より一層来訪者の増加を図る必要があると考えています。								
・評価 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金では、令和6年度新規オープンの事業者に対し改装費等を補助しました。	・課題 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援が必要です。								
・課題に対する改善点 千葉県の150周年記念事業と連携したPRを行いました。	・取組 地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。								

地域資源を活かしたツーリズムの振興											
白みりんミュージアム整備事業	白みりん発祥の地であることをPRし、白みりんについて学び体験できる施設を流山本町地域に整備します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	42,645		484,735	22,357	164,943	133,988	30,955				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
施設の入込客数(人)	-	-	280								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和6年度末の開館に向けて建設工事を実施しました。			・現状 令和6年度中の開館に向けて外構工事及び展示委託等を実施します。							
・評価	国の交付金を活用して白みりんミュージアムの建設工事を実施しました。			・課題 工事等の進捗状況を確認するとともに、開館準備を進める必要があります。							
・課題に対する改善点	世界情勢の影響による物価上昇等を注視し、工事の進捗を確認し工期どおりに進めました。			・取組 白みりん発祥の地であることをPRし、流山本町の回遊の拠点とするため、白みりんについて学び体験できる白みりんミュージアムを令和6年度末の開館に向けて整備します。							
来訪者の受入体制の充実											
外国人観光客誘致促進事業	流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域へ外国人観光客を誘致するためのプロモーションを行います。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員(CIR)を任用し、外国人目線でSNSを活用した情報発信を行うとともに、店舗と協力し、店舗の英語対応表示やメニューの英語化等、受け入れ態勢整備を行います。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,544		6,612	3,526	7,029	0	7,029				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
外国人観光客の来訪数(人)	844	1,252	1,600								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	外国人観光客の誘致に向け、ターゲットである台湾、欧米に向けたプロモーションを実施しました。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用しました。			・現状 引き続き、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用しています。							
・評価	国際交流員が流山本町及び利根運河両地域の地域資源について、外国人目線での情報発信を行い、外国人観光客の誘致に寄与しました。			・課題 ターゲットである台湾、欧米の外国人観光客の動向に注視し、最新のニーズを把握した上で、プロモーション方法を検討する必要があります。							
・課題に対する改善点	アフターコロナにおける外国人観光客のニーズを把握した上で、プロモーション及び誘客方法を検討しました。			・取組 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行います。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行います。							

施策 高齢者福祉

基本政策 誰もが自分らしく暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 健康福祉部

施策の目的

高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	46,965	47,138	47,304	人	-
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	82.8	80.2	81.1	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数／第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	18.2	18.6	19.4	%	↓

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 敬老バス支援事業では、新型コロナウイルス感染症の5類移行により宿泊を伴う利用を再開し、多くの団体にバスを利用していくため周知を図りました。高齢者が通える身近な地域に社会参加、健康維持、情報交換ができる高齢者ふれあいの家を開設していくため周知を行いました。介護予防等の普及啓発のため、健診データから一定条件該当者を抽出し筋力アップ教室の案内送付や、ながいき100歳体操グループの立ち上げ支援を行いました。	・現状 令和5年度の高齢者ふれあいの家のアンケート分析により、高齢者ふれあいの家利用者は主観的幸福感の質問項目について8点以上の方が62.2パーセントであり、高齢者実態調査の結果48.6パーセントよりも13.6ポイント上回る結果となりました。また、流山市高齢者実態調査の結果から、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために力を入れるべきこととして「健康づくり・介護予防の推進」が41.9パーセントと最も多い結果でした。
・評価 敬老バスの利用は、コロナ禍以前の水準近くまで回復し、多くの団体が高齢者相互の親睦や研修旅行等に利用していくことができ、生きがいづくりに繋がりました。高齢者ふれあいの家は令和5年度に新規で市内4か所に開設、ながいき100歳体操の自主グループは新規10グループが立ち上がり目標を達成しました。後期高齢者人口が増加し、要介護・要支援認定率が増加していることからさらなる介護予防やフレイル予防の普及啓発が必要です。	・課題 高齢者ふれあいの家の生きがいや幸福度に関する調査結果について市民へ周知を行い、高齢者の社会的交流や趣味等を通じた生きがいの充実を図るために、高齢者ふれあいの家の継続や新規開設への支援を行うことが必要であり、より一層、介護予防事業との連携を図り、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進していくことが求められています。
・改善点 高齢者ふれあいの家の利用者に流山市高齢者実態調査と同様のアンケートに協力していくべき、一般高齢者との比較分析を行い、通いの場の今後の展開や他事業との連携について検討しました。また、通いの場での介護予防、フレイル予防をさらに展開していくため、高齢者ふれあいの家および筋力アップ教室の参加案内に関する個別アプローチ等、啓発方法を工夫しました。	・取組内容 令和5年度に実施した一般高齢者と高齢者ふれあいの家利用者の生きがいや幸福度についての結果から、高齢者ふれあいの家の意義や効果を市民へ周知し、新規開設や利用者増加に繋がるよう取り組みの重要性や継続することの必要性の理解を図ります。また、関係機関と連携し、通いの場での高齢者の生きがいづくりや介護予防の推進を図ります。

多様な生きがいづくり

敬老バス支援事業	高齢者団体に市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	
高齢者支援課	7,434		7,899		2,116	9,606	0	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	
利用回数(回)	97	119	150	リピート率 (%)		98	97	
利用人数(人)	1,889	3,150	3,900					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類移行により、宿泊を伴う利用を再開すると同時に、高齢者の親睦や生きがいづくりのため、多くの団体にバスを利用していくため周知を図りました。	・現状 新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えがなくなってきたことで、高齢者団体の利用が活発となり、利用団体数が増加傾向にあります。							
・評価 新型コロナウイルスの取り扱いが5類へ移行したことにより、大型バスを利用する団体が増え、利用回数が急増しました。	・課題 春や秋の行楽シーズンには利用団体のバス利用希望日が重複する可能性があります。							
・課題に対する改善点 行楽シーズンには利用者同士が重複しましたが、あらかじめ予備日を設定していただけてからの抽選参加をアナウンスすることで、抽選に外れても利用日変更など調整を図ることができ、多くの団体が利用できるよう配慮しました。	・取組 抽選参加において、予備日を設定していただけてからの抽選参加をアナウンスするなど、多くの団体が利用できるように配慮し、公平・公正・平等に利用できるよう抽選や調整を図ります。							

多様な生きがいづくり

高齢者ふれあいの家支援事業	市内の空家等を利用して、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域の子どもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	
高齢者支援課	6,061		3,896		2,821	6,677	0	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	
年間開催総数(回)	4,576	5,699	5,700	年間利用者総数(人)		64,224	70,861	
市内設置場所(か所)	28	32	34					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 流山市高齢者実態調査と同一の調査を高齢者ふれあいの家利用者に実施し、高齢者ふれあいの家利用者と一般高齢者の健康や生きがい等についての比較分析に取り組みました。住み慣れた地域に社会参加、健康維持、情報交換ができる高齢者ふれあいの家を開設できるよう市民周知や関係者への働きかけを行いました。	・現状 近年、高齢者ふれあいの家の活動が活発になっていく傾向が見られます。							
・評価 流山市高齢者実態調査と同一の調査を高齢者ふれあいの家利用者100名に実施し、分析した結果、主観的幸福感について8点以上の方が62.2パーセントであり、一般高齢者の結果の48.6パーセントよりも13.6ポイント上回る結果が明らかになりました。高齢者ふれあいの家を新規4か所開設しました。	・課題 前年度調査分析した、高齢者ふれあいの家の効果について、市民へフィードバックすることで、高齢者ふれあいの家の開設や利用者の増加につなげ、ボランティアスタッフの増加に繋げることが必要です。							
・課題に対する改善点 高齢者ふれあいの家の開設や利用が、高齢者の健康や生きがいづくりに効果があるか調査分析し、今後の事業展開に生かすため、流山市高齢者実態調査と同一の調査を高齢者ふれあいの家利用者に実施しました。	・取組 高齢者ふれあいの家利用者の生きがい度や幸福度について、一般高齢者を比較したたポスターの制作及び各高齢者ふれあいの家の紹介及び開設に向けたガイドブックの作成に取り組みます。							

多様な生きがいづくり

高齢者福祉センター森の倶楽部整備改修事業	高齢者福祉センター森の倶楽部の浴室については、年末年始を除く年中無休で稼働してきましたが、長期間の使用により熱交換器の劣化が顕著となり、ガス漏れの危険性や火災発生の恐れがあること、また故障等により利用者に支障が生じないようにする必要があることから、給湯器の交換を行います。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
高齢者支援課	0	0	0	4,230	0	4,230					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
給湯器の交換進捗率 (%)	-	-	100	利用者の入浴施設満足度 (%)	96	96	100				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。										
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。										
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。										
・現状	森の倶楽部の入浴施設は開設から年中無休で10年が経過し、定期的にオーバーホールやメンテナンスを実施し、ガス給湯器の稼働維持に努めてきたところですが、経年劣化によりガス給湯器を安全に使用できる年数を大幅に超えています。										
・課題	ガス給湯器の経年劣化による損傷が激しいことから、故障し入浴施設利用ができなくなると市民サービスの低下へつながります。										
・取組	入浴施設の利用は人気が高く、身体の保清保持、血行促進、コミュニケーションづくりに必要なことから、安定的な入浴環境を維持するため、入浴施設用ガス給湯器の交換工事を行います。										

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者には、訪問による理美容サービスを提供し、移動・出張に要する費用を助成します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
高齢者支援課	9,920	9,062	1,411	10,608	942	9,666					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
訪問理美容サービス利用回数(回)	66	43	95	訪問理美容サービス新規利用者(人)	22	12	25				
外出支援サービス利用回数(回)	4,098	3,877	4,000	外出支援サービス新規利用者(人)	52	45	60				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	運転ボランティア募集について、市がチラシを作成し、自治会回覧で周知を図りました。東部地区で住民と意見交換会を実施し、地域ボランティアの開拓につながりました。サービスを必要としている高齢者が適正に利用できるよう制度の周知を図りました。										
・現状	後期高齢者が増加し、安価に利用できる通院手段について需要が増加しています。										
・評価	運転ボランティアが増加し事業の維持継続に繋がり、外出困難者の通院手段を確保することができます。										
・課題	外出支援サービスの利用者の需要に対して、引き続き運転ボランティアを増加させることができます。										
・課題に対する改善点	運転ボランティア募集について関係機関と連携し、市が積極的に周知を図りました。										
・取組	運転ボランティアの募集について関係課や関係機関と連携して周知を実施していきます。										

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
介護支援課	11,638	9,415	8,463	12,123	12,123	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)	51	55	65				
出前講座開催回数(回)	3	4	3								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」を開催し、ICTを活用した医療と介護の関係者間の連携推進について検討しました。また、市民啓発においては、住み慣れた地域で最期まで自分らしく過ごせるための取組の紹介や情報提供等を行いました。										
・現状	「在宅医療介護連携会議」において、医療や介護の専門職の委員と協働して、地域の医療と介護についての課題抽出と改善に取り組むとともに、「介護と医療をつむぐ会」の実施により、専門職間の連携構築を図っています。										
・評価	市内全域にわたって医療と介護の関係者がスムーズに協働できる関係性を作り、より良質な在宅医療介護が提供できる体制を構築する必要があります。住み慣れた地域で最期まで自分らしく過ごせるよう、市民へ在宅医療や介護について周知し、意向に沿った療養生活や人生の最終段階を迎えることができるよう、人生会議の推進に取り組む必要があります。										
・課題	市内全域にわたって医療と介護の関係者がスムーズに協働できる関係性を作り、より良質な在宅医療介護が提供できる体制を構築する必要があります。住み慣れた地域で最期まで自分らしく過ごせるよう、市民へ在宅医療や介護について周知し、意向に沿った療養生活や人生の最終段階を迎えることができるよう、人生会議の推進に取り組む必要があります。										
・課題に対する改善点	介護・医療従事者が参加する「介護と医療をつむぐ会」等により、「話し合いを通して他職種の視点がわかり相互理解を深める」「他職種からの様々な知識や地域情報を得る」などの効果をあげました。入退院時の連携が効率的に行えるよう、医療機関と介護支援専門員の間で利用する連携シートの項目について精査しました。										
・取組	「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」の開催のほか、地域ごとに症例検討会を開催し、質の向上や連携推進を図ります。また、市民啓発においては、在宅療養についての周知や人生会議の普及啓発のための出前講座を行います。										

地域ぐるみ支え合い体制づくり

地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るために包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の設置・運営を委託します。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
高齢者支援課	0	173,230	14,104	174,710	153,247	21,463					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
相談件数(件)	20,124	20,432	20,554	運営状況調査評価指標の点数(平均)(点)	53	53	53				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	虐待事例や複雑困難化する事例の対応について、市や各相談室間の連携を強化し、業務の効率化を図りました。また、職員のスキルアップのため、研修会等を実施しました。										
・現状	高齢者人口の増加による支援ニーズの増加、虐待事例や複雑困難化する事例への対応が求められています。										
・評価	虐待事例・困難事例への対応においては、市と各相談室間で密に連携し対応に当たることができました。また、困難事例対応のため「スキルアップのための事例検討会・スーパービジョン」の視点を学ぶ」等を実施することで、職員の対応能力の向上を図ることができました。										
・課題	高齢者人口の増加や虐待等複雑困難化する事例への対応のため、市と各相談室間での連携強化を行なうほか、今年度からスタートする生きづらさ包括支援事業（重層的支援体制整備事業）と連携し、適切な支援が行えるよう、高齢者なども相談室の職員数の確保を検討します。また、職員のスキルアップのため、困難事例等に対応するための研修会等を実施します。										
・課題に対する改善点	高齢者人口の増加および虐待事例や複雑困難化する事例への対応のため、市内5か所の高齢者なども相談室に専門職を1名ずつ増員しました。また、連携強化のため市や各相談室間で随時連絡を取り合い、定期的に連絡会議を開催しました。さらに、職員のスキルアップのため、計画的に研修会等の参加の機会を設けました。										
・取組	高齢者人口の増加や虐待等複雑困難化する事例への対応のため、市と各相談室間での連携強化を行なうほか、今年度からスタートする生きづらさ包括支援事業（重層的支援体制整備事業）と連携し、適切な支援が行えるよう、高齢者なども相談室の職員数の確保を検討します。また、職員のスキルアップのため、困難事例等に対応するための研修会等を実施します。										

地域ぐるみ支え合い体制づくり

成年後見申立事業	成年後見制度が必要な高齢者であって、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に、市長が申立てを行い制度の利用に繋げます。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用の一部または全部を助成することで制度の利用促進を図ります。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
高齢者支援課	11,856	5,032	8,463	12,764	12,764	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
地域包括支援センターにおける成年後見制度等相談件数(件)	175	208	210	市長申立て件数(件)	13	15	17				
				成年後見人等報酬助成件数(件)	18	22	23				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	本人の身近な支援者からの相談を受けて、成年後見制度の利用が必要にもかかわらず申立てが困難な方について、市長申立てを実施しています。また、成年後見制度等報酬助成について、令和5年度から申立て者の違いによる制限をなくし、対象を拡充したため、周知及び浸透を図っています。										
・現状	本人の身近な支援者からの相談を受けて、成年後見制度の利用が必要にもかかわらず申立てが困難な方について、市長申立てを実施しています。また、成年後見制度等報酬助成について、令和5年度から申立て者の違いによる制限をなくし、対象を拡充したため、周知及び浸透を図っています。										
・評価	引き続き成年後見制度を必要とする方への利用促進に繋がるよう、市長申立てや報酬助成による支援を実施していく必要があります。報酬助成については、周知を図るとともに、実施内容について適宜見直しを行なうことが必要です。										
・課題	関係機関と連携し、市長申立てや報酬助成による支援を実施していきます。成年後見人等報酬助成については、引き続き広報・ホームページ等で周知を行い、必要とする方を制度の利用に結び付けられるように取り組みます。										
・課題に対する改善点	医療、介護等の関係機関と連携し、必要に応じて市長申立てを実施することで、成年後見制度の利用に繋げました。また、成年後見人等報酬助成について、広報・ホームページ等で市民や関係機関に周知及び浸透を図りました。										

介護体制づくり

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護支援専門員や介護職員等の待遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ修学資金の貸し付け事業を行います。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
介護支援課	120,191	71,518	2,116	93,655	93,655	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
理解促進講座開催回数(回)	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数(件)	29	21	30				
				流山市介護職員待遇改善事業補助対象者人数(人)	694	756	820				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	職員の高齢化や介護職員の確保が難しくなっている状況があります。										
・現状	職員の高齢化や介護職員の確保が難しくなっている状況があります。										
・評価	市内介護保険サービス事業所に就業する介護職員等を増やすとともに、提供するサービスの質の向上を図る取組を続ける必要があります。										
・課題	個別就職相談会と介護の仕事の理解促進講座を組み合わせた「流山市介護の仕事フェア」を開催し、前年度よりも参加者が増加しました。また、流山市独自の介護職員等への待遇改善事業についても補助を受けた介護職員等が前年度よりも増加しました。										
・課題に対する改善点	今年度から介護支援専門員を対象に追加した流山市介護職員等待遇改善事業や個別就職相談会などを実施して、介護人材の確保と定着支援を図ります。また、介護職員養成研修受講費助成により、市内介護保険サービス事業所における有資格の介護職員の増加を図ります。										
・取組	今年度から介護支援専門員を対象に追加した流山市介護職員等待遇改善事業や個別就職相談会などを実施して、介護人材の確保と定着支援を図ります。また、介護職員養成研修受講費助成により、市内介護保険サービス事業所における有資格の介護職員の増加を図ります。										

介護体制づくり

特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
介護支援課	0	0	3,526	0	0	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
市内特別養護老人ホームの施設数（施設）	12	12	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数（人）	194	241	200				
市内特別養護老人ホームの入所定員数（人）	1,086	1,086	1,146								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 令和6年4月の新規開設（60床）を目指して、事業者の社会福祉法人あかぎ万葉への必要な支援を行いました。第9期高齢者支援計画において入所待機者の早期解消を図るために、施設の整備計画を策定しました。										
・評価	・課題 令和6年6月の新規開設（60床）に向けて、特別養護老人ホームの整備を進めました。入所待機者の早期解消を図るために、第9期高齢者支援計画策定にあたり、令和8年度に100床の施設整備を計画しました。										
・課題に対する改善点	・取組 入所待機者の生活実態やニーズの把握に努め、第9期高齢者支援計画期間での施設整備予定に反映させました。介護人材の確保や介護サービスの質を高めるために、開設に向けて社会福祉法人と連携し、施設整備を着実に進めました。										

介護体制づくり

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
高齢者支援課	1,220	677	7,052	5,726	5,726	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
介護予防教室開催数（回）	21	21	21	介護予防教室参加延べ人数（人）	274	328	400				
				ながいき100歳体操グループ数（グループ）	60	70	80				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 より多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるように、「筋力アップ教室」の周知方法を工夫するとともに、「ながいき100歳体操」にまだ取り組んでいない高齢者が所属する団体に紹介し、周知を図りました。また、口腔機能の維持向上のための「かみかみ100歳体操」の普及啓発にも取り組みました。										
・評価	・課題 ながいき100歳体操の活動グループは令和5年度新たに11グループが立ち上がり活動が活発になりました。また、周知方法の工夫や個別アプローチにより筋力アップ教室の参加者は増加しました。										
・課題に対する改善点	・取組 後期高齢者健康診査データから一定条件該当者を抽出し、筋力アップ教室の案内を送付し、必要な方へ個別アプローチを実施しました。また、高齢者の方が所属する団体にながいき100歳体操の紹介を行うなど、普及啓発を図りました。さらに、口腔機能の維持向上のためのかみかみ100歳体操の普及啓発に取り組みました。										

介護体制づくり

認知症施策推進事業	認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
介護支援課	2,635	1,882	5,642	1,795	1,795	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
認知症サポーター養成講座開催数（回）	42	36	40	認知症サポーター養成数（人）	1,805	1,324	2,000				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状 9月の「認知症月間」にあわせて講演会や認知症体験型講座を行ったほか、認知症の方とそのご家族を対象としたウォーキングイベントなどを開催しました。また、認知症サポーターの活動機会の創出に向けて、認知症地域支援推進員会議等で検討しました。										
・評価	・課題 認知症の方とそのご家族を一体的に支援する取組の先駆けとなるイベントの開催など、本人や家族の視点を重視した取組が進んだ一方で、認知症サポーターの活動を促進するためのチームオレンジの取組については、より明確に方向性を定めが必要です。										
・課題に対する改善点	・取組 支援者のいない認知症の方について情報提供を受けた際には医療や介護のサービス利用に繋がることができました。また、認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症に対する知識や理解を持った方を増やしました。										

施策 障害福祉

基本政策 誰もが自分らしく暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 健康福祉部

施策の目的

障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者 ※R3実績=R2年4月1日現在、R4実績=R3年4月1日現在、R5実績=R4年4月1日現在	4,230 1,089 1,556	4,274 1,136 1,664	4,220 1,219 1,790	人	-
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料 R3実績=R2年4月1日現在、R4実績=R3年4月1日、R5実績=R4年4月1日現在	181	174	205	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料 ※R3実績=R2年4月1日現在、R4実績=R3年4月1日現在、R5実績=R4年4月1日現在	2,529	2,790	2,899	人	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点

・取組内容	・現状
市内3か所の委託相談支援事業所のうち1か所の相談員を1名増員し、相談支援体制の強化を図るとともに、関係機関と連携するためのネットワーク作りを進めました。	市のケースワーカー及び障害者相談支援事業所の相談員を増員し、相談支援体制を強化します。
・評価	・課題
障害者等からの相談件数は増加しており、それぞれの障害者の状況に応じた相談支援を実施するための体制強化を図りました。また、自立支援協議会を通して、関係機関とのネットワークを構築し、地域課題を共有しました。	複合化・複雑化した課題を抱える方に対応するため、市のケースワーカーや相談支援事業所職員のスキルアップが課題となっています。また、高齢化する障害者への対応も課題です。
・改善点	・取組内容
複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、相談員を1名増員するとともに、基幹相談支援センターや自立支援協議会と連携し、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等のスキルアップや障害者の権利擁護等に関する研修会を開催しました。	複合化・複雑化した課題を抱える方の支援のため、市内外の関係機関と連携し、今年度スタートする生きづらさ包括支援事業との連携の上、重層的支援体制の整備・拡充を進めていきます。

障害福祉サービスの充実

障害者自立支援給付事業	障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費（目安）	R6当初予算	R6特定財源		
障害者支援課	2,858,722		2,890,555		19,746	3,077,260	2,296,944		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標（予定）	主な成果指標		R4実績	R5実績		
障害福祉サービス支給決定者数（人）	1,143	1,224	1,390	障害福祉サービス利用延べ人数（人）		20,545	22,033		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組	・現状								
受給者の推移からサービス提供状況を分析し、必要となるサービス見込量や事業所数を把握しました。	障害者数の増加に伴い、サービス受給者も増加しています。								
・評価	・課題								
増加するサービス受給者数を踏まえ、必要となるサービス見込量を算出し、サービス支給量について精査しました。	適性なサービス支給決定を行うとともに、サービスの質の確保が必要です。								
・課題に対する改善点	・取組								
サービス提供事業所が増加しているため、定期的に現状の把握を続け、サービス提供状況の分析を行いました。	障害特性に応じたサービスが提供されるようサービス提供事業者に対しての研修会の実施や、事業所間の連携強化に努めます。								

障害福祉サービスの充実

つばさ学園療育相談事業	心身の成長や発達に心配のある乳幼児や児童に対し、専門的かつ総合的な支援が行えるよう相談支援等の充実を図ります。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費（目安）	R6当初予算	R6特定財源		
児童発達支援センター	21,069		17,969		61,220	24,573	24,573		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標（予定）	主な成果指標		R4実績	R5実績		
発達相談総件数（件）	1,162	1,332	1,332	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合（%）		116.20	114.62		
新規発達相談件数（件）	384	567	567	初回面接に係る日数（日）		52.0	26.3		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組	・現状								
お子さんの発達に不安を抱える保護者の相談に対し、新規相談申し込みから初回面接までが長期間かかっていたため、保護者の不安を少しでも早く解決できるよう面接期間の短縮を図りました。	発達面が気になる早期の段階から相談を希望する保護者が増え、療育相談に繋がるお子さんの低年齢化が進んでいます。								
・評価	・課題								
検査室の確保および面接と検査を区分することにより、新規相談の申込みから、初回面接までの日数を短縮することができました。	発達状況の結果、支援の必要性が認められていても低年齢のお子さんの支援先が少ない現状があります。								
・課題に対する改善点	・取組								
これまで保護者の面接とお子さんへの検査を同日に実施してきたため、お子さんが検査を受けやすい午前中に予約の偏りが生じ初回面接まで日数がかかっていました。そのため、稼働できる検査スペースを確保するとともに、午後は保護者の面接、午前中はお子さんの検査と分けて実施しました。	児童発達支援センターでの未就園児の受け入れ体制の整備や支援につながるまで継続した相談支援に努めます。								

障害福祉サービスの充実										
障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
障害者支援課	1,669,891		1,953,286		19,746	2,090,554	1,564,719	525,835		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
障害児通所支援支給決定者（人）	1,115	1,428	1,650	障害児通所支援事業所利用者（人）		12,641	16,656	19,650		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	サービス提供事業所のスキルアップのための研修会を行いました。また、保育所等訪問支援事業の利用について、関係機関との協議のうえマニュアル作りに取り組みました。			・現状	依然として障害児通所サービス受給者は大幅に増加し続けています。また、より早期からの療育や特色のあるサービスの利用ニーズの高まりがあります。					
・評価	保育所等訪問支援事業利用に関するマニュアル作りでは、教育と福祉の連携を踏まえて協議を行っています。			・課題	急増するサービス受給者の障害児支援利用計画を作成する相談支援専門員が不足しており、セルフプラン率が上がっています。					
・課題に対する改善点	ライフケーストageが変わっても支援が継続できるような連携体制を構築できるようこども部会にて協議を重ねました。			・取組	児童発達支援センターを中心とした地域の連携体制を築き、障害児支援利用計画の作成率の上昇を目指します。					
障害福祉サービスの充実										
障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
障害者支援課	16,337		16,337		4,232	17,463	8,731	8,732		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
補助件数（件）	27	32	35	対象施設への入居者数（人）		103	129	140		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	請求に係るデータ抽出を正確に行い、適正に事務を執行しました。			・現状	グループホーム利用希望者は増加し続けています。					
・評価	請求データにより事業者の請求状況を把握し、新規利用者の情報や既存利用者の利用状況の確認、申請内容の突合を行うことにより正確な補助金執行を行いました。			・課題	引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の把握が必要です。					
・課題に対する改善点	グループホームを希望する利用者が増加しているため、入退去状況や利用する事業者の把握に努めました。			・取組	事業者からの請求情報を活用し、利用者の入退去の状況を把握します。					
障害福祉サービスの充実										
つばさ学園改修事業	職員の増員に伴い狭隘している事務室の拡張を行います。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
児童発達支援センター	0		13,200		17,630	41,542	36,948	4,594		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標		
事務室拡張工事進捗率（%）	-	24	100							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組	児童発達支援センターの事務室の狭隘について、職員の職務環境を改善するため既存の事務室を増築する拡張工事を検討し、工事費の算出、必要な備品（机、椅子、ロッカーラ等）の確認及び費用の算出を行いました。			・現状	事務室拡張に当たり、敷地の確保が完了しています。					
・評価	事務室拡張に当たり、隣接していた旧浄化槽の撤去工事が完了し敷地を確保しました。			・課題	職員が事務室内で作業する時間が重なると、スペースの確保が難しい現状は続いています。					
・課題に対する改善点	事務室が狭隘し、法定の職員一人当たりの職務環境が確保できていませんでした。そのため、増築部分の設計及び拡張の支障となる旧浄化槽の解体をして敷地を確保し、事務室の拡張に向けた整備を実施しました。			・取組	拡張工事が完了するまでは、児童の支援に伴う作業については事務室以外のスペースで作業するなど執務環境を工夫していきます。					

障害福祉サービスの充実											
児童発達支援センター整備費補助事業	障害児やその家族に対し専門的な支援を拡充するため、民設・民営の児童発達支援センターに対し、令和6年度からの開設に向け、建設費の一部を補助するものです。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
	障害者支援課	100,000		0	0	70,000	25,000	45,000			
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標			
	補助額(円)	-	-	-							
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
	<p>・取組 事業の完了が延びたため、令和5年度は事業の実施がありませんでした。</p>				<p>・現状 児童発達支援の必要なお子さんにそれぞれの特性を活かし支援を提供できるよう、事業者と協議していきます。</p>						
<p>・評価 事業の完了が延びたため、令和5年度は事業の実施がありませんでした。</p>											
<p>・課題に対する改善点 事業の完了が延びたため、令和5年度は事業の実施がありませんでした。</p>											
<p>・取組 令和6年度及び令和7年度中の開設に向けて、適切にスケジュールを管理します。</p>											
自立と社会参加の促進											
障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
	障害者支援課	189,104		188,410	14,810	147,927	98,021	49,906			
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標			
	委託相談員の人数(人)	5	6	11	相談支援を利用している障害者の人数(人)	2,870	2,899	3,000			
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
	<p>・取組 委託相談員の増員を図りました。また、失語症者のための意思疎通支援事業を開始しました。</p>				<p>・現状 移動支援や日中一時支援などの利用者に大きな変化はありませんが、地域課題を分析し、既存制度を充実させていく必要があります。</p>						
<p>・評価 意思疎通支援事業に失語症者を対象に加えて支援者派遣を行いました。また、相談員を1名増員し、相談支援体制を強化するとともに、重層的支援体制の構築に向け検討を重ねました。</p>											
<p>・課題に対する改善点 基幹相談支援センターや相談支援部会において、地域の事業者に対する研修会を開催し、支援の質の向上を図りました。</p>											
<p>・取組 移動支援や日中一時支援などの制度改正のため、地域の現状把握及び課題抽出を行い、必要な制度について検討していきます。</p>											
自立と社会参加の促進											
障害者成年後見申立て事業	成年後見制度が必要な知的障害者または精神障害者で、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋げます。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成することで制度の利用促進を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
	障害者支援課	5,192		3,047	3,526	4,184	1,921	2,263			
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標			
	市長申立て件数(件)	3	5	5	報酬助成の金額(円)	1,053,000	2,995,000	3,600,000			
	報酬助成申請件数(件)	5	12	15							
	令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 成年後見制度に関する相談に適切に対応するとともに、報酬助成の対象拡充に関し、市ホームページ等での周知に努めました。</p>											
<p>・評価 市長申立て以外の成年後見人報酬助成については、助成件数が少なかったため、制度を必要とする方への情報を届けるために更なる周知が必要です。</p>											
<p>・課題に対する改善点 成年後見推進センターと連携し、成年後見制度に関する取組みについて協議しながら、市長申立てや報酬助成による支援を行いました。</p>											
<p>・取組 報酬助成制度について、市ホームページでの周知を続けるとともに、研修会等において報酬助成度について啓発していきます。</p>											

施策 地域福祉

基本政策 誰もが自分らしく暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 健康福祉部

施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	52.8	55.5	54.8	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,861	1,883	1,950	人	-

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 複雑化・複合化した相談事例に対応できる重層的支援体制整備事業の導入に向けて、流山市生きづらさ包括支援事業実施計画（重層的支援体制整備事業実施計画）を策定し、令和6年度からの事業開始に向けて準備を進めました。また、避難行動要支援者の個別避難計画の作成に向けて、流山市避難行動要支援者避難支援計画改定案を福祉施策審議会で審議していただきました。</p> <p>・評価 流山市生きづらさ包括支援事業と個別避難計画作成という大きな2つの事業を実施するための準備が進捗した1年でした。</p> <p>・改善点 流山市生きづらさ包括支援事業の実施に向けて、関係機関への周知を進めました。日常的な見守りや災害時の避難支援等の地域における支え合い活動の普及に努めました。また、避難行動要支援者の個別避難計画の作成に向けて、流山市避難行動要支援者避難支援計画を改訂する準備を進めました。</p>	<p>・現状 市民が安心・安全に暮らせるよう民生委員・児童委員・自治会等の地域の担い手や警察・消防等の関係機関と連携を図っています。また、令和6年度から流山市生きづらさ包括支援事業を開始するとともに、避難行動要支援者の個別避難計画の作成にも取り組んでいます。</p> <p>・課題 生きづらさ包括支援事業を実施するにあたり、支援会議等を通じて、支援関係者間の顔の見える関係づくりが課題です。また、個別避難計画に関しては、作成の負担を軽減するとともに、対象者の家族状況や身体の状況により災害発生時の避難支援等実施者となつていただける方を決めることが困難であり課題と捉えています。</p> <p>・取組内容 様々な問題を抱える生活困窮者に対し、早期の自立に向けた支援を継続して行っています。生きづらさ包括支援事業においては、支援会議及び重層的支援会議を通じて、支援関係者間の関係づくりを進めています。また、個別避難計画作成が難航する方には、支援を行っていきます。</p>

地域福祉の推進

福社会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福社会館の改修を行います。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
社会福祉課	7,120		13,253		12,980	24,962	17,500				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
改修工事件数（件）	9		6	福社会館延べ利用人数（人）		262,980	279,077				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 下花輪福社会館本館受水槽外部塗装工事、同館高圧気中荷負開閉器更新工事、流山福社会館1階、2階廊下カーペット工事、南及び向小金福社会館車止め設置等工事、赤城福社会館高木伐採伐根及びアスファルト整地工事を実施しました。	<p>・現状 特殊建築物の定期報告調査の結果に基づき、必要な修繕及び工事を施行し年内に完了するよう取り組みます。</p>										
・評価 年度当初に予定していた改修工事等は完了しました。また、突発的な修繕工事にも年度内で対応し、利用者の利便性向上を図りました。	<p>・課題 計画的に改修工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮します。</p>										
・課題に対する改善点 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しました。	<p>・取組 思井福社会館屋上防水工事、流山福社会館外装塗装改修及び防水工事、野々下福社会館空調機器増設工事を実施します。</p>										

地域福祉の推進

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
福祉政策課	6,621		6,159		10,578	14,112	2,974				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
支え合い活動対象者名簿登載者数（人）	12,929	13,535	14,000	地域支え合い活動協力自治会等数（件）		123	125				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 地域での支え合い活動の取組みや災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなどし、孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進しました。	<p>・現状 自治会等と協定を締結し、支え合い活動対象者名簿を提供することで、日常からの地域支え合い活動を支援しています。</p>										
・評価 新たに2自治会と協定を締結し、支え合い活動対象者名簿を提供したほか、流山市避難行動要支援者避難支援計画を改定する準備を進めました。	<p>・課題 災害時に自力での避難が困難な避難行動要支援者の個別避難計画作成を進めることが課題です。</p>										
・課題に対する改善点 地域において支え合い活動の継続、発展を図っていくため、自治会等の支援関係者への事業の周知に取り組みました。	<p>・取組 避難行動要支援者の方々に順次働きかけを行い、個別避難計画作成を進めています。</p>										

地域福祉の推進

重層的支援体制整備事業	既存の制度の狭間あるいは複雑化・複合化した課題を抱える市民に支援を届けるため、生きづらさ包括支援事業（重層的支援体制整備事業）を実施します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
福祉政策課	0		0		14,104	26,604	19,851	6,753
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
「新たな機能」で取り扱った相談件数（件）	-	-	20	「新たな機能」で状況改善がみられた件数（件）	-	-	-	2
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和6年度からの流山市生きづらさ包括支援事業の実施に向けて、実施計画の策定や、支援関係者等への事業の周知に努めました。							・現状
・評価	実施計画の策定や事業の周知を通じて、令和6年度からの事業実施の基礎を築いた1年でした。							これまでの分野別の相談支援では解決が困難な複雑化・複合化した課題を解決するため、各部署の垣根を超えた生きづらさ包括支援事業が開始されています。個別支援と地域支援を一体的に取り組むことで、地域共生社会の実現を目指します。
・課題に対する改善点	流山市生きづらさ包括支援事業実施計画（重層的支援体制整備事業実施計画）を策定したほか、庁内外の支援関係者への事業の周知を行いました。							・課題
	既存事業に多機関協働事業、アウトーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業という「新たな機能」を加えて一體的に実施するとともに、庁内外の支援関係者間の顔の見える関係を作り、円滑な支援実施に結び付けることが課題です。							既存事業に多機関協働事業、アウトーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業という「新たな機能」を加えて一體的に実施するとともに、庁内外の支援関係者間の顔の見える関係を作り、円滑な支援実施に結び付けることが課題です。
・取組	支援会議や重層的支援会議を定期開催することで、支援関係者間の顔の見える関係づくりに取り組んでいます。							支援会議や重層的支援会議を定期開催することで、支援関係者間の顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

生活困窮者支援

生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
社会福祉課	38,952		38,953		7,052	52,918	39,320	13,598
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
自立支援相談件数（件）	205	185	195	プラン作成件数（件）	-	65	57	61
住居確保給付金支給件数（件）	36	27	31	令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	自立に向けた包括的・継続的な支援を行いました。							・現状
・評価	自立に向けた包括的・継続的な支援を行いました。生活困窮者に対し専門員による細やかなプラン作成を行いました。							問題を抱える生活困窮者に対し、継続した支援を行います。
・課題に対する改善点	新規相談件数は減少傾向にありますが、就労支援を中心に他制度や他機関へのつなぎ及び情報提供・相談説明を行い、幅広い分野で支援が繋がるよう努めました。							・課題
	様々な状況を抱えた生活困窮者の個々の状況を把握し、状況に応じた支援を行う必要があります。							・取組
・取組	自立に向けた包括的・継続的な支援を行っていきます。生活困窮者の更なる把握に努め解決を目指します。							自立に向けた包括的・継続的な支援を行っていきます。生活困窮者の更なる把握に努め解決を目指します。

生活困窮者支援

生活保護法等に基づく扶助事業	生活保護受給者に各種扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
社会福祉課	3,099,550		3,382,108		159,948	3,340,000	2,575,695	764,305
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
生活保護受給者数（人）	1,883	1,950	2,008	保護率（%）	-	0.89	0.92	0.95
自立支援プログラム相談回数（被保護者就労支援事業分）（回）	169	158	162	自立支援プログラム利用後、就労に至った人數（人）	-	1	-	3
・取組	ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行いました。							・現状
・評価	最後のセーフティネットとしての役割を果たしています。							就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、生活保護受給者の経済的自立の支援を図ります。
・課題に対する改善点	就労が困難な方が長期で生活保護を受給している状況が続いていましたが、自立への動機付けるケースワークを行い、延べ44名の方をハローワークの就労支援に繋げました。							・取組
	ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。							ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。

生活困窮者支援

被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず、医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。							
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
社会福祉課	0	0	706	2,420	1,815	605			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
健診受診勧奨(人)	1,472	1,436	1,516	検診受診者数(人)		125	131		
令和5年度の取組みと評価・改善点		令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状								
必要に応じ通院同行を行い日常生活の自立を促進しました。		健康課題が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。							
・評価	・課題								
被保護者と協力して、一朝一夕では解決しない課題に根気よく対応しました。		長期的な支援が必要となっています。							
・課題に対する改善点	・取組								
調査結果に基づき、対象者の担当ケースワーカーが訪問時に健康状態の把握に努め、場合によっては通院同行をするなど支援しました。		必要に応じ通院同行を行い、生活習慣病等の予防や重症化予防に努め、日常生活の自立を促進します。							

施策 共生社会

基本政策 誰もが自分らしく暮らせるまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 総合政策部

施策の目的

すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.6	86.6	85.5	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	3,190	3,477	3,778	人	-

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 男女共同参画、多様性への理解を促進し、NPO法人等と連携、協力して、各事業を実施しました。また、流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例第6条第5項に規定する、多様な生き方を選択できる環境づくりの一つとして、流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度を開始しました。	・現状 子育て世代をはじめ、年少人口、在住外国人が増加しています。こうした中、多様性を尊重合う機運をさらに醸成するため、啓発活動を継続する必要があります。また、在住外国人や女性の不安や悩みに寄り添う相談窓口をNPO法人と連携して取り組む必要があります。
・評価 男女共同参画啓発講座を延べ18回、多文化共生に関する啓発イベント等を3回実施し、参加者から高い満足度を得られました。また、SDGsや男女共同参画、多文化、平和に関するポスター・パネル展を実施し、周知啓発を図りました。	・課題 市民が多文化共生や平和、男女共同参画により、興味や関心を持ってもらうために、事業の内容や周知方法の工夫改善が必要です。在住外国人向けに、やさしい日本語の普及促進を図る必要があります。また、平和の大切さについて考える機会の確保が必要です。令和5年4月1日に施行した流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例及び令和6年2月1日から開始した流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度を周知する必要があります。
・改善点 SDGs及び平和に関するポスター・パネル展の実施会場においては、民間の大型店舗を活用するなど広く市民の目にとまるよう工夫しました。また、流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例制定記念講演会を開催し、条例について周知することができました。	・取組内容 流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例及び流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度の周知啓発や男女共同参画講座の内容充実を図るとともに、第5次男女共同参画プランを策定します。また、平和施策では、平和ポスター展やユニセフ平和教室等の実施により次世代を担う子どもたちをはじめ、幅広い世代と平和の尊さ、命の大切さを共有します。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

人権啓発活動活性化事業	法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算				
秘書広報課	858		713		2,116		0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)	-	3	-	人権フェスティバルの参加人数(人)	-	353	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 これまで2月に実施していた小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を、各小学校と協議し、令和5年度は夏に実施しました。また、12月の人権週間では、「人権フェスティバル」を開催しました。	・現状 令和6年度は、本事業の実施予定はありません。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を探っているため。）										
・評価 9月に小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を、12月に「人権フェスティバル」を開催した結果、約350名の方に来場いただき多くの方に人権啓発することができました。	・課題 令和6年度は、本事業の実施予定はありません。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を探っているため。）										
・課題に対する改善点 コロナが5類になり、これまで開催できていなかった小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を9月に開催することができました。また、12月に「人権フェスティバル」を開催しました。	・取組 令和6年度は、本事業の実施予定はありません。（県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施の方式を探っているため。）										

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

男女共同参画社会づくり事業	第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るために各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算				
企画政策課	4,819		4,213		14,104		4,366				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	17	18	17	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)	-	44.01	43.70				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 流山市多様性を尊重する社会の推進に関する条例について、市民向けの記念講演会の実施及びリーフレットの作成を行い周知啓発に努めました。また、本条例に規定する多様な生き方を選択できる環境づくりの一つとして、流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度を開始しました。	・現状 令和5年度のまちづくり達成度アンケートの結果、市民の男女平等感の項目別では、「家庭のなかで」及び「学校教育の場で」について平等感が増加ましたが、「社会通念・慣習で」についての平等感は変わらず低く、全体としては前年より低い数値となりました。										
・評価 流山市パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度について、広く市民等の理解を深めるために、広報やホームページへの掲載、チラシの作成及び職員や事業者等に対し説明会を実施しました。また、男女共同参画に関する啓発講座については参加者から高い満足感が得られました。	・課題 男女平等感の向上のため、男女共同参画に関する周知啓発を継続するとともに、性別等の違いにかかわらず多様性を理解するための普及啓発を行っていく必要があります。また、審議会等委員の女性委員割合の目標値を全庁で共有し、委員選任時には女性比率向上に向けた担当各課での意識的な取組が必要です。										
・課題に対する改善点 社会通念・慣習における男女平等感の向上のため、性別等の違いにかかわらず多様な生き方を尊重するための施策に取り組み、啓発を行いました。また、審議会等委員の女性委員割合の目標値を全庁で共有し、委員選任時には担当課で対策等を検討しました。	・取組 改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後には結果を検証します。また、多様性を理解するための普及啓発を継続するとともに男女共同参画社会の実現に向けて第5次男女共同参画プランの策定を進めます。										

多文化共生社会づくり

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
企画政策課		1,475		1,443	2,821	1,622	1,621	1			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	46	82	83	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)		86.6	85.5	87.0			
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数(回)	3	3	4								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	令和6年度の現状										
在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、流山市国際理解サポートセンターを設置しています。NPO法人流山市国際交流協会に運営を委託し、相談窓口のほか、市民便利帳の翻訳など、外国人住民が暮らしやすい環境整備に向けた取組を実施しました。	令和6年4月1日現在、在住外国人は、3,778人、1,852世帯です。令和6年度は引き続き流山市国際理解サポートセンター運営等業務をNPO法人流山市国際交流協会に委託します。										
・評価	・課題										
流山市立森の図書館でやさしい日本語パネル展を行い、市民に「やさしい日本語」について、周知を図りました。また、「やさしい日本語講座では、参加者から「外国人の立場になって考えるよい機会となった。」等の好意的な意見がありました。	市民が外国人住民に親しみを持ち、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。市が情報を発信する際に使用してほしい言語として「やさしい日本語」を選ぶ在住外国人も多く、今後も「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。										
・課題に対する改善点	・取組										
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっていた多文化共生普及啓発講座を、4年ぶりに対面で実施し、市民の多文化共生意識の啓発を促進しました。	在住外国人だけではなく、地域における共生を推進するために国籍にかかわらず、寄り添った相談を行うことができるよう、流山市国際理解サポートセンターの受託者と連携します。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施するほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を実施します。										

平和施策の推進

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使事業、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
企画政策課		2,372		1,942	4,937	2,378	700	1,678			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
平和施策に関するホームページの閲覧数(回)	1,998	1,624	1,700								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状										
平和大使事業やユニセフ平和教室を通して、子どもたちが平和について学び、考える機会を提供しました。また、平和ポスター展をイトーヨーカドー流山店及び流山市立森の図書館で開催し、幅広い世代の市民に向けて、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える機会としました。	若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについて、平和大使事業や平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などに継続的に取り組んでいきます。										
・評価	・課題										
8月5日、6日に、平和大使の広島派遣を実施し、参加した児童からは、「原爆の恐ろしさや、絶対に戦争をしてはいけない」ということを改めて感じた。今後も広島で学んだことを、周りの人伝え続けていきたい。」等の好意的な意見をいただきました。	平和について考える機会を多く提供するとともに、平和の大切さについて考える機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中で、市としてできる平和への取組について検討を要します。										
・課題に対する改善点	・取組										
新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた平和大使の広島派遣を、4年ぶりに実施しました。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化し、終息が見えないことから、避難民への支援を延長することとしました。	平和大使事業では、平和学習を通じて平和の大切さについて考える機会を提供します。また、次世代に平和の想いを繋ぐため、広島・長崎の原爆被害の実相や現在の兵器の状況についてのポスター展を実施します。										

施策 子ども・子育て

基本政策 子どもをみんなで育むまち

IV 施策分野別評価表

主管部局 子ども家庭部

施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	36,994	38,314	39,388	人	-
合計特殊出生率	15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ど�数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はR2、R3、R4のもの	1.55(※)	1.56(※)	1.50(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	70.2	67.2	66.4	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点

令和6年度の現状・課題・取組み

・取組内容	・現状
子育てサポート体制の一環として「第2期子どもをみんなで育む計画」の改定に向けては、「こども基本法」（令和5年4月1日施行）を踏まえて、子どもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるための取組を進めました。また、児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化に努めました。	令和7年度から令和11年度を計画期間とする「（仮称）流山市こども計画」は、「子ども・子育て支援事業計画」、「子ども・若者計画」及び「子どもの貧困対策計画」を一体的に作成します。
・評価	・課題
児童や保護者と接する機会がある機関の職員を対象にDVを含めた児童虐待に関する研修会を開催するなど関係機関との連携強化を図りました。子どもをみんなで育む計画を包含する「（仮称）流山市こども計画」の策定のために、こども・若者からの意見募集や流山市こども会議を開催しました。また、基礎調査として、こどもの生活状況に関する実態調査やこども・若者意識調査を実施し、こどもや子育て当事者等の意見聴取を行いました。	こどもや子育て当事者等から聴取した意見を計画に反映する方法について検討する必要があります。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するため、引き続き児童虐待に関する意識啓発や対応する職員の研修、関係機関との連携強化を図る必要があります。
・改善点	・取組内容
子育て世帯の増加などにより保育需要の増加が見込まれましたので、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりに取り組みました。また、増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援の提供に努めました。	ニーズ調査や、ヒアリング、こどもワークショップ等を実施し、こどもや子育て当事者等の意見を取り入れながら、計画の策定に取り組んでいきます。また、子ども家庭センター設置に向けて検討を進めます。

子どもを産み育てやすい環境づくり

地域子育て支援センター事業費補助事業	市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。令和6年度には、市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。							
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
子ども家庭課	0	143,914	2,116	124,952	89,609	35,343		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
地域子育て支援センターの施設数（箇所）	11	11	13	職員に気兼ねなく相談ができ、子育てに必要なサポート体制があると回答した割合（%）	87.1	82.6	85.0	
地域子育て支援センターの利用者数（人）	37,932	38,212	42,000					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状							
毎月の業務報告書類や年間の実績報告書類等の適切な記入方法等について、個別に指導を行いました。	令和6年度については、引き続き市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。また市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。							
・評価	・課題							
報告漏れについて、防止することが出来ました。	地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制の整備が必要となります。							
・課題に対する改善点	・取組							
毎月の業務報告書類や年間の実績報告書類等の適切な記入方法等について、理解が進んでおりず、書類提出後の記載内容の訂正が数多くありました。研修時や事務連絡の際に指導を行ったことで、提出後の内容訂正が少なくなりました。	地域子育て支援拠点の実施状況の確認方法について、現地確認の実施を検討します。							

子どもを産み育てやすい環境づくり

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援及び育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大しています。							
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
子ども家庭課	19,090	18,545	3,526	19,145	11,800	7,345		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
ファミリー・サポート・センターの利用実績（件）	6,867	7,800	8,300	ファミリー・サポート・センターのマッチング件数（件）	236	301	320	
ファミリー・サポート・センターの登録者数（人）	2,330	2,432	2,500					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状							
請求書の出し忘れ等を防止するために、窓口及びホームページにて周知しました。	令和6年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。							
・評価	・課題							
窓口及びホームページにて周知したことで、利用者の申請漏れを防ぐことができました。	利用助成の請求については、利用後1年内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。							
・課題に対する改善点	・取組							
利用料助成に係る請求書の出し忘れ防止について、窓口及びホームページにて周知を行ったところ、令和5年度については、請求期限を経過し利用料助成を受け取ることができない方は、確認されませんでした。	引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底します。							

子どもを産み育てやすい環境づくり

子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減を図るために、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生までから高校3年生までに拡充しています。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	1,086,956		1,374,159		7,052	1,142,902	386,004	756,898
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
子ども医療扶助の額(千円)	968,769	1,320,737	1,092,402	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じる者の割合(%)		65.2	57.4	65.5
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	保護者の経済的負担の軽減を図るために、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生までから高校3年生までに拡充することについて、関係部署や関係機関との協議を行い、令和5年8月から対象を拡充した内容で適正に助成を行ってきました。							
・評価	システム改修などの流れを円滑に実施し、高校3年生(18歳年度末)までの対象者に対して、適正に助成を行うことができました。							
・課題に対する改善点	新たに助成を開始する高校3年生(18歳年度末)までの対象者に対して、適正に助成するよう規則改正をはじめシステム改修、償還払い、現物給付などの流れ等を確認する必要があります。今後も引き続き、適正な助成に努めています。							
・現状	令和5年4月診療分から対象年齢を高校3年生(18歳年度末)まで拡充し、子ども医療費の助成を行っています。							
・課題	転入、出生等で子ども医療費の申請受付を行っている市民課各出張所に対し、より深く制度について周知が必要です。							
・取組	各出張所に対して、改めて制度の周知を図るため、さらにわかりやすい資料の作成を行なうなど、制度の周知に努めます。							

子どもを産み育てやすい環境づくり

育児支援等サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。(※組織改編による事業見直しにより、令和5年度より単独の事業となりました。)							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
健康増進課	6,190		5,608		7,052	6,580	2,541	4,039
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
申請者数(人)	278	270	300	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.40	93.44	95.00
延べ利用時間(時間)	1,470	1,696	1,850					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	母子健康手帳交付時の面談で全妊婦に対して事業を周知するとともに、親族等からのサポートが得られず不安を抱えている妊産婦に対しては、事前の申し込みを促し、必要時に速やかに本事業を利用できるよう案内しました。また、市からの支援が必要と思われる妊産婦がいた場合は、委託事業者と情報共有し、早期に介入できるように努めました。							
・評価	母子健康手帳交付時の面談のほか、電話相談や妊産婦訪問、妊娠7・8ヶ月アンケートの面談等の機会を利用して本事業を案内し、申請や利用につなげることができました。委託事業者と情報共有等により、連携した支援を行うことができました。							
・課題に対する改善点	妊娠早期から産後の生活に不安を抱く妊婦が増加しており、妊娠中から産後の生活の不安軽減に向けて個々の状況に応じた支援を行いました。							
・現状	親族等からサポートが得られず、産前産後の生活に不安を感じる妊産婦が昨年と変わらず一定数いる状況です。							
・課題	支援を要する妊産婦の一因として親族等からの産前産後のサポート不足によるものがあり、個々の状況に応じた時期に必要な社会資源やサービス等の案内をする必要があります。							
・取組	妊婦に対しては、母子健康手帳交付時の面談で事業を周知するとともに、電話相談や妊娠7・8ヶ月アンケートにて親族等からのサポートが得られない方を把握した際には、事前の申し込みを促します。産婦に対しては、産後の訪問等でサポート不足の方を把握した際に本事業を再度案内し申請を促します。							

子どもを産み育てやすい環境づくり

子どもをみんなで育む計画推進事業	子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定された各種施策を推進し、本市における子ども子育て支援の一層の推進を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	8,408		2,033		14,104	6,833	1,500	5,333
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
こどもワークショップの開催数(回)	-	-	2					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	ニーズ調査や子どもの生活実態調査と合わせて、子どもや若者の意見を聴取する仕組みづくりの構築に努めました。							
・評価	こども・若者からの意見募集の実施、流山市こども会議の開催などを行い、こどもや若者の意見を聴取しました。							
・課題に対する改善点	令和5年度は、(仮称)流山市こども計画の策定にあたり、こども・若者からの意見募集、流山市こども会議を開催し、意見を聴取しました。また、計画の基礎調査として、こどもの生活に関する実態調査やこども・若者意識調査を実施しています。							
・現状	(仮称)流山市こども計画の策定にあたり、こども・若者からの意見募集、流山市こども会議を開催し、意見を聴取しました。また、計画の基礎調査として、こどもの生活に関する実態調査やこども・若者意識調査を実施しています。							
・課題	こども・若者から提案のあった意見等について、こども施策への反映方法を検討します。							
・取組	令和6年度は、ニーズ調査やこどもワークショップを実施し、こどもや若者、子育て当事者等の意見を取り入れながら、(仮称)流山市こども計画を策定します。							

子どもを産み育てやすい環境づくり											
妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目がない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
健康増進課	257,354		226,871		35,260	230,459	8,133				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.40	93.44				
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		76.43	79.46				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	身近な相談先である保健センターと南流山センター内の子育てなんでも相談室が、支援を必要とする方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図りました。										
・評価	様々な社会資源を必要とする妊産婦に対しては、関係機関と連携し必要な時期に必要な支援を行なうことができました。										
・課題に対する改善点	妊産婦は様々な要因により支援を要していることから、個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行いました。										
・現状	妊産婦が支援を要する要因は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々であることから、母子健康手帳交付時の面談や電話相談、妊娠7・8か月アンケート後の電話や面談で個々の妊産婦の状況を把握し、支援の必要な妊産婦に対して支援を行っています。										
・課題	妊産婦の個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行う必要があります。										
・取組	産後ケア事業の対象者を拡充する等の支援の強化を図ります。また、妊産婦に対し、各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、個々の状況に応じた支援を行います。										
子どもを産み育てやすい環境づくり											
出産・子育て応援給付金事業（子ども家庭課）	令和4年度第2次補正予算の閣議決定により、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うことを目的とした「出産・子育て応援交付金」が創設されたことに伴い、妊婦等に対し、合計10万円相当の経済的支援を行います。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
子ども家庭課	305,650		463,479		14,104	281,453	234,541				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
出産・子育て応援給付金扶助費の額(千円)	1,450	417,400	240,000	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じる者の割合(%)		65.2	57.4				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を適正かつ迅速に支給しました。										
・現状	本年度以降も引き続き、適正かつ迅速な出産・子育て応援給付金の支給に努めます。										
・評価	それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金について、関係各課と連携を図り、適正かつ迅速な支給が実現できました。										
・課題	令和7年度から予定されている制度の恒久化に向けて、予算措置の確保や市民への周知を進めいく必要があります。										
・課題に対する改善点	健康新祉部と役割分担をして事業を進め、実績報告についても分担して行なうことができました。今後もより円滑な給付に向けて、関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。										
・取組	適正な予算編成に取り組むとともに、広報・ホームページを通じて市民への周知を進めます。										
子どもを産み育てやすい環境づくり											
出産・子育て応援給付金事業（健康増進課）	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を目的に、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施します。										
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
健康増進課	16,459		11,574		35,260	18,284	13,708				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.40	93.44				
妊娠7・8か月アンケート回収率(%)	56.93	84.65	85.00	令和5年度の取組みと評価・改善点							
・現状	新たに開始した、妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てができるよう支援しました。										
・課題	母子健康手帳交付時や出産後の訪問時に面談を実施し、経済的支援に関する申請書を配布しています。また、妊娠7・8か月時にアンケートを送付し、アンケートの回答内容で心配事や困り事の記載をされた方に対し、電話や面談を行い支援しています。										
・評価	妊娠7・8か月アンケートにより、出産予定日の近づいた妊婦の状況を把握することができました。その中でも支援を要する方には、産後ケア事業や育児支援等サービス事業等を早期に案内することができました。										
・課題に対する改善点	妊娠7・8か月アンケートにより、出産予定日の近づいた妊婦の状況を把握することで、安心して出産・子育てができるよう妊娠期だけではなく、出産後も継続的に支援をしていきます。										
・取組	妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てができるよう妊娠期だけではなく、出産後も継続的に支援をしていきます。										

保育サービスの充実

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。											
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
保育課	96,212		98,032		3,526	99,010	50,189	48,821				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標				
送迎保育ステーションの設置数（か所）	2	2	2	延べ利用数（人）		14,571	16,824	17,000				
送迎バスの台数（台）	8	7	7	待機児童数（人）※翌年度4月1日時点		-	-	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組	・現状											
流山おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担を軽減しました。	待機児童がゼロの状況を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。											
・評価	・課題											
本事業の実施により、増え続ける保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。	引き続き安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。											
・課題に対する改善点	・取組											
待機児童がゼロの状況となっているものの、継続した利用が見込まれるため、安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減に努めました。	昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。											

保育サービスの充実

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病気中・病回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。											
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
保育課	65,257		65,315		2,116	67,723	27,994	39,729				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標				
病児及び病後児保育実施園数（園）	3	3	3	延べ利用者人数（人）		173	531	600				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組	・現状											
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度から行っていた利用制限を解除し、より多くの方が利用できるよう取り組みました。	令和3年度から行っていた利用制限を令和5年度に解除し、従前と同等の条件で受け入れ可能となったことで、制度の概要や利用方法等詳細についての問い合わせが増加しています。											
・評価	・課題											
利用児童数が前年度比約3倍に増加し、過去最高を更新しました。今後に関しても利用しやすいよう調整し、より多くの方が利用できるような環境づくりに努めました。	令和5年度のアンケートの際は、約20%の方が制度そのものを認知していない状況であり、周知方法について改善の余地があると考えられます。											
・課題に対する改善点	・取組											
令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法における分類が第5類へ引き下げされたことに伴い、預かり対象拡大について検討を行いました。	ホームページ、SNS、紙媒体等、それぞれの特性を踏まえながら、制度の周知について改善を図ります。											

保育サービスの充実

保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。											
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
保育課	26,000		25,531		706	19,000	0	19,000				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標				
改修箇所数（箇所）	2	2	2	公立保育所利用者数（人）※4月1日時点		503	551	600				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組	・現状											
老朽化した空調機の更新工事について、計画通り入札を執行しました。	保育施設の老朽化が進んでいます。											
・評価	・課題											
中野久木保育所及び江戸川台保育所で、安全かつ快適な保育が出来る環境整備が図られました。	児童が安全安心な環境下で保育を受けられるよう施設改修を行う必要があります。											
・課題に対する改善点	・取組											
早期に更新工事が完了できるよう、事業者や保育所との調整を行いました。	老朽化した空調機について、引き続き計画に沿って更新していきます。											

保育サービスの充実

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
保育課	2,537,445		2,534,079		14,104	2,719,521	707,140	2,012,381
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
補助施設数(件)	96	96	98	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	保育所等と連携し、送迎用バスに安全装置を速やかに設置できるようにしました。			・現状 重度障害児や医療的ケア児の保育所等への受入れ促進を図ります。				
・評価	安全装置の設置が完了しました。			・課題 重度障害児や医療的ケア児の受入れに当たり、施設や備品等の整備をする必要があります。				
・課題に対する改善点	令和5年度から送迎用バスに安全装置の設置が義務付けされたため、送迎バスを利用している保育所等に補助金を交付し、安全装置の設置の促進を図りました。			・取組 新たに要配慮児童受入促進事業を新設し、保育所等の運営を補助します。				

保育サービスの充実

私立保育所整備補助事業	保育所の受入児童数の増加等を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
保育課	828,426		689,996		10,578	507,179	303,142	204,037
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
整備箇所数(カ所)	2	3	-	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	-	-
整備により増加した定員数(人)	135	138	-	令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めました。			・現状 必要に応じて、質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。				
・評価	新規の認可保育所2か所(定員106人増)、既存施設1か所増築(定員32人増)の整備を行い、待機児童がゼロになりました。			・課題 安全な保育を提供するために、施設が老朽化した認可保育所等の整備を行う必要があります。				
・課題に対する改善点	令和5年度も引き続き、待機児童をゼロにすることが課題であり、認可保育所等を整備した結果、待機児童ゼロになりました。			・取組 認可保育所等(法人)と十分に協議をし、遅延することなく、保育所の整備を進めていきます。				

学童クラブの充実

学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	189,889		172,952		18,067	214,609	123,785	90,824
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
研修開催件数(件)	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		50,983	69,775	77,255
				学童クラブの延べ利用人数(人)		33,638	39,025	42,927
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	支援員や補助員に対する研修の実施や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めました。			・現状 学童クラブの利用者数が増えており、利用者のニーズも多様化しています。併せて、支援員の数も増えています。				
・評価	アレルギー研修及び保護者とのコミュニケーションについて研修を行い、各法人のスキルアップを図りました。また、支援員や補助員に対する処遇改善を行うことができました。			・課題 学童クラブ利用者の多様化するニーズに応えることや、新しい支援員に対する研修等のアプローチが必要です。				
・課題に対する改善点	学童クラブ利用者からのアンケート結果を踏まえたテーマで、支援員等に対する研修を実施しました。また、支援員の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。			・取組 法人が抱えている課題をヒアリングし、必要な研修を行います。また、引き続き処遇改善を実施します。				

学童クラブの充実

学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、学童クラブの施設整備を行います。また、東小学校区学童クラブの排水施設整備工事を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	496,387		474,613		7,052	30,403	8,176	22,227
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,748	3,748	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	39	39					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	各種工事を遅延なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えるよう整備を進めました。			・現状	荒天時に水がたまりやすい箇所があることから、東小学校区学童クラブにおいて排水施設の整備が必要な状態です。			
・評価	市野谷小学校区学童クラブと南流山第二小学校区学童クラブを令和6年4月1日より開設することができました。			・課題	学童クラブの運営に支障がないように、東小学校区学童クラブにおける排水施設の整備工事を行う必要があります。			
・課題に対する改善点	学校施設と同時に整備することから、関係機関と調整をとり、計画的に進めていくことが課題であり、そのため関係者との協議を繰り返し行い情報共有を図った結果、予定どおり整備することができました。			・取組	東小学校区学童クラブ排水施設整備工事を実施します。			
養育環境への配慮								
ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しています。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	57,086		54,016		10,578	60,086	45,064	15,022
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
利用者数(人)	122	120	140	学習の習慣がついたと回答した児童の割合(%)		58.60	52.17	80.00
協力塾数(件)	64	67	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童の割合(%)		82.80	60.87	90.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	報告書等の簡素化を目指すとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けました。			・現状	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾に通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期期間及び冬期期間についても、追加で支援しています。			
・評価	市内学習塾に対し、当該事業への協力を積極的に呼び掛けるとともに、当該事業の理解促進に努めました。			・課題	利用できる子どもを増やすために、協力塾を増やす必要があります。			
・課題に対する改善点	電子メールによる報告書等の提出や、手続等の簡素化について周知し、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けた結果、協力塾が増加しました。			・取組	報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。			
養育環境への配慮								
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	10,589		9,774		84,624	12,127	3,856	8,271
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		91	100	91
研修開催回数(回)	2	2	2					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行いました。			・現状	児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向にあります。地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。			
・評価	専門職を増員配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携や研修会・個別支援会議を開催しました。			・課題	増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守るとともに、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。			
・課題に対する改善点	増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するため、対応する職員を増員し相談体制の強化を図りました。			・取組	子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。			

青少年の健全育成の促進

青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
文化芸術・生涯学習課	5,411		5,427		0	6,546	0	6,546			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
相談件数(件)	55	61	-								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室により積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めました。										
・評価	平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数には結び付きました。										
・課題に対する改善点	相談室により年4回発行し、市内小・中・高等学校や公民館、図書館等へ配布し、相談室の周知を図りました。また、相談内容に応じて適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関の情報収集に努めました。										
・現状	平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しています。これに加え、令和4年度は休日に6回、令和5年度は平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数に大幅な増減はありませんでした。										
・課題	より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。										
・取組	スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。										

主管部局 学校教育部

施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	71.0 64.0	67.0 58.3	68.0 60.3	%	全国平均、県平均を上回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	12,356 4,750	12,979 4,915	13,512 5,121	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）※小学校、中学校	5,765 594	4,954 475	4,427 407	件	↓

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 「いじめ認知アンケート」の実施等を通じて、いじめの積極的な認知を図るとともに、小学校・中学校でいじめについての特別授業及び教員研修を行い、いじめの未然防止に努めました。全国学力・学習状況調査については、教務主任・研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげました。	・現状 児童生徒数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ件数は、以前に比べ高い水準にあります。全国学力・学習状況調査の平均正答率は小学校、中学校ともに市の平均が全国を上回っていますが、記述式における無解答率を改善するための、授業改善につなげます。
・評価 いじめをはじめ、児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、引き続きスクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用しながら、児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めました。教務主任・研究主任研修を通して、流山市としての課題を確認して授業改善につなげました。	・課題 いじめの早期発見・早期解決・未然防止のため、学校現場において積極的にいじめ認知を行い、適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。全国学力・学習状況調査については、算数の記述式において無解答率の高い問題があることから課題であるため、継続して分析をしていきます。
・改善点 いじめは重大化・深刻化しないよう、早期発見・早期対応が肝要であることから、小さなトラブルでもいじめの根源と考え、積極的に認知を行うとともに、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、トラブル解消に努めました。全国学力・学習状況調査については、記述式における無解答率が高いことが課題であるため、無解答率や誤答率の高い問題に着目して分析を行いました。	・取組内容 いじめ事案が重大化・深刻化しないよう、学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、スクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。教務主任・研究主任研修だけでなく、教師力アップ講座などの若手研修を通して、授業改善に取り組んでいきます。

確かな学力の育成

小中学校外国語教育推進事業	小中学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのティームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。中学校には、全10中学校に1名ずつALTを配置します。（令和6年度から小中学校の同事業を統合し、「小中学校外国語教育推進事業」としました。令和5年度までは、「小学校英語活動推進事業」の実績が記載されています。）							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	
指導課	65,415		65,415		7,052	108,406	0	
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	
小中学校ALT配置数（人）	10	10	20	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（%）		98	98	
英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	11,760	11,620	12,635					
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組 授業参観や研修会をとおして、ALT等を活用した英語を聞く、話す活動の充実及び、授業における指導と評価の一體化に取り組みました。	・現状 小学校では、英語指導員スーパーバイザーを活用し、市内統一した形でのティームティーチングの授業の型ができつつあります。中学校では、ALTとのコミュニケーションを通じて異文化理解を深めるなど、効果的な活用が図られています。							
・評価 小学校では、英語指導員スーパーバイザーの授業参観等をとおして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALT個々を生かしながら、生きたコミュニケーションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。	・課題 小学校では、ALT等と連携しながら、学習のねらいに即した授業づくりを行うことが課題です。中学校では、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の視点を持ち、質の高い授業づくりを行うことが課題です。							
・課題に対する改善点 学習課題に対する適切な活動の設定と評価についての理解が深まりました。	・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組んでいます。							

確かな学力の育成

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源		
指導課	27,609		27,609		7,052	33,662	0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績		
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）(校)	1.5	1.5	1.2	小学校図書貸出冊数（R6.3月）(冊)		350,000	320,000		
令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。	・現状 学校図書館司書の増員や、図書の充実を図ることにより、充実した学校図書館教育を目指しています。								
・評価 インターネット百科事典が導入され、各教科で探究的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。	・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。								
・課題に対する改善点 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。	・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。								

確かな学力の育成

中学校ALT配置事業	外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。																
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源									
指導課	41,256		41,256		7,052	0	0	0									
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標									
中学校ALT配置数（人）	9	10	-	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（%）				62	62	-							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み													
・取組	外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を目指しました。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図るとともに、英語を聞く、話すという取り組みを強化しました。																
・評価	全小中学校に配置されたALTが、外国語の授業だけなく、学校生活のなかでの児童生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を促すことができました。																
・課題に対する改善点	英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすること、ICTの活用のタイミング、またその評価について理解を深めました。																
・取組	本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。																
・現状	本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。																
・課題	本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。																

確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。																
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源									
指導課	17,741		17,741		7,052	19,977	0	19,977									
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標									
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数） (校)	1.7	1.5	1.4	中学校図書貸出冊数（R6.3月）（冊）				31,000	35,000	35,000							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み													
・取組	学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。																
・現状	学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しています。システムの更新に伴い、生徒がよりスマーズに本の検索ができるように環境を整えます。																
・評価	インターネット百科事典が導入され、各教科で探究的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。																
・課題に対する改善点	さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。																
・取組	図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。																
・課題	さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。																

確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。																
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源									
指導課	8,283		8,283		14,104	9,534	6,050	3,484									
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標									
市内各中学校区本部設置数（校）	9	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数（1月まで）（人）				51,705	58,550	65,000							
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み													
・取組	学校へのヒアリングやコーディネーター研修会等を通して、各校の実態を把握することで、さらなる改善に努めました。																
・現状	コミュニティ・スクールの全10中学校への導入完了に向けて、準備を進めています。																
・評価	学校支援コーディネーターの尽力により、地域の人材を積極的に活用したことで、学校や子どもたちのニーズに合った支援を行いました。																
・課題	学校運営協議会において、学校の実情や地域の特色を生かした熟議というところまで進んでいないことが課題です。																
・取組	学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取り組みへの協議を実施します。																
・課題	学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取り組みへの協議を実施します。																
・取組	学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取り組みへの協議を実施します。																

確かな学力の育成

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課	22,470		22,021		7,052	47,123	0	47,123
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
民間委託実施校数（校）	1	7	13	一人当たりの実施回数（回）		3	3	3
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させました。			・現状	今年度は、新たに6校を追加して、計13校で実施する予定です。			
・評価	児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を受け、教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されたと、業務改善の一助となりました。			・課題	各学校からより近い委託業者を開拓するなどして、移動時間の短縮を図る必要があると考えます。			
・課題に対する改善点	令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓を行いました。			・取組	天候に左右されず実施でき、インストラクターの専門的な指導を受けられるという民間委託のメリットを活用し、子どもたちの充実した学習につなげていきます。			

教育環境の整備

I C T 学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課	490,354		490,354		14,104	409,710	16,545	393,165
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数（台）	17,995	18,471	19,194	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数（人/台）（人）		1	1	1
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	ICT教育推進リーダーの育成を図るため、計画的に研修会を実施しました。各研修会において、ICT機器の効果的な活用事例を紹介し、活用促進に努めました。			・現状	ICT教育推進リーダーの育成に引き続き取り組む必要があります。他地域や各学校での効果的な活用について情報発信に努め、活用促進を図る必要があります。			
・評価	研修の機会を設定し、各校でICT教育推進の中心となる人材の育成に努めた結果、市で導入している学習支援ソフトの活用率が向上しました。			・課題	職員により、ICT活用に差がある実情を打破することが課題です。			
・課題に対する改善点	全体のICT活用率は向上しましたが、職員により差があるため、活用する側のニーズ把握に努めました。プログラミング教育については、事例を蓄積し流山独自のカリキュラムを作成中です。			・取組	研修を実施する際、研修内容について工夫します。例えば、初級・中級・上級等の活用レベル別や教科別等、活用する側のニーズにあった研修を実施していきます。ICT機器環境の整備についても、ニーズにあった内容を計画的に整備していくよう努めます。			

教育環境の整備

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	107,559		845,275		21,156	14,515	14,515	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ロッカー改修を要する教室数（室）	-	304	262	ロッカー改修教室数（室）		-	42	36
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。			・現状	教室ロッカーの改修は児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。			
・評価	屋内運動場への空調機設置やエレベーター増設の補正予算事業も遅滞なく完了できました。			・課題	改修を要するロッカーの全てを早期に完了させる必要があります。			
・課題に対する改善点	安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。			・取組	複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。			

教育環境の整備

中学校校舎等改修事業		中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		99,969		668,446		10,578	0	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
東深井中学校エレベーター 設計(%)		30	100	-	エレベーター整備台数(基)		-	1	-
東深井中学校エレベーター 増築工事(%)		-	100	-	令和5年度の現状・課題・取組み				
令和5年度の現状・課題・取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組					・現状				
学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。					西初石中学校の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。				
・評価					・課題				
エレベーター増築工事を完了させ、令和6年度から供用開始することができました。					早急に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点					・取組				
安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。					国庫補助を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒し、西初石中学校の外壁及び屋上防水機能の劣化について改修を図ります。				

教育環境の整備

給食室等改修事業		学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		24,221		42,479		10,578	0	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
給食室への空調設備設置学校数		10	-	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率 (%)		100	-	-
令和5年度の現状・課題・取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組					・現状				
発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施しました。					流山小学校、東小学校、西深井小学校、北部中学校の給食施設の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。				
・評価					・課題				
各工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より供用開始することができました。					食品へ雨水が混入する危険や、漏電による機器故障などの懼れがあるため、早急に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点					・取組				
給食室の運営に支障がないよう、工事を進めることができました。					発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めます。なお、令和6年度実施予定事業の全予算を令和5年度に前倒したため、令和6年度の当初予算額は0円となっております。				

教育環境の整備

おおぐろの森小学校校舎増築事業		児童数の増加傾向にある「おおぐろの森小学校」について、令和9年度から増築棟の供用開始を目指します。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		0		0		0	47,740	47,740	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					設計業務の進捗率 (%)		-	-	30
					工事の進捗率 (%)		-	-	-
令和5年度の現状・課題・取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組					・現状				
令和5年度は事業の実施がありませんでした。					児童数が増加しており、現状の校舎では教室数不足が見込まれるため、対策が必要です。				
・評価					・課題				
令和5年度は事業の実施がありませんでした。					増築校舎の規模や構造などを検討し、設計を進める必要があります。				
・課題に対する改善点					・取組				
令和5年度は事業の実施がありませんでした。					諸条件を整理し、増築校舎の設計を進めます。				

教育環境の整備

新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月に「市野谷小学校」を開校しました。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
学校施設課	3,730,076	4,024,185		24,682	0	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
				設計業務の進捗率 (%)	100.0	-	-				
				工事の進捗率 (%)	11.5	100.0	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。										
・現状	令和5年度で事業は終了しました。										
・評価	安全を優先として工程管理を行い、令和6年4月の開校に至りました。										
・課題	令和5年度で事業は終了しました。										
・課題に対する改善点	遅滞なく開校に至りました。										
・取組	令和5年度で事業は終了しました。										

教育環境の整備

南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、東洋学園大学旧校舎を改修して、令和6年4月から南流山中学校を移転開校しました。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
学校施設課	2,788,758	3,034,978		30,610	0	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
				設計業務の進捗率 (%)	100	-	-				
				工事の進捗率 (%)	2	100	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。										
・現状	令和5年度で事業は終了しました。										
・評価	安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に移転開校できました。										
・課題	令和5年度で事業は終了しました。										
・課題に対する改善点	遅滞なく令和6年4月の移転開校に至りました。										
・取組	令和5年度で事業は終了しました。										

教育環境の整備

南流山第二小学校改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校しましたが、体育館のみ、中学生の活動に配慮して令和6年の夏休み期間中に改修するものです。										
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
学校施設課	145,953	319,722		21,156	0	0	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
				設計業務の進捗率 (%)	100	-	-				
				改修工事の進捗率 (%)	-	90	100				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めました。										
・現状	令和6年4月から南流山第二小学校は開校しましたが、南流山中学校の学校運営を優先し、体育館の工事が未着手のままとなっています。										
・評価	安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に開校できました。										
・課題	バスケットゴールやステージ舞台機構の改修工事を行う必要があります。										
・課題に対する改善点	令和5年度は、中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全確保が課題でしたが、学校現場の理解を得て十分な作業区域を確保できました。										
・取組	改修にかかる予算は令和5年度に前倒しして、学校運営に支障のないよう、夏休みを中心に工事を行います。										

教育環境の整備

担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
学校教育課	27,571	28,272	706	30,577	0	30,577		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
担任サポート教員配置数(人)	12	9	9					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。				令和6年度は小山小学校5年生8学級に配置します。				
・評価				・課題				
適正な配置人数である9名を確保しました。				児童生徒数推計値の学級数に対応する人員配置を行い、令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。				
・課題に対する改善点				・取組				
小山小学校における35人学級計画整備として、令和5年度は特別支援6学級を3教室で運用、増設等に3教室増設、学童と教室の共有(2教室)を実施しました。				児童生徒数推計値の学級数に対応する人員配置に努めます。				

教育環境の整備

南流山中学校移転先用地・建物買取事業		南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
学校施設課	901,727	1,321,726	3,526	254,813	249,608	5,205		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
			用地取得率 (%)	-	-	12.5		
			建物取得率 (%)	59.0	100.0	-		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
支払処理に遅滞のないよう、財産活用課と情報を共有しました。				建物分は令和5年度に取得を終え、令和6年度からは用地費の支払いが発生します。				
・評価				・課題				
遅延なく処理を行いました。				遅延のないよう処理します。				
・課題に対する改善点				・取組				
財産活用課との情報共有は問題ありませんでした。				財産活用課と情報を共有して執行します。				

教育環境の整備

常盤松中学校校舎増築事業		生徒数の増加傾向にある「常盤松中学校」について、令和8年度から増築棟の供用開始を目指します。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
学校施設課	0	0	0	170,403	170,403	0		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
			設計業務の進捗率 (%)	-	-	100		
			工事の進捗率 (%)	-	-	12		
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒しました。				生徒数が増加しており、現状の校舎では教室数不足が見込まれるため、対策が必要です。				
・評価				・課題				
令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒しました。				増築校舎の規模や構造、仕様等を検討する必要があります。				
・課題に対する改善点				・取組				
令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒しました。				増築校舎の諸条件を整理し、効率よく設計します。				

教育環境の整備

南流山第二小学校整備事業	令和6年4月開校の南流山第二小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
教育総務課	23,373		23,330		4,232	3,200	3,200	0			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合 (%)		-	89.71	100.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>令和6年4月、南流山地区に新規開校する南流山第二小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。</p>										
・評価	<p>南流山第二小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。</p>										
・課題に対する改善点	<p>必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。</p>										
・取組	<p>学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。</p>										

教育環境の整備

市野谷小学校整備事業	令和6年4月開校の市野谷小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
教育総務課	23,261		23,126		4,232	2,650	2,650	0			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合 (%)		-	89.71	100.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>令和6年4月、おおたかの森地区に新規開校する市野谷小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。</p>										
・評価	<p>市野谷小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。</p>										
・課題に対する改善点	<p>必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。</p>										
・取組	<p>学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。</p>										

教育環境の整備

南流山中学校移転整備事業	令和6年4月、東洋学園大旧校舎に移転開校する南流山中学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
教育総務課	18,119		18,019		4,232	3,200	3,200	0			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合 (%)		-	84.19	100.00			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>令和6年4月、東洋学園大学旧校舎に移転開校する南流山中学校の供用開始時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。</p>										
・評価	<p>南流山中学校の移転開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。</p>										
・課題に対する改善点	<p>必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。</p>										
・取組	<p>学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。</p>										

教育環境の整備

小学校校舎等リニューアル事業		老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		37,983		0		7,052	0	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					設計業務の進捗率 (%)		-	50	100
					江戸川台小学校リニューアルの進捗率 (%)		-	-	30
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 現況調査を実施し、改修内容の検討を行いました。					・現状 夏休みを中心改修工事に着手します。				
・評価 改修設計を進め、工事の発注を行いました。					・課題 児童・教職員の安全を優先して工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 改修が必要な部位や設備等の整理を進めました。					・取組 居ながら改修工事となるため、夏休みを中心とした工事となり、きめ細かく工程管理を行います。なお、国庫補助を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒しして実施しています。				

教育環境の整備

小学校施設管理業務委託事業		これまで市が雇用する用務員が担ってきた小学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課		0		0		0	4,046	0	4,046
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校用務員派遣 (学校数)		-	-	2	学校用務員派遣 (用務員人工数)		-	-	2
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 令和6年4月、市野谷小学校及び南流山第二小学校において、学校施設管理業務を業務委託し、実施します。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討します。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めています。				

教育環境の整備

中学校施設管理業務委託事業		これまで市が雇用する用務員が担ってきた中学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。							
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課		0		0		0	6,068	0	6,068
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校用務員派遣 (学校数)		-	-	1	学校用務員派遣 (用務員人工数)		-	-	2
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 令和6年4月に移転開校した南流山中学校において、学校施設管理業務を業務委託し、実施します。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討します。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めています。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
指導課		8,173		7,880	4,232	7,211	0	7,211			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
「中小学生専用なやみホットライン」の相談数(件)	17	15	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	90.90	89.76	100.00				
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	52	62	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	95.60	92.38	100.00				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配付するとともに、中学生への相談アプリを提供し、悩みの早期発見と早期対応に努めました。</p>										
・評価	<p>児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、「誰にも相談できない」「誰に相談したらいいか分からぬ」とことも少なくないと捉えています。また、匿名での相談も少なくないことから、こうした子どもたちが迷わず、安心して相談できるような相談体制の構築に努めていく必要があります。</p>										
・課題に対する改善点	<p>子どもたちが迷わず、安心して相談できるよう、相談窓口の周知に努めるとともに、相談を受けた際には、思い切って相談してきた児童生徒が、自身の想いを吐き出せるよう、まずは傾聴に努めるとともに、相談内容に応じて、適切な支援に繋げるよう努めました。</p>										
・現状	<p>生涯学習センター内に相談員が常駐し、相談を受けています。いじめの相談だけでなく、子どもたちが抱える多様な悩みや想いを受け止め、必要な支援に繋がるよう対応しています。</p>										
・課題	<p>悩みや困りごとを抱える児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。</p>										
・取組	<p>令和6年度も引き続き、ポスター・リーフレット等を作成し子どもたちの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の見識を活かしながら子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援していきます。</p>										

児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
指導課		30,763		34,048	8,463	32,773	0	32,773			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
小学校いじめ認知件数(件)	4,954	4,427	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	90.90	89.76	100.00				
中学校いじめ認知件数(件)	475	407	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	95.60	92.38	100.00				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>一人一台端末を活用した心の天気やWEBQU等を通じて児童生徒の状況把握に努めました。また、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を配置し、関係機関と連携しながら、多様な課題を抱える児童生徒の支援体制構築に努めました。</p>										
・評価	<p>スクールロイヤー等による教職員向け研修を通じて、学校現場において、いじめ等の事案を早期に発見し、適切に対応できる体制の推進を図るとともに、事案を認知した場合には、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、安心して学校生活を送ることができる環境の確保に努めました。</p>										
・課題に対する改善点	<p>令和5年度から、児童生徒本人及びその保護者、学校に対して第三者的な立場から助言等を行う生徒指導アドバイザーを1名配置しました。児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、引き続き専門性の高い人材を活用しながら児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めています。</p>										
・現状	<p>児童生徒数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ認知件数は、以前に比べ高い水準にあります。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいく必要があります。</p>										
・課題	<p>いじめの未然防止、早期発見・早期解決のためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応が求められます。</p>										
・取組	<p>いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。</p>										

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業	私会計である学校給食費の徴収及び食材費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
学校教育課		1,012,078		1,069,824	14,104	1,048,957	1,009,281	39,676			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
収納率(%)	99.22	99.00	100.00								
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	<p>コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。</p>										
・評価	<p>口座振替の啓発・コンビニ納付の運用により、円滑な納付環境整備を図ることができました。</p>										
・課題に対する改善点	<p>令和5年度の課題は納付環境の整備が課題であり、そのためコンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行い、その結果、日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図ることができました。</p>										
・現状	<p>物価高騰の影響により、納付環境は厳しいことからより一層の納付環境整備が求められています。</p>										
・課題	<p>物価高騰の影響により、適正額の徴収と負担軽減政策等の啓発が課題です。</p>										
・取組	<p>第3子以降無償化制度や就学支援制度、生活保護制度など様々な制度啓発を併せて取り組みます。</p>										

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため市域を4地区に分け計11人の看護師を配置します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校教育課		22,737		19,833	8,463	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校サポート看護師人数（人）	10	10	11	医療的ケア児の対応（時間）		1,614	1,847	2,400
医療的ケア児の数	6	6	6					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減を図りました。				本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				
・評価				・課題				
サポート看護師間の連携を図り、医療的ケア児が安心して学校生活をおくことができ、保護者負担軽減を図ることができました。				本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				
・課題に対する改善点				・取組				
令和5年度も保護者負担が課題であり、様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう教育体制の拡充に努めました。その結果、保護者負担の軽減を図ることができました。				本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。				

施策 総合計画の推進

基本政策 計画を推進するために

IV 施策分野別評価表

主管部局

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営

市税等納付コールセンター事業	現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
税制課		4,576		4,509	1,411	4,583	0	4,583
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
電話催告件数(件)	7,746	8,330	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)	4,469	4,815	-	
文書催告件数(件)	4,398	4,832	-	現年度課税の徴収率(%) (参考値)	99.49	99.58	-	
令和5年度の取組みと評価・改善点								
・取組	現年分の滞納者に電話催告や口座振替の勧奨を行いました。							
・評価	人口増加に伴い、滞納者数も増加しています。							
・課題に対する改善点	現状の税制課業務の一部を更に業務委託に追加し、事務の効率化を図る必要があると考えます。							
・課題	業務委託の先進市の視察や情報の収集に努めました。							
・取組	委託業務の仕様を見直し、今年度中に次期契約を締結します。							

資産活用

ファシリティマネジメント事業	各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
財産活用課		672		411	30,610	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	30	26	-	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)	10,237	7,194	-	
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	25	24	-					
令和5年度の取組みと評価・改善点								
・取組	各施設所管課における個別施設計画の見直しに必要なマニュアルを作成したほか、営繕業務を行いました。							
・評価	各種FM事業を継続的に実施し、市の資産を十分に活用していく他、公共施設の改修を行うことで、維持管理と長寿命化を図っていきます。また令和6年度より政策事業から経常事業に変更したことにより、事業名もファシリティマネジメント推進事業からファシリティマネジメント事業へ変更しました。							
・課題に対する改善点	個別施設計画の見直しに必要な劣化度調査は、技師による統一された基準を元に行う必要があります。							
・課題	個別施設計画における簡易劣化調査の実施及び施設所管課から依頼のあった営繕工事を実施します。							
・取組	個別施設計画における簡易劣化調査の実施及び施設所管課から依頼のあった営繕工事を実施します。							

資産活用

本庁舎施設管理計画事業	本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るもので、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
財産活用課	42,431		22,399		16,506	11,000	8,200	2,800
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
改修にかかる費用（千円）	7,788	22,399	11,000	改修等必要箇所数（件）		2	2	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状	市役所付近の建物解体後の法面コンクリートがむき出しになっています。			
本庁舎自動火災報知機設備の更新工事を行ったほか、令和4年度に施工した市役所付近の建物解体後の法面に擁壁を設置するための設計業務委託を行いました。				・課題	法面が崩れないようにする必要があります。			
・評価	これまで更新していなかった自動火災報知機を更新し安全対策を講じることが出来ました。			・取組	安全対策及び周辺環境に配慮するため法面に擁壁を設置します。			
・課題に対する改善点	建設以来更新されていなかった自動火災報知機を更新し、安全対策を講じることが出来ました。また、令和4年度に施工した市役所付近他店の解体後の法面について、安全性の配慮及び景観向上のため、擁壁工事を行うための設計業務委託を行いました。本設計に基づき、令和6年度に擁壁工事を行います。			・現状	安全対策及び周辺環境に配慮するため法面に擁壁を設置します。			

資産活用

通訳タブレット導入事業	南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話（日本手話）通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
市民課	317		291		0	317	0	317
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
来庁した外国人等の人数（人）	461	467	471	通訳タブレット使用した外国人等の人数（人）		189	160	161
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	利用者のニーズを確認し、設置台数の見直しについて随時検討しました。			・現状	通訳タブレットの賃貸借契約については、令和4年6月から令和7年5月の履行期間で、江戸川台駅前出張所、南流山出張所に1台ずつタブレットを設置し、適切に運用できています。			
・評価	利用者の平均通話時間は約7分で、利用に際し台数が足りないということではなく、設置台数は適切であったと考えます。			・課題	令和7年5月でタブレットの賃貸借契約の履行期間が満了となるため、新たな契約について、仕様の見直しが必要です。			
・課題に対する改善点	設置台数の検討を課題にあげましたが、適切であったと考えます。			・取組	令和7年6月からの新たな契約について、適切な仕様書の作成、予算策定を行います。			

組織・人材

職員研修事業	職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るために、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
人材育成課	22,362		19,994		3,526	23,605	316	23,289
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
集合研修実施件数（件）	27	26	28	職員自主研修助成者数（人）		21	25	27
				派遣研修派遣職員数（人）		64	71	77
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るために、研修計画に基づく研修を実施しました。令和5年度の新たな研修として、円滑かつ効率的・効果的に仕事を進めるための論理的思考について学ぶ「ロジカルシンキング研修」を実施しました。			・現状	引き続き、職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るために、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。			
・評価	事前の準備及び事後の確認を適切に行い、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。			・課題	職員のキャリア形成を支援するため、中長期におけるスキルアップが見込めるような研修を計画します。			
・課題に対する改善点	研修後のアンケートの内容を活かし、研修内容の充実に努めました。			・取組	モチベーションの向上を図りつつ、階層別研修に限らず、それぞれの職における役割を意識付けできるように、より効果的な時期に適切な研修を計画的に実施していきます。			

組織・人材

政策法務推進事業	政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
総務課		3,904	3,717	7,758	6,694	0	6,694				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
研修受講者数(人)	118	133	140	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)	170	194	211				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	知識の定着状況等、研修の効果を確認しながら、より効果的な研修となるよう創意工夫して実施しました。										
・評価	自治体法務検定の政策法務編におけるシルバークラス以上取得者が過去最高人数であり、効果的な研修が実施できました。										
・課題に対する改善点	政策法務室による自治体法務検定の模擬試験を実施したことにより、職員の知識の定着を図り、政策法務への意識を高めることができました。										
・取組	行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善について、担当課にて対応しています。										
・現状	行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善を早期かつ確実に実施する必要があります。										
・課題	行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善対応について、政策法務室が担当課と協同することにより、行政リーガル・ドック事業における改善を徹底していきます。										

行政経営

広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
秘書広報課		14,677	13,454	11,989	17,165	0	17,165				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
タウンミーティング開催回数(回)	11	9	9	市に意見を言える機会に満足している市民の割合(%)	82.6	84.5	85.0				
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)	80.7	81.2	85.0				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	地区別タウンミーティングを東西南北の4地区で開催、オンラインタウンミーティングを7月と3月に開催(年2回)、無作為抽出型タウンミーティングを1月に開催(年1回)しました。										
・現状	引き続き、市議会の間の日程など、市の幹部職員の日程調整を行い、市民が直接幹部職員に意見を言える機会を創出していくことを目指します。										
・評価	令和6年度は、応募者が多かった無作為抽出型タウンミーティングを年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングを年2回から1回へ変更するなど、開催回数を市民ニーズに合わせ変更していく必要があります。										
・課題	令和6年度は、応募者が多かった無作為抽出型タウンミーティングを年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングを年2回から1回へ変更するなど、開催回数を市民ニーズに合わせ変更していく必要があります。										
・課題に対する改善点	引き続き、地区別タウンミーティングは、東西南北の4地区で開催を予定しています。一方で、無作為抽出型タウンミーティングは年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングは年2回から1回へ開催回数を変更する予定です。										
・取組	引き続き、地区別タウンミーティングは、東西南北の4地区で開催を予定しています。一方で、無作為抽出型タウンミーティングは年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングは年2回から1回へ開催回数を変更する予定です。										

行政経営

見やすく分かりやすいホームページ運営事業	市の公式ホームページについて、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用して管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。										
	担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源				
秘書広報課		4,582	4,582	3,526	4,582	2,000	2,582				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標				
職員研修(回)	2	2	2	市ホームページの月平均ページビュー数(回)	1,063,012	996,431	1,000,000				
				ページ内アンケートで、ページ内容に「問題ない」と答えた人の割合(%)	36.48	33.36	40.00				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	目的ページに到達しやすくなるため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行いました。										
・現状	ページ内アンケートで18.37パーセントの方が、ページ内容について「要点が伝わらない」と回答しました。										
・評価	市ホームページに訪れた方が、必要な情報を適切に取得できるようにする必要があります。										
・課題	市ホームページに訪れた方が、必要な情報を適切に取得できるようにする必要があります。										
・課題に対する改善点	職員研修を行い、各課で作るページの内容をより分かりやすいものにします。また、目的ページに到達しやすくなるため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。										
・取組	職員研修を行い、各課で作るページの内容をより分かりやすいものにします。また、目的ページに到達しやすくなるため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。										

行政経営

広報発行事業	広報ながれやま（月3回。年間37回のうち4回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
秘書広報課	46,235		45,305		21,156	50,308	0	50,308			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
職員研修（回）	2	2	2	「マチイロ」の登録件数（件）		10,507	12,665	14,500			
				広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合（%）		85.6	85.9	90.0			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	マチイロや市LINE公式アカウントを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行いました。										
・評価	マチイロの登録者数が全体で約2,000件増えましたが、30歳代、40歳代は微増にとどまりました。										
・課題に対する改善点	マチイロや市LINE公式アカウントを広報紙で周知するようにしました。										
	引き続き、マチイロや市LINE公式アカウントを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。										

行政経営

TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業	つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせ、当該地区的字の区域及び名称の変更を行います。												
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源					
総務課	13,445		13,445		7,052	0	0	0					
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標					
字変更業務の進捗状況（%）	19	100	-										
住所変更証明書発行件数（TX沿線整備地区）（件）	266	403	-										
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み									
・取組	木地区について令和5年9月29日に換地処分が行われ、これに合わせて字の区域及び名称の変更を行い、住所変更通知書の作成等の業務を実施しました。												
・評価	関係機関との連絡調整を綿密に行い、遅滞なく業務を遂行することができました。また、ホームページや住所変更手続きの手引きの掲載内容を充実させたことで、問い合わせ数が従来より減少し、分かりやすいご案内をすることができました。												
・課題に対する改善点	ホームページにおいて早めの周知を行いました。また、住所変更手続きの手引きの掲載内容を見直しを行いました。												
	令和5年度で事業は終了しました。												
	令和5年度で事業は終了しました。												

行政経営

市民向け電子化事業	市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供しています。										
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源			
情報政策・改革改善課	10,159		26,268		13,399	14,256	1	14,255			
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標			
電子申請手続き数（件）	181	250	275	電子申請利用件数（件）		21,299	19,415	30,000			
LINEによるセグメント配信件数（件）	430	924	1,400	LINE登録者数（人）		14,141	19,592	24,000			
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	流山市LINE公式アカウントサービスの活用を促進し、市民の皆様の利便性を向上するとともに、オンラインで手続きが行える「ぴったりサービス」や「電子申請」の対象手続きを拡大しました。										
・評価	「電子申請」の申請手数は目標以上に増加できたほか、利用件数では、新型コロナウイルスの接種券発行で前年度8,445件であったものが、令和5年度は1,750件になったことにより、全体の件数が減少していますが、当該結果を除くと利用件数も増加しました。										
・課題に対する改善点	オンラインで申請できる手続きの一層の拡充に努めました。										
	「行かない窓口」実現のため、電子申請システムの改修を行うほか、LINE公式アカウントの機能において市民の利便性を高めるための更なる活用を進めていきます。										

行政経営											
全庁 LAN整備事業		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
情報政策・改革改善課	277,872		271,634		23,977	313,964	26,366				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
全庁LANパソコン整備台数(台)	1,224	1,275	1,300	配備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		-	-				
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)	43,636	207,283	220,000	ウイルス感染件数(件)		-	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状										
情報システムの標準化では、機能の選定や業務フローの見直し、令和7年度末までの移行に向けて準備をしました。また、老朽化している府内パソコンについては、350台を更新しました。特定個人情報保護評価書の「住民基本台帳に関する事務」が対象人数が30万人となる見込みから、パブリックコメント及び外部機関によるセキュリティ監査を実施しました。	情報システムの標準化については、令和7年度に国が策定した仕様書へ準拠したシステムを、国のクラウド環境へ移行させる必要があります。またランサムウェア等のウイルスマールの検知件数が増加しています。										
・評価	・課題										
情報システムの標準化については、各課との検討部会を設置し、令和7年度末までの国のクラウド環境への移行に向けて準備をしました。また、老朽化している府内パソコンは350台を更新しました。特定個人情報保護評価書の「住民基本台帳に関する事務」についてパブリックコメント及び外部機関によるセキュリティ監査を実施し、全項目評価を実施しました。	情報システムの標準化については円滑な移行に向け、システム事業者間との調整やスケジュール管理及びコスト管理が課題です。府内パソコンは引き続きOSやOfficeのサポート期限を考慮したリプレイスが必要です。また、ウイルスマールの検知件数が増加しており、引き続き訓練や最新のインシデント事例を踏まえた研修等の情報セキュリティ対策が必要です。										
・課題に対する改善点	・取組										
情報システムの標準化については円滑な移行に向け、プロジェクト管理やスケジュール管理及びコスト管理が課題となっていたため、検討部会で関係部署へのヒアリング及び説明を行った結果、円滑に予算計上等行うことができました。	情報システムの標準化では、引き続き機能の選定や業務フローの見直し、データ連携について検討し、令和7年度末までの移行に向けて準備を行い、国のクラウド環境へデータを移行する前に、特定個人情報保護評価書の手続きを行います。また、老朽化しているパソコンは、300台更新します。										
行政経営											
インターネット議会中継システム事業		流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
議会事務局	6,483		6,073		7,052	6,433	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
インターネット配信回数(回)	24	25	24	インターネット配信閲覧者延人数 ライブ中継(人)		26,388	30,733				
				インターネット配信閲覧者延人数 録画中継(人)		3,344	8,115				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状										
安定したインターネット中継を実施し、引き続き手話同時通訳の同時中継を継続しました。インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めました。	本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆様に議会の様子を伝えています。本会議の手話同時通訳をインターネットで同時中継することで、より多くの方々に議会の様子をお伝えします。なお、成果指標については、令和5年度は定例会のほか改選に伴う臨時会があったことを考慮し、令和6年度の目標値を低く設定しています。										
・評価	・課題										
導入から4年目となった手話同時通訳も大変好評をいただいているおり、評価すべき取り組みと考えます。インターネット配信のライブ中継及び録画中継の視聴者が昨年度と比較し増加しているのは、改選や陳情など大きな案件が関係しているものと分析しています。	今後も引き続き適切に運用・保守し、安定した配信環境を整える必要があります。										
・課題に対する改善点	・取組										
市議会ホームページや市議会によりにおける告知や、SNSによる発信など、PRに努めた結果、インターネット配信のライブ中継及び録画中継の閲覧者数が増加しました。	引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続します。より多くの方にインターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めます。										
行政経営											
議会ICT推進事業		流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。									
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源				
議会事務局	3,060		2,365		5,642	3,089	0				
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績				
Facebookコラム掲載数(回)	12	12	12	流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画 事業数に対する実施事業割合(%)		84.48	91.67				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み							
・取組	・現状										
議会のICT化とペーパレス化を推進するため、議員にタブレットを配付し活用を推進しました。	独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を図るため、オープンデータの掲載を行っています。										
・評価	・課題										
各議員へアンケートを行い、タブレット上のデータ確認のみで可能である会議資料について、紙媒体の資料を削減しました。	さらなるICT化とペーパレス化を推進する必要があります。										
・課題に対する改善点	・取組										
議会を身近に感じてもらうため、SNSの市議会公式アカウントを活用し、タイムリーな情報発信に努めました。	利用者によりタブレットやアプリケーションの習熟度に差があることから、議員全体向けの研修会を再度実施するほか、必要に応じて個別に利用方法を説明します。										

行政経営

キャッシュレス決済導入事業	市民課、出張所の窓口にキャッシュレス決済を導入し、窓口利用者の支払方法の選択肢を増やし、利便性の向上を図ります。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
市民課	4,042		4,042		2,116	2,343	0	2,343
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
キャッシュレス決済の利用件数（件）	-	9,885	20,000	キャッシュレスサービスアンケート満足度（5段階評価）		-	4.7	4.8
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	情報政策・改革改善課の協力のもと、プロポーザル方式により業者選定し、職員研修を経て令和5年10月から運用開始しました。							・現状
・評価	令和5年10月の利用率は8.86%でしたが、令和6年3月の利用率は14.61%と利用率は増加しています。							・課題
・課題に対する改善点	職員教育を課題にあげましたが、契約業者による研修や、電話でのサポートにより、適切に運用できています。							・取組
	利用状況を踏まえ、設置台数の見直しについて、検討が必要です。							利用状況を注視し、適切な設置台数について検討します。

行政経営

新川耕地地区の字の区域及び名称変更事業	大規模な市街化区域編入に伴い、字の区域及び名称の変更を実施することで、地域の価値を高めて魅力のある街づくりを推進します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
総務課	0		0		0	7,319	0	7,319
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
字変更業務の進捗状況(%)	-	-	100					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							・現状
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							・課題
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。							・取組
	対象区域の事業者の方が、所在地の変更に関する手続きを滞りなく行えるよう、分かりやすい案内が必要となります。							魅力ある街づくりのために、地域の特性を表した名称に変更します。また、対象区域の事業者の皆様へ、新しい所在地や変更に伴う手続きについて、適切な時期にお知らせします。

マーケティング

流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るために情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
マーケティング課	12,867		10,034		7,052	15,772	3,300	12,472
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
市プランディングサイト新規訪問者数（人）	15,070	22,295	23,000	転入者数（1/1～12/31）（人）		13,147	12,616	-
	イベント来場者数（人）							84,300
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	流山市プランディングプランに基づき、流山市プランディングサイト「ながれやまStyle」への誘引を中心とした市プランディング業務を推進しました。また、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していく、相乗効果を上げながら流山市ブランドを構築するよう努めました。							・現状
・評価	流山市プランディングサイトを起点としたPRを実施し、新規閲覧者が22,000アクセスを超える目標を達成することが出来ました。							・課題
・課題に対する改善点	市のブランド基盤の向上とともに、市への転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチしていく必要があることから、流山市の資源価値を、実際に暮らしている「市民の声」にのせて拡散しました。このことから、流山市プランディングサイトへの新規訪問者数が22,000アクセスを超えました。							・取組
	流山市プランディングプランに基づき、流山市プランディングサイト「ながれやまStyle」への誘引を中心とした市プランディング業務を推進します。また、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していく、相乗効果を上げながら流山市ブランドを構築していきます。							

マーケティング

流山市ふるさと納税事業		流山市に対する寄附者の思いに対して、魅力ある特産品等を贈呈し、寄附額の増加を図ります。						
担当課	R5当初予算	R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源		
マーケティング課	40,488	36,200	7,052	18,779	0	18,779		
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
返礼品数（件）	117	262	280	寄附件数（件）	1,220	2,058	2,057	
返礼品事業者数（件）	15	46	55	寄附額（千円）※個人からの全ての寄附金。	37,188	50,577	50,540	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	・現状							
本市の魅力と返礼品を合わせてPRするほか、返礼品を提供していただける事業者・返礼品の新規開拓や情報発信など、マーケティングの視点を用いながら事業を推進しました。また、返礼品として品物だけに限らず、体験型の返礼品も検討しました。	返礼品を提供していただける事業者、返礼品の数は増えています。							
・評価	・課題							
市内産業の活性化、及び寄附額の増加に寄与しました。	ふるさと納税ポータルサイトの特性に合わせた、返礼品の見せ方の工夫や返礼品の種類を増やすことが必要です。							
・課題に対する改善点	・取組							
返礼品を提供していただける事業者等及び返礼品の種類を増加させること、また、新たなふるさと納税のポータルサイトの導入を進めるなどにより、流山市の返礼品との接触機会を増やすことが課題であり、事業者・返礼品の新規開拓と新たなポータルサイトを導入した結果、寄附件数、寄附金額を増加させることができました。	より事業者のこだわりや想いが伝わるよう、事業者を取り材し、返礼品の魅力がわかる写真の枚数を増やす、返礼品の種類を工夫するなど、ポータルサイトへの掲載内容を工夫してまいります。							